

在庫 らくだ7.5

操作マニュアル 在庫らくだプロ7.5

ご注意ください!

本マニュアルの裏面には、シリアルナンバーが添付されています。
セットアップ、ユーザー登録、サポートサービス等に必要となります
ので、剥がさずに大切に保管してください。

シリアルナンバーの再発行は有料となります。

BSLユーザーサポートセンター

TEL: 03-3352-6241

FAX: 03-5362-7860

URL: <http://www.bsl-jp.com>

E-mail: rakuda@bsl-jp.com

月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:30～16:30

土・日・祝祭日を除く

(FAX・E-mailは翌営業日以内に回答をご案内いたします)

電話番号やFAX番号、メールアドレス等は お間違いの無いようご注意ください。

※サポートセンターではソフトの操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。
会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの
税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

お問い合わせには
事前のユーザー登録と
登録時の電話番号(確認)
が必要です。



BSL 使いこなせる業務ソフト
BSLシステム研究所

重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

製品使用許諾契約書

お客様が入手された、株式会社BSLシステム研究所(以下BSL)の本ソフトウェア製品(以下本製品)について、下記のライセンス規定及び品質保証規定が適用されます。

本ソフトウェア製品を使用することにより、本契約書の条項に同意したものとみなし、以後返品はお受けいたしません。(CD-ROM 包装を開封した時点で使用とみなされます)この契約に同意されない場合は、未使用の製品を直ちに購入店にご返品ください。

ライセンス規定

本製品はBSLが著作権を持つ当社の所有物であり、日本国著作権法をはじめ、その他の無体財産権に関する法律によって保護されています。本製品は使用を許諾されるもので、所有権を伴うものではありません。

本製品の後継製品、更新プログラム又は機能追加プログラム等が出荷されそれをお客様に提供した場合、その後継製品等に明示されていない限り本契約がその後継製品等にも適用されます。

1. 使用許諾範囲

お客様は自己で使用するために製品に記載された「製品シリアルナンバー」の番号1件につき、コンピュータ1台に複製(インストール)してご使用になることができます。

またお客様自身が占有して使用し、かつ1台目のコンピュータと同時に使用することの無い2台目のコンピュータ1台に限り、2つ目の複製(インストール)を使用することを許可します。

お客様は本契約に従い、本製品を実行用プログラムとしてコンピュータに複製(インストール)し、使用することができます。また不慮の事故に備える目的で、本製品の複製(バックアップ)を作成することができます。これらの場合を除き、その目的の如何を問わず複製物を作成することを禁止します。

2. 禁止事項

本製品は適用される法律に明示に許可されている場合を除き、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アSEMBルすることはできません。

本製品に組み込まれている不正コピー・不正利用を防止するための技術を回避する行為、又は回避して製品を複製する行為を禁止します。また本製品の一部あるいは全てを用いて二次成果物を作成することを禁止します。

3. レンタルおよび譲渡

本製品は単体でレンタル及びリースすることはできません。しかし一切のコピーを残すことなく特定のコンピュータと共にリース物件として提供する場合は、この限りではありません。

一度使用した本製品を譲渡又は転売若しくは再販することはできません。

4. 有効期間

本契約書による使用許諾は、お客様が本製品の CD-ROM 包装を開封した時点から効力を生じます。

以下のいずれかの事由に該当する場合、本契約書の契約は終了し効力を失います。

お客様が本製品の使用を停止した場合。

当社が将来本製品の取扱を中止し使用許諾の停止を告知後30日が経過した場合。

お客様が本契約書の条項に違反した場合、又はBSLの著作権を侵害した場合。

本契約の終了後は本製品をいかなる形においても使用することはできません。終了後お客様はBSLの求めに応じ、製品を破棄又はBSLへ返却しなければなりません。

5. シリアル番号および識別情報の通知

本製品をインターネットに接続されたコンピュータで使用する場合、製品の付帯サービスを提供するために、「製品シリアルナンバー」および製品の識別情報が BSL へ送信されることがあります。お客様は、この動作に同意するものといたします。

品質保証規定

1. BSLは本製品が付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合又は本製品の媒体又はマニュアルに物理的な欠陥や不足があった場合、お買い上げ後60日に限りBSLの判断に基づき交換又は補修のいずれかにより対応するものといたします。ただし本製品に再配布可能なファイル(ランタイムモジュール、再配布可能モジュールなど)が含まれている場合、それらは現状のままで提供され一切の保証をいたしません。

2. 上記1項のいずれの対応も、お客様が本製品の購入されたことを証明する書類(領収証等)をBSLに提示した場合にのみ提供されます。

3. 上記1項の事態が火災や地震などの自然災害、第三者による行為やその他の事故、お客様の過失あるいは故意にかかわらず誤用等による、BSLの責に帰さない理由により生じた場合、BSLは保証の責を負わないものとします。

4. 交換又は補修後の保証期間は元の保証期間の満了日もしくは交換・補修後30日間の満了日のいずれか遅く到来する日までといたします。

5. BSLは本製品、本製品の媒体又はマニュアル、その他の印刷物、また本製品に付随して提供されるサービスについて、その商品性及び特定の目的に対する適合性など本保証規定に規定されていないその他の保証は、明示・暗示を問わず一切いたしません。

6. 本製品を使用することによりお客様の期待した効果が得られなかった場合や、原因の種類を問わずいかなる場合においても、BSLはこの製品の使用又は使用不能から生じる本保証規定に規定されていないいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、情報の損失、その他金銭的損失など)に関して、一切の責任を負わないものといたします。たとえBSLがそのような損害の危険性について知らされていた場合でも同様です。本製品の使用または機能から生じるすべての結果は、お客様自身が負担するものといたします。

7. 本規定に基づくBSLの責任は本製品に対しお客様が実際に支払った金額を上限とします。

8. 本品質保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

個人情報保護方針 (プライバシーポリシー)について

はじめに

株式会社ビーエスエルシステム研究所(以下「BSL」という)は、お客様への製品やサービスの提供において取り扱うお客様の個人情報(法人情報を含む。以下「個人情報」という)を、適切に管理・保護することが社会的責務であると考えています。BSLでは、お客様に安心してBSLの製品やサービスをご利用いただけるようにするため、ここに個人情報の保護方針(プライバシーポリシー)を記載いたします。

個人情報の定義

本方針の「個人情報」とは、氏名(法人名を含む)・住所・電話番号・Eメールアドレス等の連絡先情報、お客様に付与された一意の番号や符号で他の情報と照合することにより容易にお客様個人を特定することのできる情報など、お客様を識別し特定することのできる情報を指します。

管理体制

BSLは個人情報を適切に保護するため、以下の取り組みを推進いたします。

- ・個人情報保護に関する社内規則を定め、個人情報を正確かつ安全に取り扱います。
- ・個人情報保護のための管理組織を設け、社員に対する教育啓蒙活動を実施いたします。
- ・電磁的に保存された個人情報データベース等を運用するにあたり、情報保護のための合理的な技術的施策をとり、個人情報データベース等への不正な侵入、情報の紛失・改竄・漏洩等の危険防止に努めます。
- ・個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を遵守すると共に、本方針の内容を継続的に見直し、その改善に努めます。

個人情報の取得方法

BSLではお客様に個人情報の提供を願うことがあります。但し、個人情報の提供の是非はお客様ご自身で選択することができます。BSLは以下の方法によりお客様の個人情報を提供していただくことがあります。

- ・製品のユーザー登録を行っていただく場合。
- ・製品やサプライ用品等を弊社から直接お買い求めいただく場合。
- ・製品の資料請求をしていただく場合。
- ・BSLの提供する各種のサービスをお申し込みいただく場合。
- ・BSLサポートセンターへお問い合わせいただく場合。
- ・アンケート等にお答えいただく場合。
- ・弊社製品やサービスに関するご意見をお寄せいただく場合。

お客様の個人情報は、紙媒体、FAX、Eメール、BSLウェブサイトへの書き込み等の方法により行われるものとします。お客様が個人情報の照会、訂正、削除等を希望される場合には、BSLまでご連絡いただければ、合理的な範囲で速やかに対応いたします。

個人情報の利用方法

BSLはお客様からご提供いただいた個人情報を、下記の目的に使用いたします。

- ・製品やサプライ用品また製品資料など、お申し込みまたはご請求いただいたものをお届けするため。
- ・お申し込みまたはご依頼いただいたサービスをご提供するため。

- ・製品やサービスの更新情報、バージョンアップ情報、特典情報等をお知らせするため。
- ・新製品や関連商品、催し物等の案内をお知らせするため。
- ・製品の使用方法等に関する案内をお知らせするため。
- ・製品やサービスの利用動向を把握し、製品やサービスの品質向上のための参考情報とするため。
- ・社会通念に照らして上記に付随する業務の範囲内であるとBSLが判断したBSLが行うその他の業務用途のため。

個人情報の開示制限

BSLはお客様からの個人情報を、下記に該当する場合は除き第三者に開示または提供することはありません。

- ・お客様の同意を得た場合。
- ・製品やサプライ用品、製品資料、ダイレクトメール等を送付する際に、配達業者に配達に必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・お客様が製品やサプライ用品または各種サービスなどの代金をお支払いいただく際に、金融機関やクレジットカード会社等に、決済取引上必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・前項「個人情報の利用目的」に示す目的を達成するために、本指針と同等以上の秘密保持義務を課した第三者(業務委託先等)に開示または提供する場合。
- ・お客様が、BSLに損害を生じさせ、あるいはそのおそれがあるとBSLが判断した場合。
- ・人の生命、身体または財産の保護のために必要であって、利用者の同意を得ることが困難である場合。
- ・弁護士会・消費者センターなどの公的機関、裁判所・検察庁・警察などの法的機関や地方公共団体、またはその委託を受けた者が、その職務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者の同意を得ることにより当該職務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。
- ・法令により開示または提供が求められた場合。

BSLは、流通各社、販社、協力企業、その他の第三者、または弊社の広告等において、弊社の製品やサービスを説明するため、またその他の合法的な目的のために、お客様の統計情報を開示する場合があります。但し、統計情報には、個人を特定できる情報は含まれないものとします。

本方針の改定

本方針を改定する場合には、BSLウェブサイト(www.bsl-jp.com)にて通知いたします。

2005年4月22日

株式会社BSLシステム研究所

目次

1章 運用の準備	7
1-1 本製品での在庫管理について.....	8
1-2 運用を開始するにあたって.....	10
1-3 製品をセットアップする.....	11
2章 データファイルの作成と管理	19
2-1 データファイルを作成する.....	20
2-2 新規データファイルを作成する.....	21
2-3 下位製品や以前のバージョンのデータファイルを移行する.....	28
2-4 バックアップファイルからデータを移行する.....	35
2-5 データファイルを切り替える.....	38
2-6 データファイルのバックアップを行う.....	39
3章 基本的な操作	41
3-1 メインメニューの操作.....	42
3-2 集計表の表示と種類.....	45
3-3 画面の構成.....	49
3-4 メニューバーの操作.....	50
3-5 画面レイアウトの設定操作.....	51
3-6 検索機能の操作.....	54
3-7 入力補助機能.....	59
3-8 プログラムの更新操作.....	64
4章 在庫管理を行う	65
4-1 在庫数の確認を行う.....	66
4-2 商品の入庫を入力する.....	68
4-3 商品の出庫を入力する.....	74
4-4 商品の入庫と出庫をまとめて入力する.....	79
4-5 保管場所間での商品の移動を入力する.....	84
4-6 商品の廃棄を入力する.....	89
4-7 商品の棚卸を行う.....	94
4-8 バーコードリーダーを使用して棚卸を行う.....	99
4-9 仕入単価を訂正する.....	103
4-10 入出庫帳画面で入出庫情報を入力する.....	105
4-11 伝票一覧画面の操作.....	111
4-12 商品の在庫状況の確認と分析を行う.....	117
4-13 発注計画書を作成する.....	126
4-14 印刷の操作.....	139
5章 台帳の管理	147
5-1 商品台帳の管理.....	148
5-2 相手先台帳の管理.....	154
5-3 保管場所台帳の管理.....	158
5-4 タグの管理.....	162
6章 設定	165
6-1 「設定」画面の操作.....	166
6-2 自社設定.....	167
6-3 データファイル.....	168
6-4 パスワード.....	171
6-5 在庫切れ警告.....	172
6-6 入力設定・随時マスタ登録.....	173
6-7 全般設定.....	174
6-8 印刷設定・印刷調整・その他の設定.....	175
6-9 データ保守.....	177
6-10 登録・サポート.....	178

7章 インポート・エクスポート.....	179
7-1 台帳と入出庫履歴を取り込む(インポート).....	180
7-2 データを別ファイルに出力する(エクスポート).....	187
7-3 台帳のインポートファイル仕様.....	189
8章 付録.....	191
8-1 サポートサービスを利用する.....	192
8-2 索引.....	194

■「在庫らくだプロ 7.5」の仕様

主な仕様			
事業所数	無制限(データファイル無制限)	棚卸	随時可能(任意日付を指定可能)
保管場所数	無制限(100箇所以内を推奨)	バーコード印刷	商品コードを Code128 形式・Code39 形式で印刷可能
保管場所コード	最大 20 桁の半角英数字	バーコード読取	棚卸調整時のバーコード読取可能 ※別途、バーコードリーダーが必要
保管場所名称	全角 50 文字(全角 10 文字以内を推奨)		
入出庫明細数	無制限(1,000 明細/月を推奨)	入力機能	入出庫帳形式・入庫伝票形式・出庫伝票形式・入出庫伝票形式・廃棄伝票形式・保管場所間移動伝票形式
相手先数	無制限(5,000 件以内を推奨)		
相手先コード	最大 15 桁の半角英数字	在庫チェック機能	在庫切れ自動チェック・発注点切れ自動チェック ※在庫待ち数量の表示機能あり
相手先名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)		
商品数	無制限(5,000 点以内を推奨)	在庫分析機能	在庫回転率・在庫日数管理・出庫数 ABC 分析・在庫数 ABC 分析・単品分析(在庫推移グラフ付き)
商品コード	最大 20 桁の半角英数字(半角 15 桁以内を推奨) ※バーコード印刷利用時は半角英数字 5 桁~15 桁を推奨		
商品名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)	集計機能	在庫確認・在庫ランキング(ABC 分析)・適正在庫分析・在庫推移表・商品別相手先入出庫・相手先別商品入出庫・商品別保管場所在庫数・保管場所別商品在庫数・商品分類別在庫数・商品別区分入出庫・在庫待ち管理・在庫推移グラフ
商品分類数	無制限(100 件以内を推奨)		
商品分類コード	最大 15 桁の半角英数字(半角 10 桁以内を推奨)		
商品分類名称	全角 50 文字(全角 8 文字以内を推奨)		
ロット数	無制限(1 商品あたり 20 ロット以内を推奨)	評価方法	最終仕入原価法
ロット番号	最大 30 桁の半角英数字(半角 15 桁以内を推奨)	使用可能文字	シフト JIS コードの文字
数量	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁(全 7 桁以内を推奨)	データ量	データファイル 1 つにつき、ファイルサイズは 1GB 以内
仕入単価	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁(全 7 桁以内を推奨)	データ移行	「在庫らくだ 3」シリーズ以降および「かるがるできる在庫 2」以降のデータを移行可能
金額	整数 10 桁		
合計金額	整数 11 桁	データ取込	CSV 形式の商品・商品分類・相手先・ロット・保管場所・入出庫履歴・棚卸のデータを取込可能
タグ数	無制限(1,000 件以内を推奨)		
タグ名称	全角 50 文字(全角 20 文字以内を推奨)	データ出力	Excel, CSV, TSV
発注計画書数	無制限(1,000 件/月以内を推奨)	帳票出力	PDF, XPS(普通紙のみ 専用用紙は不可)
発注計画書自動作成	対応	ネットワーク利用	ネットワーク共有による同時利用(マルチクライアント)には非対応
発注計画書自動取込	対応		

※実際に印刷できる文字数・桁数・項目数は用紙の型番により異なります。※パッケージ 1 つにつき最大 2 台のコンピューターでご利用いただけます。(ただし 2 台目はユーザー登録者が占有するコンピューターに限ります。同一データファイルの同時利用はできません)※データの安全性確保のため、他の「らくだ」シリーズとのデータ連動はしていません。※上記仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■対応用紙

対応用紙	
在庫確認・伝票一覧・入出庫帳・単価訂正・発注計画・発注計画書一覧	A4 普通紙
入庫伝票・出庫伝票・移動伝票・入出庫伝票・廃棄伝票	A4 普通紙
発注計画書	A4 普通紙 BSL 専用サプライ用紙 A4CF2・BZ-4001 HISAGO GB1182
棚卸カウントリスト	A4 普通紙
集計表	A4 普通紙
台帳	A4 普通紙
バーコード	A4 普通紙 BSL 専用サプライ用紙 LDW12PG エーワン 72212・72318・72321・72324 ※商品コードのバーコードと商品名を印刷

※上記「普通紙」とは、市販のコピー用紙等(白紙)への印刷です。※各用紙のレイアウトおよびフォントは固定です。※お使いのプリンター機種により使用可能な用紙は異なります。※対応用紙および書き仕様は変更することがあります。

【動作環境】(運用に必要なシステム要件)

●対応 OS:Windows10/8.1/7(SP1)/Vista(SP2)(日本語版)※Windows10 は、Win32 およびNET アプリケーションが動作可能な Home/Pro に対応します。※Windows10 は、本製品の開発時点のバージョンで動作を確認しています。Windows10 のアップデートが行われた場合の対応状況については、弊社ウェブサイトをご確認ください。※7 では SP1、Vista では SP2 が必要です。※各 OS の 32bit 版と 64bit 版に対応します。ただし Vista の 64bit 版には非対応です。※Windows Mobile/Phone/RT/Server には非対応です。※アップグレードインストールした Windows はサポート対象外です。●コンピューター本体(CPU):上記 OS が稼動するコンピューター 800MHz 以上の CPU(2GHz 以上の CPU を推奨)※キーボードおよびマウス等の使用を推奨します。Windows10 では「デスクトップモード」でご使用ください。●メモリ:512MB 以上(2GB 以上を推奨)●ハードディスク:セットアップのために 200MB 以上の空き容量 実行時に作業領域として 500MB 以上の空き容量※上記はシステムドライブ(Cドライブ)に必要な空き容量です。セットアップ前はシステムドライブ固定で、変更はできません。●ディスプレイ:XGA(1024×768)以上の解像度(HighColor(16bit)以上を推奨)※ディスプレイの「項目のサイズ」の設定(DPI)は、150%以下でご利用ください。それ以上のサイズでは正しく表示されない場合があります。●プリンター:上記 OS に対応したプリンター(余白を上下左右 5mm 以下に設定可能なプリンターを推奨)●セットアップ方法:CD-ROM またはダウンロード※製品同梱の CD-ROM でセットアップする場合は、CD-ROMドライブ等が必要です。ドライブの無いコンピューターの場合は、ダウンロードによるセットアップが可能です。●動作に必要なソフトウェア:本製品は Microsoft Access 2010 Runtime の 32bit 版を使用しています。インストール済みでない場合はセットアップの際に自動的にインストールされます。その際、ハードディスクに 2GB の空き容量が別途必要です。Office 2010 の 64bit 版がインストールされている場合、Access 2010 Runtime の 64bit 版のダウンロードが必要です。また本製品は.NET Framework2.0 を使用しています。Windows 7/Vista にはあらかじめインストールされています。Windows 10/8.1 でインストール済みでない場合は、ダウンロードが必要です。その際、ハードディスクに最大 980MB の空き容量が別途必要です。

※Access 2010 以外の他のバージョンの Access をご利用の場合には、動作に影響を与えることがあります。※各種プログラム等のダウンロードにはインターネット接続環境が必要です。※諸般の事情により、製品の仕様・対応用紙・デザイン・動作環境等は変更することがあります。※記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※製品内容や動作環境の詳細、印刷見本、およびサポートサービスの詳細については、弊社ウェブサイトをご覧ください。(http://www.bsl-jp.com)

1章

運用の準備

1-1	本製品での在庫管理について.....	8
1-2	運用を開始するにあたって.....	10
1-3	製品をセットアップする.....	11
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する.....	192
8-2	索引.....	194

1-1 本製品での在庫管理について

◆ 在庫管理とは

在庫の管理をするにあたって、重要な点は「正確な在庫数の把握」と「適正な在庫数の維持」です。過剰な在庫による資産価値の下落や商品などの在庫切れを防ぎ、保管場所や管理に関わるコストの削減や、資産の状況把握等を行い、在庫を管理します。

■在庫を持つメリット

- いつでも取引先へ納品できる
- 欠品が起こらないため、企業のイメージが向上
- 商機を逃さない

■在庫を持つことのデメリット

- 倉庫の維持費や管理費、人件費等がかかる
- 在庫が陳腐化する
- 会社の経営資金を圧迫

在庫は多くも少なくもない、適正な在庫数を保つ必要があります。そのためには在庫管理を正確に行う必要があります。

◆ 適正な在庫管理を実現するには

適正な在庫管理を実現するには、正確な在庫数を把握する必要があります。

正確な在庫数を把握するには、「いつ/何を/どこから/どれだけ/誰に」入庫または出庫したのかを、正確に記録します。また、棚卸を定期的に行って、記録した在庫数と実際の在庫数が一致するようにします。

把握した情報をもとに、在庫切れが起きないように在庫数の確認を行ったり、過剰な在庫が無いか分析したり、季節変動品などの情報を分析したりすることにより、適正な在庫管理を行います。

◆ 「在庫らくだ」でできること

本製品では、適正な在庫管理を実現するために、入庫や出庫を「かんたん」かつ「正確に」記録することができます。また、棚卸をいつでも行えるので、記録上の在庫数と実際の在庫数のずれを正しく調整できます。

在庫数を自動的にチェックして、発注点を下回っていないか確認し、事前に在庫切れを防ぐこともできます。

集計機能を使用し、過剰在庫の確認を行ったり、期間内の出庫数を把握し、季節などによる変動品を把握したりすることにより、適正な在庫管理を実現します。

■適正な在庫管理を実現するために本製品でできること

在庫切れ警告、一定期間内の出庫記録、分析グラフなどによる在庫切れの防止

出庫ランキングによる分析、期間内の在庫回転率などの集計による過剰在庫の防止

◆ 本製品での「保管場所」とは

本製品では、倉庫だけではなく、棚やプラスチック製のコンテナ、ダンボール箱など実際に保管する場所を、「保管場所」という単位で管理します。例えば、商品と不良品をそれぞれ箱に入れて管理している場合、「保管場所」に「商品」と「不良品」を作成し、それぞれの入出庫の管理を行うことができます。

◆ 本製品での在庫高の評価について

本製品では、在庫高の評価を「最終仕入原価法」で評価します。最終仕入原価法とは、対象期間内で最後に入荷した際の単価で、すべての在庫を評価する方法です。仕入れた際に、単価を厳密に適用した実在庫高に対する評価額の誤差と傾向は、以下の通りです。

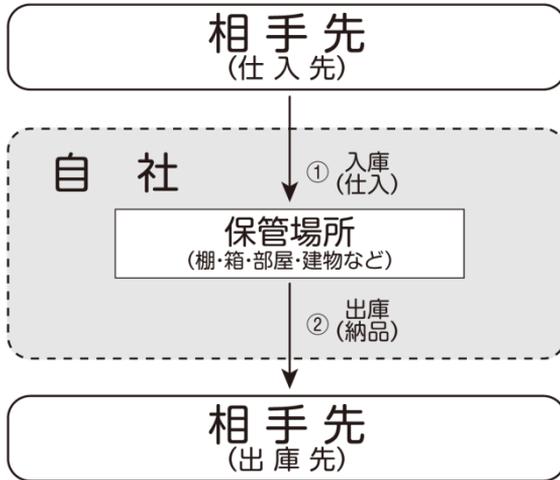
- 商品が値上がり傾向にある場合、実在庫高に比べて在庫金額は高く評価される
- 商品が値下がり傾向にある場合、実在庫高より在庫金額は低く評価される

※棚卸資産の評価方法を所轄の税務署に届出を提出していない場合、在庫高の評価は最終仕入原価法になります。

◆ 本製品での在庫管理の流れ

本製品では、在庫管理は以下のような運用方法で、適正に在庫記録が保たれます。加えて、定期的に棚卸をすることで実際の在庫数と一致させることができます。

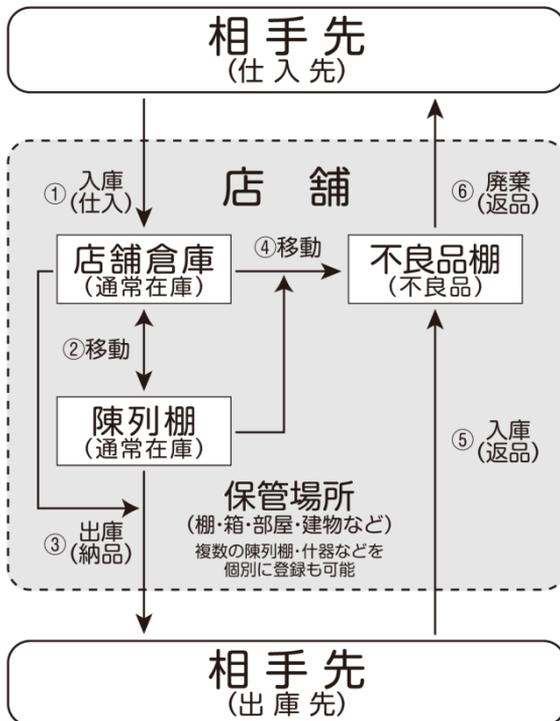
■ 保管場所が1箇所の場合の例



①商品を仕入れる場合、「相手先（仕入先）」から保管場所（倉庫）へ、入庫伝票等で入庫数を記録します。

②商品を納品する場合は、保管場所から「相手先（出庫先）」へ、出庫伝票等で出庫数を記録します。

■ 複数の保管場所を管理している店舗の場合の例



①商品を仕入れる場合、「入庫」として「相手先（仕入先）」から「店舗倉庫」へ入庫数を記録します。

②店舗などで、陳列棚や什器を使用して、商品を陳列している場合、「移動」として「店舗倉庫」から「陳列棚」へ移動数を記録します。陳列棚から店舗倉庫に商品を戻す場合も、「移動」として移動数を記録します。

③「陳列棚」から商品を納品する場合は、「出庫」として「陳列棚」から「相手先（出庫先）」へ出庫数を記録します。直接、店舗倉庫から商品を納品する場合も、「出庫」として「店舗倉庫」から「相手先（出庫先）」へ出庫数を記録します。

④在庫している商品に、不良品があった場合に、「移動」として「不良品棚」へ移動数を記録します。

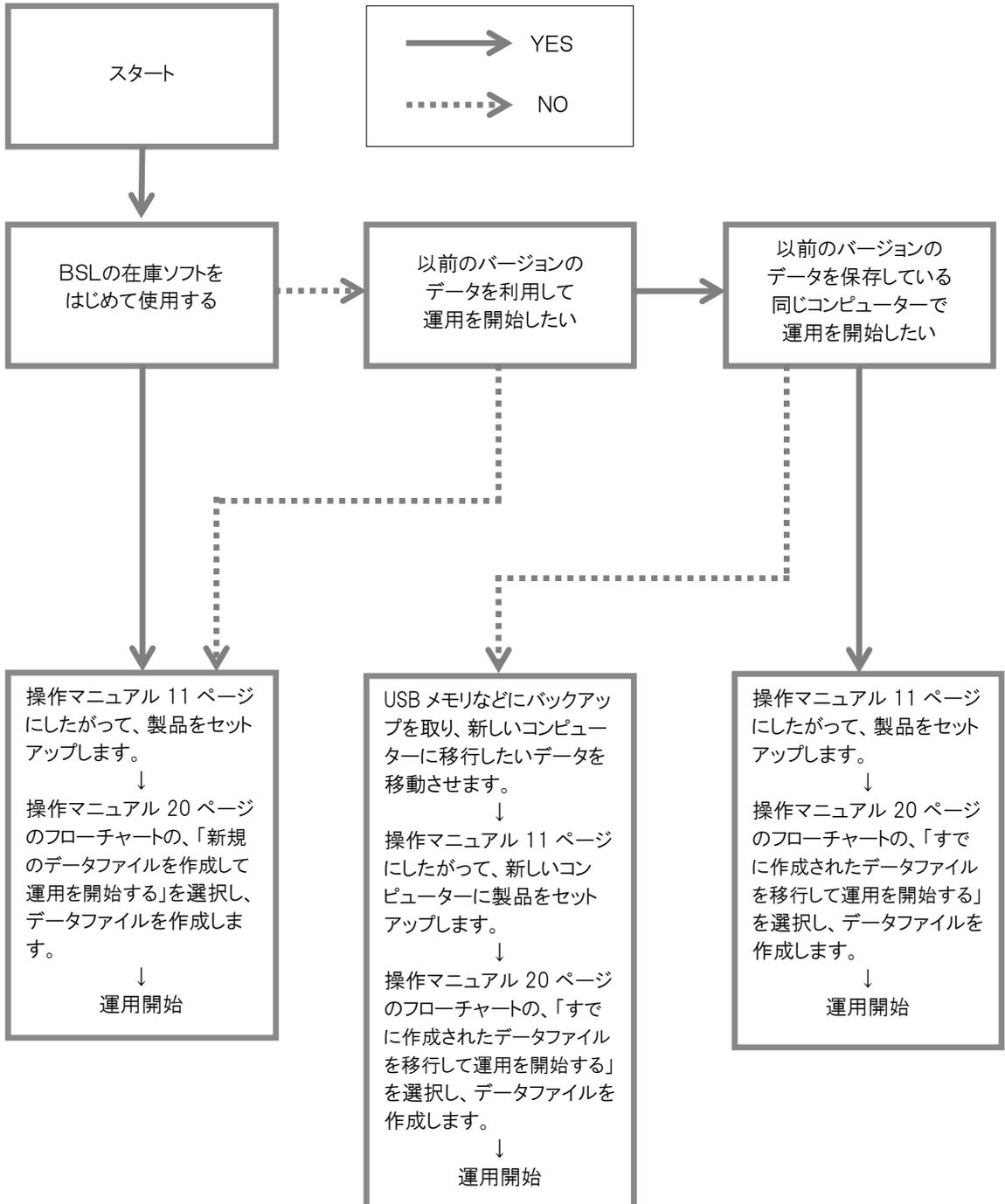
⑤納品した商品が不良品のため返品される場合は、「入庫」として「相手先（出庫先）」から「不良品棚」への入庫数を記録します。

⑥不良品を返品する場合は、「廃棄」として「不良品棚」から出庫数を記録します。（直接、通常在庫や出庫先から「廃棄」として記録もできます）

1-2 運用を開始するにあたって

◆ 運用開始までの流れ

運用を開始するにあたり、以下のフローチャートをご覧ください、お客様が希望される方法にしたがって、セットアップとデータファイルの作成を行ってください。



1-3 製品をセットアップする

本製品を使用するには、パッケージに同梱されている CD-ROM 内のファイルをコンピューターのハードディスクにコピーして使用できる状態に設定する必要があります。この作業を「セットアップ」と言います。

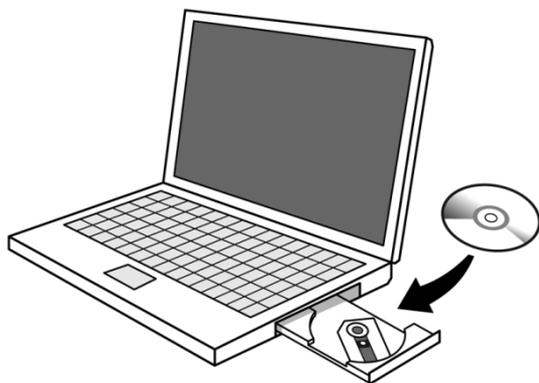
本製品のセットアップは、以下の手順で行ってください。

■ このマニュアルで使用されるアイコンについて

このマニュアルでは、以下のアイコンが使われています。

アイコン	説明
	本製品を使用する際の重要な説明の記載があるところで使用しています。このアイコンが使われている部分の説明は、必ずお読みください。
	本製品を使用する際に知っておくと便利な機能や説明の記載があるところで使用しています。

① CD-ROM をコンピューターのドライブにセットする



製品のセットアップを行うために、製品同梱の CD-ROM をコンピューターのドライブにセットします。

DVD RW ドライブ (D:) BSL_...

このディスクに対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行



製品のセットアップはこちら.exe の実行
発行元は指定されていません

その他の選択肢



フォルダーを開いてファイルを表示
エクスプローラー



何もしない

「自動再生」画面を表示します。(画面は Windows 8.1 です)
[製品のセットアップはこちら.exe の実行] をクリックします。

(Windows 10/8.1 の場合は、CD-ROM をコンピューターのドライブにセットすると、スタート画面の右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示します。表示部分をクリック (タップ) すると、「自動再生」画面を表示します)



お客様がご利用のコンピューターの環境によっては、通常と異なるセットアップ方法が必要な場合や、最初に異なる画面を表示する場合があります。
その場合は、以下の方法で対応してください。

- 「自動再生」画面を表示しません。



CD-ROM をコンピューターのドライブにセットしても自動的に画面を表示しない場合は、CD-ROM に収録されている内容を表示し、[製品のセットアップはこちら]アイコンをダブルクリックしてください。

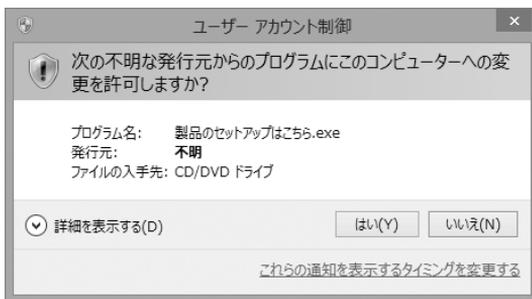
- 「ご利用中の OS は、本製品の動作環境を満たしていないためインストールを続行することができません」というメッセージを表示します。



このメッセージを表示したコンピューターは、本製品の動作環境を満たしていないため、インストールは続行できません。

このメッセージを表示した場合は、[OK]ボタンをクリックし、次に表示される画面の案内にしたがって操作してください。

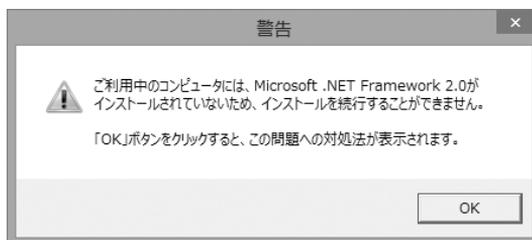
- 途中で「ユーザーアカウント制御」画面を表示します。



Windows 10/8.1/7 をご利用の方は[はい]ボタンを、Windows Vista をご利用の方は[許可]をクリックしてください。

その後は、13 ページの「製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする」の画面に移動します。

- 「警告」画面を表示します。



本製品を Windows 10/8.1 でご利用になる方のうち、「.NET Framework 2.0」をインストールしていない環境でセットアップを実行すると、警告画面を表示します。

その場合は、[OK]ボタンをクリックし、次に表示する画面の案内にしたがって操作してください。

■ CD-ROMドライブが付属していないコンピューターにセットアップする場合

CD-ROM ドライブが付属していないコンピューターの場合、「BSL Web インストーラー」を使用してセットアップすることができます。「BSL Web インストーラー」は弊社ウェブサイトのダウンロードページよりダウンロードできます。(http://www.bsl-jp.com/inst/)

「BSL Web インストーラー」の使用方法などの詳細は、弊社ウェブサイトにてご確認ください。



② 製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする

本製品をセットアップするためには、以下のソフトウェアをインストールする必要があります。これらは本製品が動作するために必要な環境を提供するソフトウェアです。(以下のソフトウェアがすでにインストールされている場合は、インストールしません)

- ・「BSL 共通プログラム」
- ・「Microsoft Access 2010 Runtime」
- ・「Microsoft Access 2010 Runtime SP1」
- ・「.NET Framework 2.0」



CD-ROM をコンピューターのドライブに挿入すると、自動的に製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする画面を表示します。(ご利用中のコンピューターの環境により、表示する内容は異なります)

[インストール] ボタンをクリックすると、順番にインストールを開始します。

Memo

ソフトウェアのインストール状況は、左側の[ステータス]欄で確認できます。



「成功」
インストールが成功したことを表します。

「インストール中」
現在そのソフトウェアをインストールしている最中であることを表します。

「待機中」
これからインストールを行う準備をしていることを表します。

③ 製品の新規セットアップを開始する



製品の動作に必要なソフトウェアのインストールが完了した後に、製品のインストールを行います。「セットアップメニュー」画面の「新規セットアップ」ボタンをクリックします。

以前のバージョンの製品がコンピューターにセットアップしている場合でも、新たにセットアップを行うには「新規セットアップ」ボタンをクリックします。

Memo

BSL 製品のインストール状況によって、「セットアップ済み製品の更新」ボタンや「セットアップ済み製品の削除」ボタンを表示します。



「セットアップ済み製品の更新」

すでにセットアップしている BSL 製品のファイルの更新を行います。製品の動作に問題が発生したり、製品が動作しなくなったりした場合などに行います。

「セットアップ済み製品の削除」

すでにセットアップしている BSL 製品の削除を行います。ただし、ユーザーによって作成したデータファイルは削除しません。

「終了」

セットアップメニューを閉じて終了します。



「セットアップの開始」画面を表示します。

本製品のセットアップを続行するには、「次へ」ボタンをクリックします。

④ シリアルナンバーを入力する



シリアルナンバーを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。シリアルナンバーを入力しなければインストールは続行できません。

[次へ] ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

※シリアルナンバーは、本操作マニュアルの裏面、または弊社からの案内状に記載があります。
※シリアルナンバーの入力を間違えるとエラーメッセージを表示します。シリアルナンバーを再確認して入力しなおしてください。

⑤ 製品使用許諾契約の条項を確認する

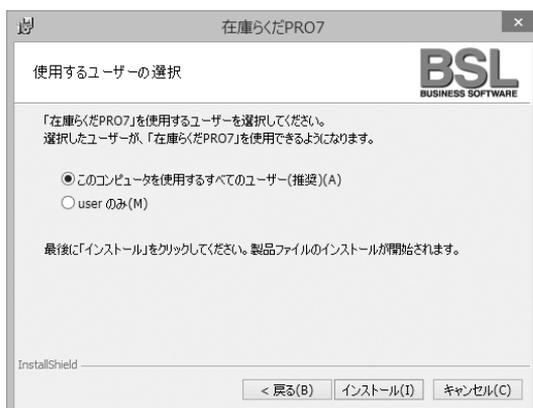


画面中央に表示する製品使用許諾契約の条項をお読みいただき、同意される場合は[製品使用許諾契約の条項に同意します]を選択します。

製品使用許諾契約の条項に同意いただくと、[次へ] ボタンがクリックできるようになります。(同意いただけない場合は、本製品のインストールを続行できません)

[次へ] ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

⑥ 使用するユーザーを選択する



本製品をどのユーザーが使用できるようにするかを選択します。

コンピューターを使用するすべてのユーザーが本製品を使用するには、[このコンピューターを使用するすべてのユーザー(推奨)]を選択します。通常はこちらを選択します。

現在ログインしているユーザーのみが本製品を使用できるようにするには、[(ユーザー名)のみ]を選択します。

選択後、[インストール] ボタンをクリックすると、本製品のインストールを開始します。

⑦ インストールを完了する



本製品のインストールが正常に終了し、最後に[完了]ボタンをクリックすると、セットアップの完了です。

[(製品名) を起動する] にチェックを付けて、[完了]ボタンをクリックすると、製品が起動します。

⑧ 製品を起動する



製品のセットアップが完了すると、デスクトップ上（「Windows 10/8.1」の場合は、スタート画面のタイル）に製品名の書かれたアイコンを表示します。このアイコンをダブルクリックすると、製品が起動します。



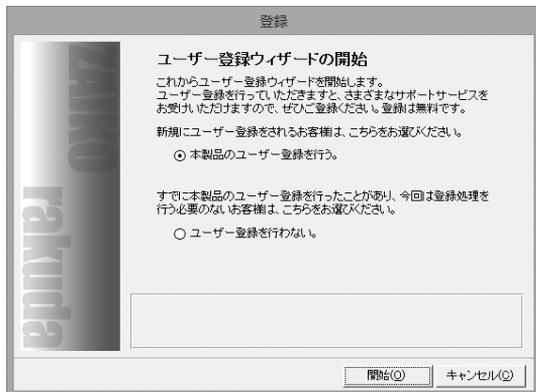
製品の起動時には、以下の点にご注意ください。

- 起動時に「ユーザーアカウント制御」画面を表示する場合があります。その場合、Windows 10/8.1/7 をご利用の方は [はい] ボタンを、Windows Vista をご利用の方は [許可] ボタンをクリックしてください。
- 製品の初回起動時には、起動までに時間がかかる場合があります。
- 本製品は、同じコンピューター上で複数の起動ができません。起動時に、製品がすでに起動中であるというエラーメッセージを表示した場合には、1 分ほど待ってから再度起動してください。それでも解決しない場合は、Windows の再起動を行ってください。
- セットアップには管理者 (Administrator) 権限が必要ですが、セットアップ後は一般ユーザー (User) 権限があれば使用できます。ただしセットアップ時のユーザーの選択 (15 ページの手順⑥) で、「(ユーザー名)のみ」を選択している場合は、セットアップしたときと同じユーザーアカウントでログインしなければ、スタートメニューやショートカットを表示せず、製品を起動できません。

⑨ 初期設定を行う

本製品をセットアップ後、はじめて製品を起動すると「ユーザー登録ウィザード」と「お知らせ機能」の設定、および「アップデートプログラムの確認」を表示します。

■ ユーザー登録ウィザードの開始



ユーザー登録を行うには、[開始] ボタンをクリックします。

ユーザー登録は、オンライン経由での登録と、登録用紙を印刷して FAX や郵便で送付する方法をお選びいただけます。

後からユーザー登録を行いたい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。製品起動後、メインメニューの [サポート] タブ内にある [ユーザー登録] アイコンをクリックすると、いつでもユーザー登録を行うことができます。

製品を再セットアップする際など、すでにユーザー登録を行っている場合は、[ユーザー登録を行わない] を選択して先に進むことができます。

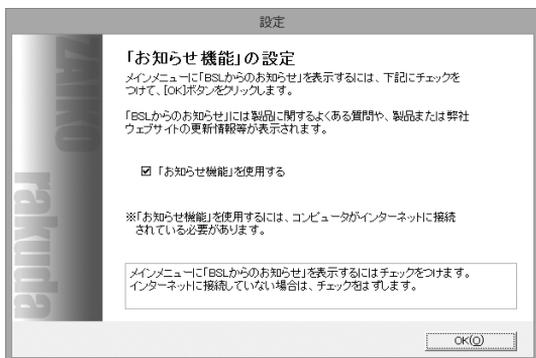


ユーザー登録は必ずしなければなりませんか？

ユーザー登録を行うことにより、お客様が BSL 製品の正規ユーザーであることを証明し、サポートサービスを受ける権利を取得できます。サポートサービスをお受けになるためには、ユーザー登録が必要です。(ユーザー登録は無料です)

弊社から直接製品を購入した場合や、アップグレードで製品を購入した場合でも、必ずユーザー登録をお願いいたします。

■ 「お知らせ機能」の設定



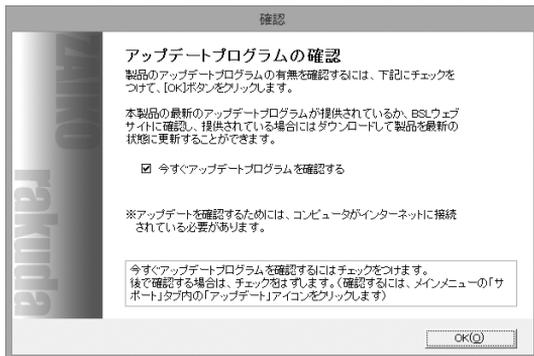
「お知らせ機能」の設定を行います。

「お知らせ機能」とは、本製品の起動時にインターネットを経由して製品に関する最新の情報をメインメニューに表示する機能です。本製品の更新情報や、お得な最新情報を閲覧できます。

初期設定では、「[お知らせ機能]を使用する」にチェックが付いており、設定が有効になっています。「お知らせ機能」を使用する場合は、そのまま [OK] ボタンをクリックします。

※「お知らせ機能」のご利用には、インターネット接続環境が必要です。

■ アップデートプログラムの確認



「アップデートプログラムの確認」を表示します。

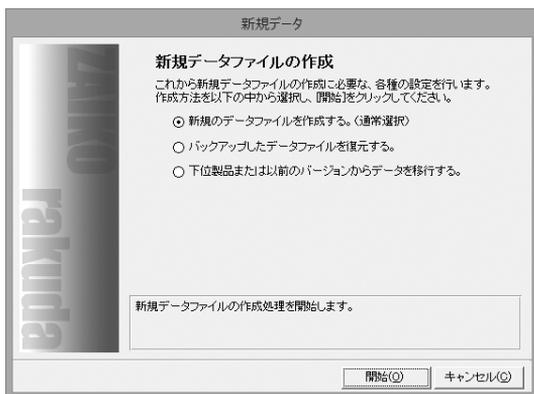
アップデートプログラムの有無を確認するには、[今すぐアップデートプログラムを確認する] にチェックを付けて [OK] ボタンをクリックします。

アップデートプログラムが存在する場合は、製品が自動終了し、プログラムの更新後に再起動します。

※初期設定の際にオンラインユーザー登録を行うと、最新のアップデートプログラムをダウンロードできます。

初期設定時にオンラインユーザー登録を行っていない場合やユーザー登録をキャンセルした場合は、後からユーザー登録を行い、ユーザー登録の完了後、メインメニューの [サポート] タブ内の [アップデート] アイコンをクリックして、再度アップデートプログラムの確認を行ってください。

⑩ データファイルを作成する



本製品に入力した各種の情報を保存するためのデータファイルを作成します。

データファイルの作成については、20 ページの「データファイルを作成する」をご覧ください。

※データファイルは既定のドキュメントフォルダーに保存されます。保存場所を他のフォルダーやクラウドストレージの同期フォルダーに変更したい場合には、177 ページの「データ保守」にある項目「フォルダー設定」をご覧ください。

2章

データファイルの 作成と管理

2-1	データファイルを作成する.....	20
2-2	新規データファイルを作成する.....	21
2-3	下位製品や以前のバージョンのデータファイルを移行する.....	28
2-4	バックアップファイルからデータを移行する.....	35
2-5	データファイルを切り替える.....	38
2-6	データファイルのバックアップを行う.....	39
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する.....	192
8-2	索引.....	194

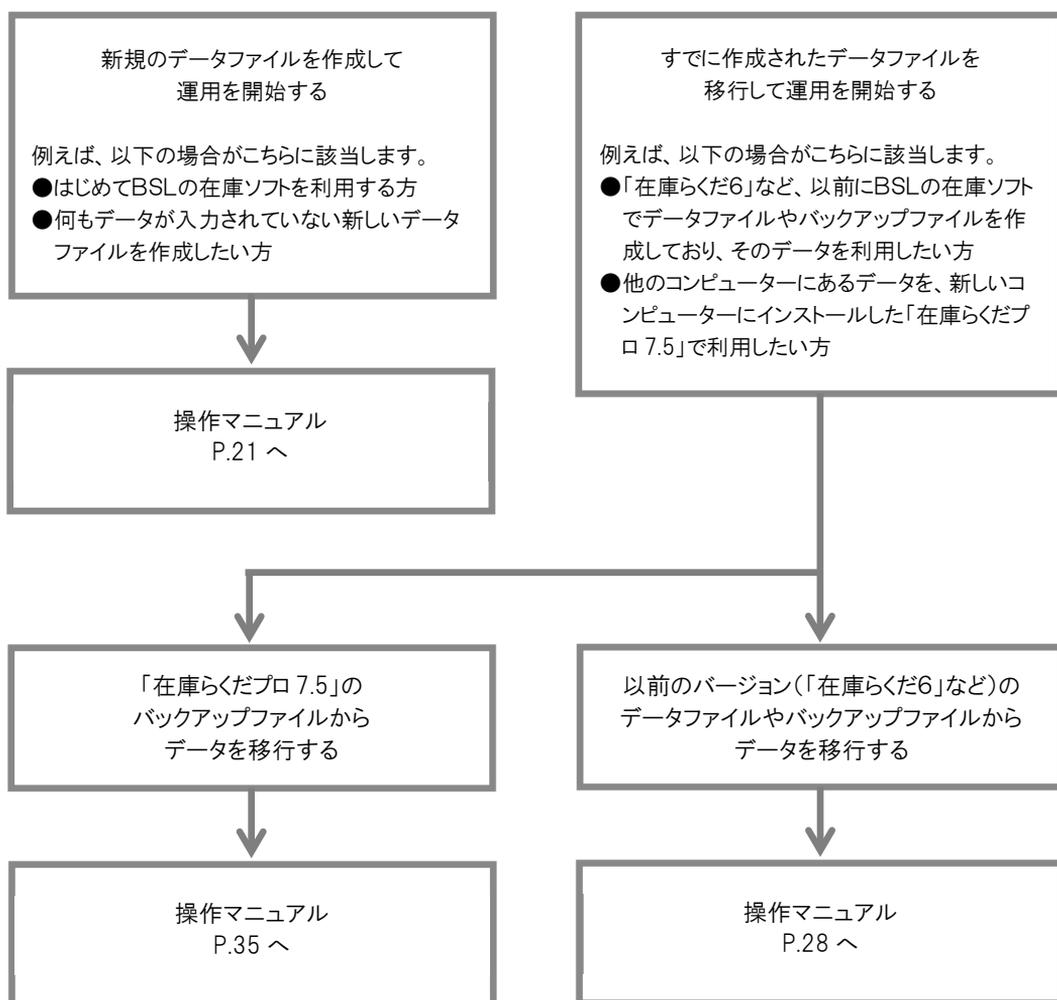
2-1 データファイルを作成する

データファイルとは、本製品に入力した各種の情報を保存するためのファイルのことです。データファイルを作成することにより、自社情報や各種の設定情報を登録して、製品を使用可能な状態にします。

データファイルを作成する方法には、新規にデータファイルを作成する方法の他に、旧バージョンの製品で使用していたデータファイルの本製品で使用できる状態にしたり、バックアップファイルから本製品で使用できる状態のデータファイルにしたりする方法があります。

以下の「データファイルの作成フローチャート」を参考に、データファイルの作成方法が記載されているページへお進みください。

◆ データファイルの作成フローチャート

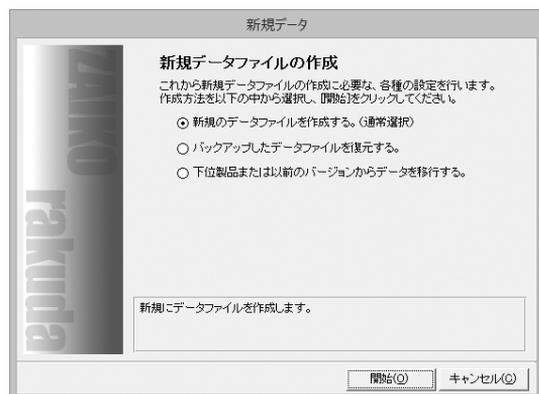


2-2 新規データファイルを作成する

データを保存するためのデータファイルを新規に作成します。

新規データファイルの作成は、以下の手順で行います。なお、新規データファイルを作成する際に入力する内容は、後から変更できます。

① 新規データファイルの作成



The screenshot shows a window titled '新規データ' (New Data). The main heading is '新規データファイルの作成' (New Data File Creation). Below it, there is a paragraph: 'これから新規データファイルの作成に必要な、各種の設定を行います。作成方法を以下の中から選択し、開始をクリックしてください。' (From now on, we will perform various settings necessary for creating a new data file. Please select a creation method from the following and click Start.) There are three radio button options: 1. '新規のデータファイルを作成する。(通常選択)' (Create a new data file. (Normal selection)) - This is selected. 2. 'バックアップしたデータファイルを復元する。' (Restore a data file that has been backed up.) 3. '下位製品または以前のバージョンからデータを移行する。' (Migrate data from a lower product or previous version.) At the bottom, there is a text box containing '新規にデータファイルを作成します。' (Create a new data file.) and two buttons: '開始(O)' (Start) and 'キャンセル(Q)' (Cancel).

「新規データファイルの作成」画面において、[新規のデータファイルを作成する]を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

② 自社情報の設定



The screenshot shows a window titled '新規データ' (New Data). The main heading is '自社情報の設定' (Company Information Setting). Below it, there is a paragraph: '自社情報を設定します。自社名は必ず入力してください。' (Set company information. Please enter the company name.) There are several input fields: '会社名:' (Company Name), '代表者名:' (Representative Name), '郵便番号:' (Postal Code), '住所1:' (Address 1), '住所2:' (Address 2), '電話番号:' (Phone Number), and 'FAX番号:' (FAX Number). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル(Q)' (Cancel).

伝票に表示・印刷するための自社情報を入力します。自社名は必ず入力してください。

自社情報の設定は、後から変更できます。自社名を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

③ 使用開始日の設定



The screenshot shows a window titled '新規データ' (New Data). The main heading is '使用開始日の設定' (Usage Start Date Setting). Below it, there is a paragraph: '何月何日の入出庫から入力するかを設定します。通常は、『在庫らくだPRO7』を使用し始める日付を指定します。この日付より前の入出庫は入力できませんのでご注意ください。' (Set the date from which you will enter the inventory. Usually, specify the date when you start using 'Inventory Rakuda PRO7'. You cannot enter inventory from before this date, so please be careful.) There is a date input field with '2016/1/1' entered. At the bottom, there is a text box containing '次の手順へ進みます。' (Proceed to the next step.) and three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル(Q)' (Cancel).

〔使用開始日付〕欄に入力された日付以降の入出庫などを入力できます。

ここで入力した日付より前の入出庫は入力できません。ご注意ください。

使用開始日の設定は、後から変更できます。使用開始日を変更するには、168 ページの「データファイル」をご覧ください。

④ 小数点の設定

商品の単価、金額、および数量についての小数点以下の桁数、および小数点端数処理の設定を行います。ここで設定した小数点設定をもとに、画面の表示などを変更します。

小数点の設定は、後から変更できます。小数点の設定を変更するには、173 ページの「入力設定」をご覧ください。

⑤ 金額管理の設定

金額の管理の設定を行います。在庫数の管理以外に、在庫金額（棚卸資産）の管理や仕入時の単価の管理を行う場合は、[金額管理を行う] を選択します。

在庫数の管理のみ行う場合は、[金額管理を行わない] を選択します。

金額管理の設定は、後から変更できます。金額管理の設定を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

⑥ 相手先管理の設定

倉庫や棚などの相手先管理の設定を行います。在庫管理で、仕入先や出庫先の情報の管理が必要な場合は、[相手先管理を行う] を選択します。在庫数の管理のみ行う場合は、[相手先管理を行わない] を選択します。

相手先管理の設定は、後から変更できます。相手先管理の設定を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

⑦ 発注計画管理の設定

新規データ

機能の選択 - 発注計画管理

発注計画管理を行うかどうかを設定します。この設定は後から変更できます。必要な機能の場合のみ「行う」を選択してください。

発注計画管理を行う

発注計画管理を行わない

◆発注計画管理の特徴

発注計画管理を行うと、発注計画書の作成や入庫待ちの管理が行えるようになります。

次の手順へ進みます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

発注計画管理の設定を行います。

発注計画書の作成や、一括発注機能、発注残の確認を行う場合は、[発注管理を行う]を選択します。

発注機能を使用しない場合は、[発注管理を行わない]を選択します。

発注計画管理の設定は、後から変更できます。発注計画管理の設定を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

⑧ ロット管理の設定

新規データ

機能の選択 - ロット管理

ロット管理を行うかどうかを設定します。この設定は後から変更できます。必要な機能の場合のみ「行う」を選択してください。

ロット管理を行う

ロット管理を行わない

◆ロット管理の特徴

ロット管理を行うと、ロットごとの仕入単価の管理や先入れ先出しの管理ができますが、より詳細な在庫管理が必要になります。本製品のロット機能は、社内で管理するロットに対応しています。製造ロットを管理する場合は、製造ロットを1つの商品として登録・管理してください。

次の手順へ進みます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

ロット管理の設定を行います。

ロットごとに在庫管理を行う場合は、[ロット管理を行う]を選択します。

商品の単価を分けて管理する場合や、入庫日付で商品を管理して、入庫した順に出庫する場合などに使用します。

本製品のロット機能では、社内付番したロットに対応します。製造メーカーが付番する製造ロットは、ロットではなく1つの商品として登録・管理してください。

ロット管理の設定は、後から変更できます。ロット管理の設定を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

⑨ 保管場所管理の設定

新規データ

機能の選択 - 保管場所管理

保管場所管理を行うかどうかを設定します。この設定は後から変更できます。必要な機能の場合のみ「行う」を選択してください。

保管場所管理を行う

保管場所管理を行わない

◆保管場所管理の特徴

保管場所管理を行うと、在庫を保管場所ごとに分けて管理することができます。それにより、どこにどれだけ在庫があるかを把握できます。また、不良品や引当済等の在庫の状態も管理できます。

次の手順へ進みます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

保管場所管理の設定を行います。

商品を保管場所ごとに管理する場合は、[保管場所管理を行う]を選択します。

保管場所管理が不要の場合は、[保管場所管理を行わない]を選択します。

保管場所管理の設定は、後から変更できます。保管場所管理の設定を変更するには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

10 保管場所の設定

新規データ

保管場所の設定

「在庫らくだプロ」では複数の保管場所を管理することができます。
下記項目に保管場所コードと保管場所名を入力してください。
保管場所を追加する際は、最下五行の空欄に追記してください。

保管場所コード	フリガナ 保管場所名	備考
A001	ツウジョウサイコダナ 通常在庫欄	既定の保管場所

削除

ここで設定をせめて、そのまま[次へ]ボタンを押してもかまいません。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

(この画面は、手順⑨で「保管場所管理を行う」を選択した場合に表示します)

保管場所の設定を行います。保管場所を追加するには、最下行の空欄に保管場所コードと保管場所名を入力します。
[削除] ボタンをクリックすると、選択している保管場所が削除されます。

保管場所は後から追加・変更ができます。保管場所の編集方法については、158 ページの「5-3 保管場所台帳の管理」をご覧ください。

11 設定が完了

新規データ

設定が完了しました

新規のデータファイルを作成するのに必要な設定がすべて完了しました。
下記の内容を確認し、[完了] ボタンをクリックしてください。

以下の設定内容で、データファイルを新規作成します。

自社名： らくだ文房具
代表者名： らくだ太郎
郵便番号： 160-0004
住所1： 東京都新宿区四谷*-*
住所2：
電話番号： 03-*****
FAX番号： 03-*****
扱う期間：2018年01月01日～

ここまでにご設定した内容は、メインメニューの設定アイコンをクリックして、各設定画面を開けば、自由に変更することができます。

新規データファイルの設定内容です。
表示されている設定に従い、新規データファイルを作成します。

< 戻る(B) 完了(O) キャンセル(C)

これまで設定した新規データファイルの内容を表示します。

設定内容を確認し、問題がない場合は[完了] ボタンをクリックします。これで新規データファイルが作成されます。

設定内容を修正する場合は、[戻る] ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再度入力します。

12 メインメニューの[導入]タブを表示

在庫らくだプロ7.5 らくだ文房具

日常処理 集計表 特別処理 導入 データ保守 サポート

初めに初期在庫の入力をお勧めします

初期在庫 インポート 設定

初期在庫を入力します。

終了

BSIDPの知識P社 最新の情報を閲覧するにはここをクリック。

16/06/16 【FAQ】過去の特定の日付時点での在庫数を確認するには？
16/06/16 【FAQ】現在時点での在庫数はどのように入力しますか？
16/06/16 【FAQ】現在の在庫金額の合計(在庫数)を確認するには？
16/06/16 【FAQ】商品台帳・取引先台帳(仕入先台帳)を並べ替えたい場合は？
16/06/16 【FAQ】設置・準備に小数点以下を使用するには？

新規データファイルが作成され、メインメニューの[導入]タブを表示します。

初期在庫を入力するには、手順⑬へ進んでください。
入出庫帳や各種台帳をインポートするには、180 ページの「台帳と入出庫履歴を取り込む(インポート)」をご覧ください。

13 初期在庫を設定



初期在庫を入力するには、[初期在庫] アイコンをクリックします。

[初期在庫]アイコンをクリック

14 商品の情報を入力



「初期在庫」画面を表示します。
商品の情報や使用開始日時点での在庫数を入力します。
入力した情報は、自動的に商品台帳へ登録します。
項目ごとの説明については、以下の表で確認してください。

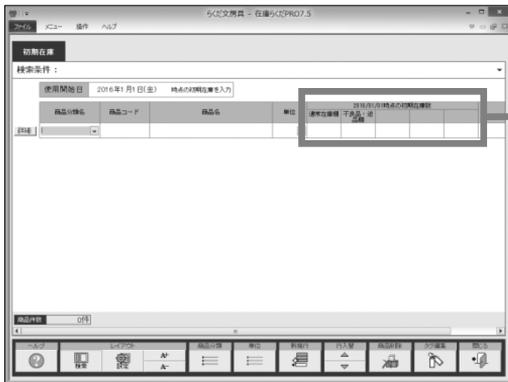
また [詳細] ボタンをクリックすると、商品台帳を表示します。より詳細な商品情報を編集できます。
商品台帳の操作については、148 ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

商品分類名	商品コード	商品名	単位	2016/01/01時点の 初期在庫数	タグ

項目名	説明
商品分類名	商品分類を使用している場合に、商品分類の名称を入力します。(空欄可) 商品分類名は、全角 20 文字まで入力できます。
商品コード	商品コードを使用している場合に入力します。(空欄可) 商品コードは、最大 20 桁の半角英数字を入力できます。 商品コードをバーコードで管理する場合、5～15 桁を推奨します。
商品名	商品名を入力します。 商品名は、全角 50 文字まで入力できます。(全角 20 文字以内を推奨)
単位	商品の単位を入力します。
(使用開始日)時点での 初期在庫数	使用開始日時点での商品の在庫数を入力します。
タグ	この画面では編集できません。 タグについては 162 ページの「タグの管理」をご覧ください。

■ 複数の保管場所を管理する

複数の保管場所を管理している場合は、保管場所台帳機能を使用します。保管場所台帳機能を有効にすると、「初期在庫」画面の「初期在庫数」欄に登録した保管場所を表示します。初期在庫を保管場所ごとに入力できます。保管場所台帳については 158 ページの「保管場所台帳の管理」をご覧ください。



登録した保管場所を表示

■ 商品のロットを使用する

商品のロットを管理している場合は、ロット管理を使用します。ロット管理を有効にすると、「初期在庫」画面に、商品ごとにロットを表示します。初期在庫を商品のロットごとに入力できます。ロット管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。



ロット番号の入力と
在庫数を入力



保管場所台帳機能を有効にしている場合は、保管場所ごとに在庫数を入力します。

◆ 新規データファイルを追加作成するには

データファイルを複数作成することで、異なる事業所の在庫管理ができます。新規データファイルを追加作成するには、以下の方法で行います。



メインメニューの「データ保守」タブ内にある「データ作成」アイコンをクリックします。

[データ作成]アイコンをクリック



「新規データファイル作成ウィザード」画面を表示します。画面の表示にしたがって、新規データファイルを追加作成します。

※「新規データファイル作成ウィザード」画面で表示される内容については、21 ページの「新規データファイルを作成する」をご覧ください。

※追加作成した後に、使用するデータファイルを切り替える方法については、38 ページの「データファイルを切り替える」をご覧ください。

2-3 下位製品や以前のバージョンのデータファイルを移行する

本製品は、「かるがるできる在庫 2」以降の「かるがるできる在庫」や、「在庫らくだ 3」以降の「在庫らくだ」シリーズのデータファイルを移行できます。

すでに作成しているこれらのデータファイルからデータを移行して運用するには、以下の手順で行います。



データファイルからデータを移行するには、本製品をセットアップしているコンピューターに、データを保存する必要があります。他のコンピューターに保存しているデータを移行する場合は、USB メモリなどを利用して、あらかじめ、本製品をセットアップしたコンピューターにデータファイルを移動してください。

① 新規データファイルの作成

新規データ

新規データファイルの作成

これから新規データファイルの作成に必要な、各種の設定を行います。
作成方法を以下の中から選択し、[開始]をクリックしてください。

- 新規のデータファイルを作成する。(通常選択)
- バックアップしたデータファイルを復元する。
- 下位製品または以前のバージョンからデータを移行する。

新規データファイルの作成処理を開始します。

[開始] [キャンセル]

「新規データファイルの作成」画面において、[下位製品または以前のバージョンからデータを移行する]を選択し、[開始] ボタンをクリックします。

② データを移行する対象製品の指定

新規データ

データを移行する対象製品の指定

データを移行する対象となる製品を、以下から選択してください。

製品選択:

在庫らくだプロ6	※
在庫らくだ6普及版	
かるがるできる在庫4/4.1	
かるがるできる在庫3	
在庫らくだプロ4	
在庫らくだ4普及版	
在庫らくだプロ3	
在庫らくだ3普及版	
かるがるできる在庫2	

※ データファイルが自動検出された製品。

次の手順へ進みます。

<戻る [B] [次へ] [N] > [キャンセル]

データを移行する対象となる製品を選択します。
データファイルが自動的に検出した製品は、製品名の右側に「※」を表示します。

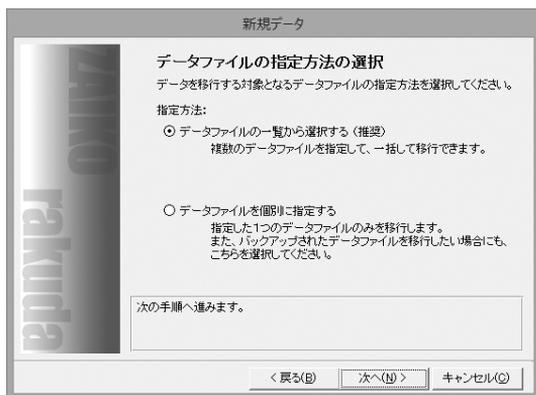
データを移行する製品を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

※操作画面の内容は、「在庫らくだプロ6」からのデータ移行を例に説明します。



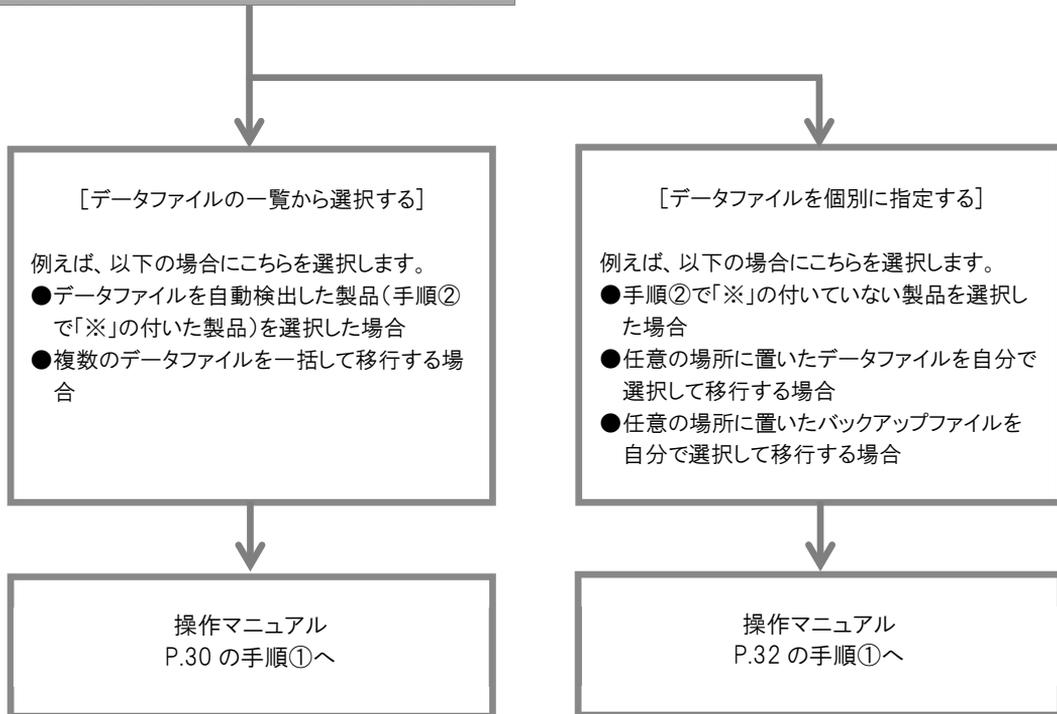
以前のバージョンの「在庫らくだ」で商品名・得意先(入庫先・出庫先)などに重複した名称を使用している場合、データ移行をすると、名称の後ろに「(2)」、「(3)」...と、連番が自動的に付きます。

③ データファイルの指定方法の選択



データ移行の対象となるデータファイルの指定方法を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

データファイルは、以下の二つの方法で移行できます。



Memo

下位製品や以前のバージョンの製品のデータファイルを自動検出した場合は、[データファイルの一覧から選択する]に「(推奨)」と表示します。一方、データファイルを自動検出しなかった場合は、[データファイルを個別に指定する]に「(推奨)」と表示します。「(推奨)」と表示した項目を選択することをお勧めします。

◆ [データファイルの一覧から選択する]を選択した場合

① データを移行するファイルの指定

データファイルを自動的に検出し、移行可能なデータファイルを画面中央に表示します。

移行するデータファイルをクリックして選択します。

[次へ] ボタンをクリックします。

※データは複数選択できます。選択したデータファイルは背景が黒く反転し、文字が白抜きで表示します。

[全選択] ボタンをクリックすると、一覧に表示しているデータファイルすべてを一度に選択できます。

② 注文書の移行方法の選択

(この画面は、「わかるができる在庫」からデータ移行する場合は表示しません)

以前のバージョンの製品で作成した注文書を移行します。

項目	説明
注文書を移行する	以前のバージョンの製品で作成した注文書を移行します。 旧製品で「完了」欄にチェックを付けた注文書は、納品済みとして移行します。 移行した注文書は「計画書一覧」画面で確認ができます。
注文書を「入庫済」として移行する	以前のバージョンの製品で作成した注文書をすべて納品済みとして移行します。 旧製品で作成した注文書は、「完了」欄のチェックの有無に関わらず、すべて納品済みになります。移行した注文書は「計画書一覧」画面で確認ができます。
注文書を移行しない	以前のバージョンの製品で作成した注文書は移行しません。

③ 在庫切れ警告の移行方法の選択

在庫切れ警告の移行方法を選択します。

項目	説明
出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する	出庫時に在庫が無くなった場合に、「在庫切れの警告」画面を表示するよう設定します。
出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する	出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に、「発注点警告」画面を表示するよう設定します。

④ 機能・設定の移行方法の選択

データ移行後に、本製品で各種の設定内容を移行するための設定を行います。

項目	説明
設定を移行する	本製品の各種設定を、データを移行する対象製品の設定と同じにします。(プリンターや印刷位置の設定は移行しません。)ただし、すでに本製品の運用を開始している場合は、設定内容を上書きします。設定を変更しない場合は、チェックを付けないでください。

⑤ データ移行の実行

画面中央に表示する内容を確認します。問題がない場合は「実行」ボタンをクリックしてデータ移行を実行します。

設定内容を修正する場合は、「戻る」ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再設定を行います。

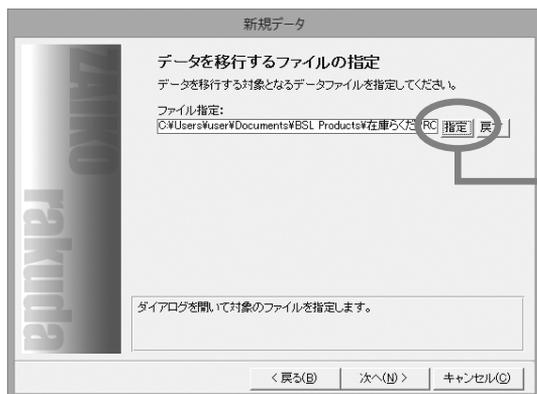
[実行]ボタンをクリックすると、メインメニューを表示します。本製品の基本的な操作については、41 ページの「3章 基本的な操作」をご覧ください。実際の在庫管理については、65 ページの「4章 在庫管理を行う」をご覧ください。

Memo

旧バージョンからのデータ移行が完了し、本製品での運用ができることを確認した後は、旧バージョンの製品をアンインストールできます。

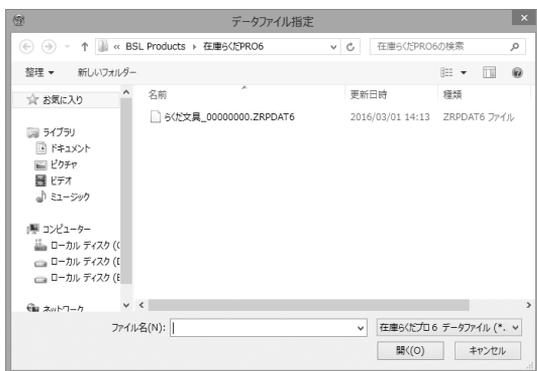
◆ [データファイルを個別に指定する]を選択した場合

① データを移行するファイルの指定



[指定] ボタンをクリックして、データファイルを指定します。

[指定]ボタンをクリック

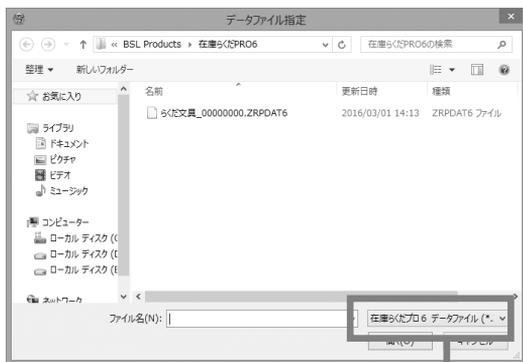


「データファイル指定」画面を表示します。
移行するデータファイルを選択します。

移行するデータファイルをダブルクリックするか、データを選択して [開く] ボタンをクリックします。

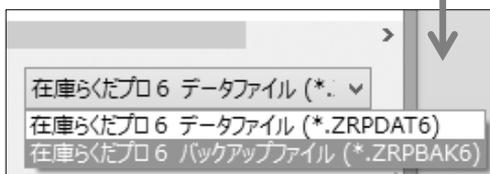


移行するデータの種類(データファイル・バックアップファイル)は、以下の方法で選択してください。



データファイルとバックアップファイルは拡張子が異なるため、ファイルの種類を指定しなければ表示しません。

移行するデータの種類を指定するには、「データファイル指定」画面の[ファイル名]に表示するリストから選択してください。



[▼]をクリックして表示するリストから、ファイルの種類を選択します。

コンピューターに以前のバージョンのデータファイルが存在する場合は、データファイルを選択した状態になります。コンピューターに以前のバージョンのデータファイルが存在しない場合は、バックアップファイルを選択した状態になります。

② 注文書の移行方法の選択

新規データ

注文書の移行方法の指定
 注文書の移行方法を指定してください。
 注文書の移行に際して、以下の点にご注意ください。

※注文書移行時の注意点

1. 明細が存在しない注文書は移行されません。
2. 商品や数量が未入力の場合も移行されません。
3. 「納品済」でない注文書は「入庫待ちがある商品」として扱われます。
 ※本製品では、「入庫待ち」管理機能が新たに追加されています

移行方法

注文書を移行する
 注文書を「入庫済」として移行する
 注文書を移行しない

次の手順へ進みます。

<戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

（この画面は、「かるがるできる在庫」からデータ移行する場合は表示しません）
 以前のバージョンの製品で作成した注文書を移行します。

項目	説明
注文書を移行する	以前のバージョンの製品で作成した注文書を移行します。 旧製品で「完了」欄にチェックを付けた注文書は、納品済みとして移行します。 移行した注文書は「計画書一覧」画面で確認ができます。
注文書を「入庫済」として移行する	以前のバージョンの製品で作成した注文書をすべて納品済みとして移行します。 旧製品で作成した注文書は、「完了」欄のチェックの有無に関わらず、すべて納品済みになります。 移行した注文書は「計画書一覧」画面で確認ができます。
注文書を移行しない	以前のバージョンの製品で作成した注文書は移行しません。

③ 在庫切れ警告の移行方法の選択

新規データ

在庫切れ警告の指定
 在庫が発注点を下回った場合や在庫切れの場合に警告を表示するか指定してください。

出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する
 出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する

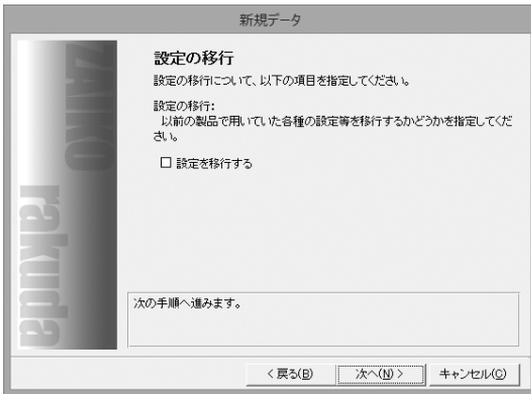
次の手順へ進みます。

<戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

在庫切れ警告の移行方法を選択します。

項目	説明
出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する	出庫時に在庫が無くなった場合に、警告画面を表示するよう設定します。
出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する	出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に、「発注点警告」画面を表示するよう設定します。

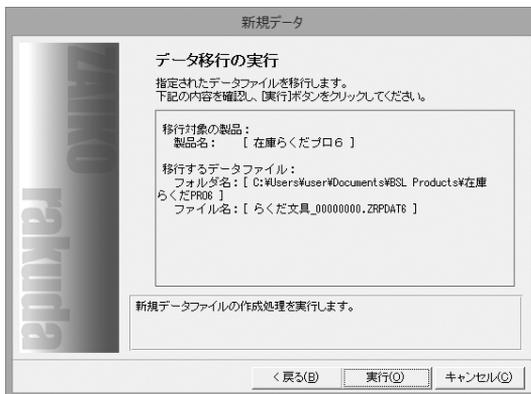
④ 機能・設定の移行方法の選択



データ移行後に、本製品で各種の設定内容を移行するための設定を行います。

項目	説明
設定を移行する	本製品の各種設定を、データを移行する対象製品の設定と同じにします。(プリンターや印刷位置の設定は移行しません。)ただし、すでに本製品の運用を開始している場合は、設定内容を上書きします。設定を変更しない場合は、チェックを付けないでください。

⑤ データ移行の実行



画面中央に表示する内容を確認します。
問題がない場合は[実行]ボタンをクリックしてデータ移行を実行します。

設定内容を修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再設定を行います。

[実行]ボタンをクリックすると、メインメニューを表示します。
本製品の基本的な操作については、41ページの「3章 基本的な操作」をご覧ください。実際の在庫管理については、65ページの「4章 在庫管理を行う」をご覧ください。

Memo

旧バージョンからのデータ移行が完了し、本製品での運用ができることを確認した後は、旧バージョンの製品をアンインストールできます。

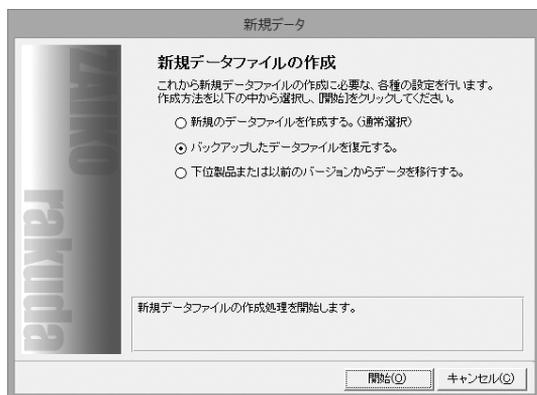
Memo

運用途中でデータ移行を行うには、メインメニューの[導入]タブ内にある[旧製品からの移行]ボタンをクリックします。

2-4 バックアップファイルからデータを移行する

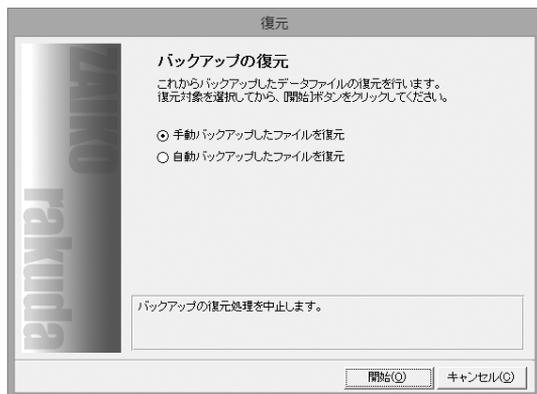
本製品で、以前にバックアップしたファイルを復元して運用する場合は、以下の手順で行います。

① 新規データファイルの作成



「新規データファイルの作成」画面において、[バックアップしたデータファイルを復元する]を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

② バックアップの復元



「バックアップの復元」画面を表示します。

復元するバックアップファイルの種類を選択してから [開始] ボタンをクリックします。(他のコンピューターから移動したバックアップファイルから移行する場合は、[手動バックアップしたファイルを復元]を選択します)

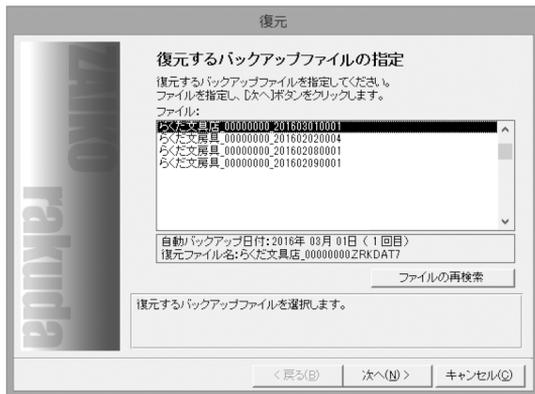
■ [手動バックアップしたファイルを復元]を選択した場合



復元可能なバックアップファイルの一覧を表示します。復元するファイルを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

自動的にバックアップファイルの一覧を表示しない場合は、[変更] ボタンをクリックし、参照先を該当するバックアップファイルを保存している場所に変更してください。

■ [自動バックアップしたファイルを復元]を選択した場合



自動的にバックアップした復元可能なバックアップファイルの一覧を表示します。

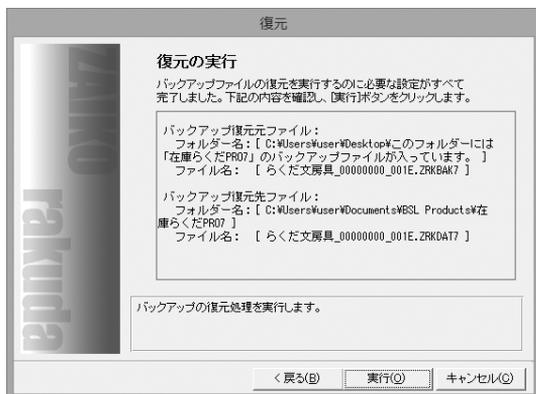
復元するファイルを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

Memo

自動バックアップファイルは、ファイル名からいつバックアップしたファイルか(日付)と、何回目にバックアップしたファイルかを識別できます。

例えば、ファイル名が「らくだ文具_00000000_201606160001」と表示されている場合は、「2016年6月16日」に自動バックアップしたファイルの「0001」番目ということになります。

③ 復元の実行



画面に表示する内容を確認します。

問題がない場合は[実行] ボタンをクリックして、バックアップファイルの復元を実行します。

[実行] ボタンをクリックすると復元作業を開始します。

設定内容を修正する場合は、[戻る] ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再設定を行います。

◆ 運用の途中でバックアップファイルからデータを復元するには

本製品のバックアップファイルは、復元機能を利用することにより、再び使用できるようになります。バックアップファイルの復元は以下の方法で行います。



バックアップファイルの復元は、主にデータファイルやコンピューターが破損した場合などの非常時に行うもので、日常的に使用するものではありません。応用的な利用法として、例えば、1つのデータを2台のコンピューターで利用しており、最新の状態のデータをもう1台のコンピューターに移したい場合などに使用します。

誤って復元を行うと、現在のデータが上書きされて、失われてしまう場合があります。バックアップファイルの復元の操作は十分に注意して行ってください。

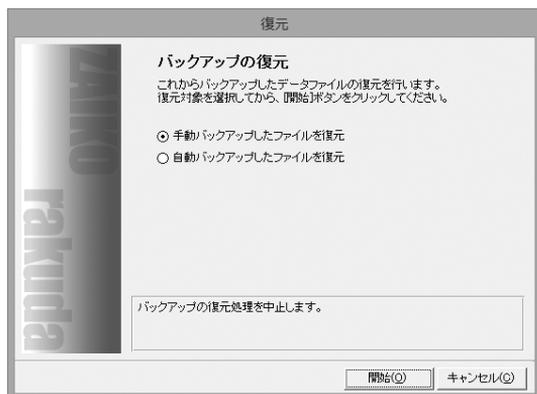
① [復元]アイコンをクリック



データを復元するには、メインメニューの[データ保守]タブにある[復元]アイコンをクリックします。

[復元]アイコンをクリック

② バックアップの復元



「バックアップの復元」画面を表示します。

以降の操作は、35ページの「②バックアップの復元」と同じ手順です。

[開始]ボタンをクリックすると、メインメニューを表示します。
以降の操作については、42ページをご覧ください。

2-5 データファイルを切り替える

本製品で複数のデータファイルを作成した場合は、データファイルを切り替えて作業を行うことができます。データファイルの切り替えは、以下の手順で行います。

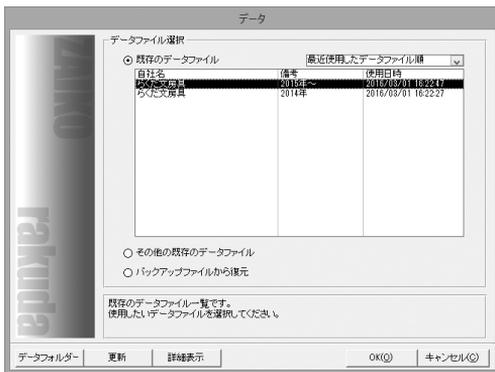
① [データを開く]アイコンをクリック



データファイルを切り替えるには、メインメニューの[データ保守]タブ内にある[データを開く]アイコンをクリックします。

[データを開く]アイコンをクリック

② データファイルを選択する



画面中央に、作成したデータファイルの一覧を表示します。目的のデータファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

項目	説明
既存のデータファイル	既定のデータフォルダーに保存されているファイルの一覧を表示します。 一覧表示されるデータファイルの並び順は、リストボックスの[▼]をクリックすると表示するリストから選択できます。 [詳細表示]ボタンをクリックすると、データファイルを選択した際に、ファイルの概要を一覧の下に表示します。
その他の既存のデータファイル	既定のデータフォルダー以外の場所に保存されているデータファイルを開く場合に、この項目を選択します。 ファイルを指定するには、[OK]ボタンをクリックし、ファイル選択のダイアログで指定します。
バックアップファイルから復元	バックアップファイルを復元して使用できる状態にします。
データフォルダー	既存のデータファイルが保存されているフォルダーの内容を表示します。
更新	データファイルリストの表示内容を更新します。
詳細表示	データファイルをクリックした時に、データファイルの場所やデータサイズ、作成日時、使用日時などの詳細な情報を表示します。



本製品の起動時には、自動的に前回使用したデータファイルが開きます。起動時に毎回データファイルを選択する場合は、「設定」画面の[その他の設定]内にある[起動時にデータファイルの選択画面を毎回表示する]にチェックを付けてください。(177 ページ参照)

2-6 データファイルのバックアップを行う

本製品に入力したデータは、非常に重要な情報です。データを安全に運用するためにも、データは定期的にバックアップを行い、コンピューターのトラブルなどに備えておくことが大切です。

本製品には、手動のバックアップ機能に加えて自動のバックアップ機能など、データを安全に守るための機能があります。データファイルのバックアップは、以下の手順で行います。

① [バックアップ]アイコンをクリック



データファイルのバックアップを行うには、メインメニューの「データ保守」タブ内にある「バックアップ」アイコンをクリックします。

[バックアップ]アイコンをクリック

② バックアップの開始



「バックアップの開始」画面を表示します。

[開始] ボタンをクリックします。

③ バックアップ先の指定



バックアップファイルの保存先を指定します。通常の設定では、バックアップファイルはデスクトップ上に作成されます。

[変更] ボタンをクリックすると、バックアップファイルの保存先を、任意のドライブまたはフォルダに変更します。

[戻す] ボタンをクリックすると、バックアップファイルの保存先をデスクトップに設定します。

指定後、[次へ] ボタンをクリックします。

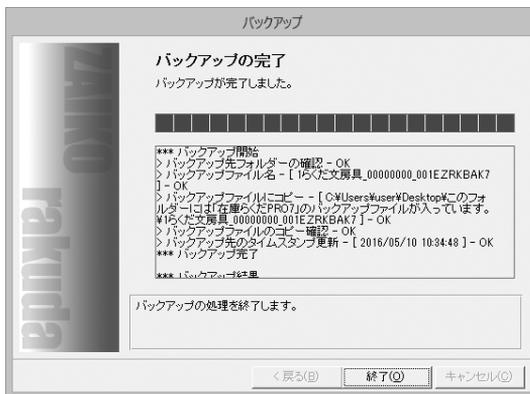
④ バックアップの実行



バックアップ前の確認を行います。画面中央に表示する内容を確認します。

問題がない場合は、[実行] ボタンをクリックします。設定内容を修正する場合は、[戻る] ボタンをクリックして設定する箇所に戻り、再設定を行います。

⑤ バックアップの完了



バックアップを実行します。

完了すると最後にバックアップの完了メッセージを表示します。



バックアップファイルの保存先が「(デスクトップ)」の場合は、デスクトップに「このフォルダには「在庫らくだ PRO7」のバックアップファイルが入っています。」という名前のフォルダが作成され、そのフォルダにバックアップファイルが保存されます。

バックアップファイルの保存先が「(デスクトップ)」以外の場合は、保存先にバックアップファイルが保存されます。

Memo

CD-R/RW や DVD-R などの、バックアップ機能では直接書き込めないメディアにバックアップファイルを保存する場合には、デスクトップ上のファイルを手動で書き込んでください。CD-R/RW や DVD-R などの書き込みに関しては、専用の書き込みソフトが必要です。専用ソフトによる書き込み方法などに関しては、各メーカーへお問い合わせください。

3章

基本的な操作

3-1	メインメニューの操作	42
3-2	集計表の表示と種類	45
3-3	画面の構成	49
3-4	メニューバーの操作	50
3-5	画面レイアウトの設定操作	51
3-6	検索機能の操作	54
3-7	入力補助機能	59
3-8	プログラムの更新操作	64
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する	192
8-2	索引	194

3-1 メインメニューの操作

本製品を起動すると、最初にメインメニューを表示します。
メインメニューからは、本製品で使用できる各種の機能呼び出せます。
※データファイルの設定によって、表示するメニューアイコンが異なります。

The screenshot shows the main menu of '在庫らくだプロ7.5' (Inventory Camel Pro 7.5). At the top right, it says 'らくだ文具' (Camel Stationery). Below the title bar are tabs: '日常処理' (Daily Processing), '集計表' (Summary Table), '特別処理' (Special Processing), '導入' (Introduction), 'データ保守' (Data Maintenance), and 'サポート' (Support). The '日常処理' tab is selected. The main area contains icons for: '在庫確認' (Inventory Check), '伝票一覧' (Invoice List), '入出庫帳' (In/Out Inventory), '棚卸' (Inventory Adjustment), '単価訂正' (Unit Price Correction), '設定' (Settings), '入庫' (Inbound), '出庫' (Outbound), '入出庫' (In/Out), '移動' (Transfer), and '発注計画' (Order Plan). A '終了' (End) button is located on the right side. At the bottom left, there is a 'BSLからのお知らせ' (BSL News) section with a list of FAQs. Callout boxes provide instructions: 1. '【タブ】' (Tab): Clicking a tab at the top switches the displayed icons. 2. '【アイコン】' (Icon): Clicking an icon calls up a function; the icon changes based on company settings. 3. '【終了】' (End): Clicking the '終了' button ends the product. 4. '【説明】' (Description): Moving the mouse cursor over a tab or icon displays a description of the function below it.

【タブ】
画面上部のタブをクリックすると、メインメニューに表示されるアイコンが切り替わります。

【アイコン】
アイコンをクリックすると、各種の機能呼び出します。
表示されるアイコンは自社の設定によって変わります。

【終了】
本製品を終了します。

【説明】
メインメニューの「タブ」や「アイコン」にマウスのカーソルを移動すると、機能の説明を表示します。マウスのカーソルが指している「タブ」や「アイコン」の下には下線を表示します。

BSLからのお知らせ
最新の情報を閲覧するはここをクリック。

NEW	6/06/16	【FAQ】過去の特定の日付時点での在庫数を確認するはこま?
NEW	6/06/16	【FAQ】導入時点での在庫数かのように入力しますか?
NEW	6/06/16	【FAQ】現在の在庫金額の合計(在庫高)を確認するはこま?
NEW	6/06/16	【FAQ】商品台帳・取引先台帳(仕入先台帳)を並べ替えるはこま?
NEW	6/06/16	【FAQ】数量・単価の小数点以下を使用するはこま?

◆ 操作画面の種類と構成

■ 日常処理タブ

メニュー	説明
在庫確認	「在庫確認」画面を表示します。商品ごとの在庫数を一覧で確認できます。各種伝票による入出庫、発注計画書の入力が行えます。また商品の動きについて分析が行えます。
伝票一覧	「伝票一覧」画面を表示します。作成した伝票を一覧で確認できます。各種伝票による入出庫、発注計画書の入力が行えます。
入出庫帳	「入出庫帳」画面を表示します。入出庫の履歴を一覧で確認できます。各種伝票による入出庫、発注計画書の入力が行えます。また商品ごとの分析が行えます。
棚卸	「棚卸」画面を表示します。商品の棚卸した際に、在庫数を入力します。バーコードリーダーやデータ取り込みによっても棚卸の入力が行えます。
単価訂正	金額管理が有効の場合に、「単価訂正」画面を表示します。商品の仕入単価に変更を一括で行えます。
入庫	「入庫伝票」画面を表示します。入庫伝票の入力ができます。
出庫	「出庫伝票」画面を表示します。出庫伝票の入力ができます。
入出庫	「入出庫伝票」画面を表示します。入出庫伝票の入力ができます。
移動	保管場所機能が有効の場合に、「移動伝票」画面を表示します。移動伝票の入力ができます。
発注計画	発注計画管理が有効の場合に、「発注計画」画面を表示します。発注数の入力、発注計画書の一覧表示および確認、入力、在庫待ちの商品の一覧を確認できます。
設定	「設定」画面を表示します。機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関する設定が行えます。

■ 集計表タブ

メニュー	説明
適正在庫分析	「適正在庫分析」画面を表示します。商品の在庫日数を集計します。
商品分類別在庫数	「商品分類別在庫数」商品分類別ごとの在庫数を集計します。
商品別相手先入出庫	相手先台帳が有効の場合に、「商品別相手先入出庫」画面を表示します。商品別に入出庫した数量を、相手先ごとに集計します。
商品別保管場所在庫数	保管場所機能が有効の場合に、「商品別保管場所在庫数」画面を表示します。商品別に保管場所ごとの在庫数を集計します。
出庫ランキング	「出庫ランキング」画面を表示します。商品の出庫数のランキングを集計します。
在庫推移表	「在庫推移表」画面を表示します。商品別に月ごとの入庫数、出庫数、月末在庫数を1年分集計します。
商品別区分入出庫	「商品別区分入出庫」画面を表示します。商品別に入庫、出庫、移動、廃棄などの区分ごとの入庫数・出庫数を集計します。
相手先別商品入出庫	相手先台帳が有効の場合に、「相手先別商品入出庫」画面を表示します。相手先別に入出庫した数量を、商品ごとに集計します。
保管場所別商品在庫数	保管場所機能が有効の場合に、「保管場所別商品在庫数」画面を表示します。保管場所別に商品の在庫を集計します。
設定	「設定」画面を表示します。機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関する設定が行えます。

■ 特別処理タブ

メニュー	説明
商品台帳	相手先台帳が有効の場合に、「商品台帳」画面を表示します。 在庫を管理する商品の登録が行えます。
相手先台帳	相手先台帳が有効の場合に、「相手先台帳」画面を表示します。 商品の出庫先、入庫先の登録が行えます。
保管場所台帳	保管場所機能が有効の場合に、「保管場所台帳」を表示します。 商品を保管する保管場所の登録が行えます。
タグ一覧	タグ機能が有効の場合に、「タグ一覧」画面を表示します。 商品ごとにタグ登録して、検索などに使用するタグの登録が行えます。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

■ 導入タブ(新規データ作成をした際に表示します)

メニュー	説明
初期在庫	「初期在庫」画面を表示します。 新規データ作成後に、初期在庫の入力をします。
インポート	「CSVインポート」画面を表示します。 新規データ作成後に、CSVファイルから各種台帳、入出庫帳のインポートができます。
設定	「設定」画面を表示します。 機能や印刷に関わる設定など、製品の動作に関係する設定が行えます。

※「導入」タブは、「設定」画面で非表示にできます。詳しくは、167ページの「自社設定」をご覧ください。

■ データ保守タブ

メニュー	説明
データ作成	新規データファイルの作成が行えます。
データを開く	現在作成中のデータを、すでに作成したデータに切り替えることができます。
バックアップ	現在作成中のデータのバックアップができます。
復元	バックアップしたデータを復元することができます。

■ サポートタブ

メニュー	説明
ユーザー登録	「ユーザー登録ウィザード」画面を表示します。 ユーザー登録は、オンライン経由での登録と、登録用紙を印刷してFAXや郵便で送付する方法を選択できます。
アップデート	製品を最新の状態にアップデートできます。 アップデートには、インターネット接続環境が必要です。
サポート情報	弊社ユーザーサポートウェブサイトを開きます。 FAQなどを検索して製品の使い方等を調べることができます。 ユーザーサポートウェブページへの接続には、インターネット接続環境が必要です。
問い合わせ	「サポート問い合わせウィザード」画面を表示します。 FAXやEメールによるお問い合わせを行うことができます。
オンライン購入	専用紙などを注文できる、弊社オンラインショップウェブサイトを開きます。 オンラインショップウェブサイトへの接続には、インターネット接続環境が必要です。
操作マニュアル	「操作マニュアル」(本書)のPDFファイルをダウンロードできます。 PDFファイルを開覧するには、Adobe Readerなどの専用ソフトが別途必要です。

3-2 集計表の表示と種類

商品の入出庫を集計して、在庫の動きを把握する集計表を作成します。

出庫ランキング、期間内入出庫、商品別相手先入出庫、相手先別商品入出庫を作成できます。

データファイルの設定で表示する集計表の種類が異なります。

◆ 集計表を表示する



集計表を表示するには、メインメニューの「集計表」タブ内にある各集計表のアイコンをクリックします。

[集計表]タブ内の
各集計表アイコンをクリック

■ 「集計表」画面を切り替える



メインメニューに戻らずに、現在表示している集計表画面から、別の集計表画面に切り替えられます。画面上に表示されている、各集計表のタブをクリックして切り替えます。

各集計表のタブを
クリック

■ 集計する条件を変更する



各集計表画面の左側では、集計期間を変更したり、集計する保管場所を選択したり、商品の指定ができます。

検索条件を表示していない場合は、操作ボタンの「レイアウト」にある「検索」ボタンをクリックすると、検索条件を表示します。

検索条件の詳細については、54ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

[検索]ボタンをクリック

■ 商品別保管場所在庫数

商品	保管場所	在庫数	単位	タグ
AB011 シャープペンシル	(商品部)	12	本	新年度、在庫計上済、文具セトル
	AB01 普通在庫倉庫	2	本	新年度、在庫計上済、文具セトル
AB012 万年筆	(商品部)	10	本	新年度、在庫計上済、文具セトル
	AB01 普通在庫倉庫	10	本	
AB013 ペンケース	(商品部)	10	本	新年度、文具セトル
	AB01 普通在庫倉庫	130	個	新年度、文具セトル
AB021 消しゴム	(商品部)	147	個	新年度、在庫計上済、文具セトル
	AB01 普通在庫倉庫	147	個	新年度、在庫計上済、文具セトル
AB011		178	セット	
表示合計		2212		

設定した日付で、商品が保管場所にどれだけの期間、在庫しているかを確認できます。

保管場所ごとの在庫数を確認して、保管場所間での商品の移動などを実施し、適切な在庫の管理を行います。

■ 出庫ランキング(ABC分析)

順位	商品	単位	出庫数	出庫率	出庫率順位	在庫回転率	タグ
1	AB011 シャープペンシル	本	468	16.8%	16.8%	1.0	新年度、在庫計上済、文具セトル
2	AB012 万年筆	本	303	10.7%	10.7%	2.0	新年度、在庫計上済、文具セトル
3	AB013 ペンケース	個	278	9.8%	9.8%	1.0	新年度
4	AB011 シャープペンシル	個	274	9.8%	9.8%	1.0	新年度
4	AB021 消しゴム	個	274	9.8%	9.8%	0.9	新年度、在庫計上済、文具セトル
6	AB013 ペンケース	個	178	6.4%	6.2%	1.9	新年度、文具セトル
7	AB011 シャープペンシル	個	135	4.8%	7.1%	1.1	
8	AB011 シャープペンシル	セット	125	4.5%	25.0%	0.9	
9	AB012 万年筆	個	97	3.5%	79.0%	1.0	新年度
10	AB021 消しゴム	セット	91	3.3%	62.0%	1.0	
11	AB012 万年筆	個	75	2.7%	64.0%	0.6	
表示合計			2792				

設定した期間で、商品の出庫数のランキングを集計します。

時期による出庫数変動や需要の増加を把握し、発注点の設定など、適正な在庫管理の計画に活用できます。

構成比から重要な商品を把握して在庫切れが無いように発注計画を立てたり、在庫回転率からどれくらいの頻度で発注したりするなどの状況の把握ができます。

在庫回転率は、以下の通り計算しています。

- 在庫回転率 = 二期間内出庫数 ÷ 平均在庫数
- ※ 平均在庫数 = (繰越在庫数 + 在庫数) ÷ 2

■ 在庫推移表

商品	単位	16年1月	16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月
AB011 シャープペンシル	本	0	303	600	300	0	145						
		-105	-291	-274	-440	-303	-103						
AB013 ペンケース	個	0	100	200	100	100	100						
		-29	-183	-181	-171	-179	-84						
AB021 消しゴム	個	0	300	300	0	0	200						
		-68	-276	-292	-274	-274	-210						
AB012 万年筆	本	0	600	600	300	300	300						
		-43	-240	-277	-243	-276	-190						
AB011 シャープペンシル	個	0	400	400	400	400	400						
		-91	-313	-313	-456	-410	-100						
AB013 ペンケース	個	0	400	400	200	0	200						
		-27	-203	-203	-201	-274	-190						
AB012 万年筆	個	0	274	301	400	417	143						
表示合計			619			979							

設定した年で月ごとに、商品別の入庫数、出庫数、月末在庫数を集計して在庫の推移を確認できます。

商品の需要期の確認などに使用します。

■ 商品別区分入出庫

商品	区分	単位	入庫数	出庫数	タグ
44011	出庫	本	0	318	特種車、自庫特注車、文具セット
44012	出庫	本	0	54	
44013	入庫	個	105	0	特種車、文具セット
44014	出庫	個	0	119	特種車、文具セット
44021	出庫	個	0	216	特種車、自庫特注車、文具セット
44011	出庫	セット	0	125	
44011	出庫	セット	0	43	
44021	出庫	セット	0	27	
44022	入庫	個	59	0	特種車
44023	出庫	個	0	59	特種車
44023	出庫	本	0	55	特種車
集計			249件	入庫合計: 950	出庫合計: 2,799

設定した期間で、商品別に入庫、出庫、移動、廃棄などの区分ごとの入庫数と出庫数を集計します。区分ごと確認することで在庫数の増減の原因を確認できます。

■ 相手先別商品入出庫

相手先	商品	単位	入庫数	出庫数	タグ			
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1021	7612	個	0	19	特種車	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1021	0	21	セット	0	21	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1012	0	23	個	0	23	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1011	0	35	個	0	35	特種車
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1012	0	36	本	0	36	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1012	0	36	セット	0	36	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1011	0	36	個	0	36	
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1022	0	39	個	0	39	特種車
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1022	0	83	文具セット	0	83	文具セット
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1012	0	114	個	0	114	特種車
001	イトーヨーカ堂八王子店	F1021	0	115	個	0	115	特種車、特注車
集計			1,471件	高時特	1,471件	入庫合計: 0	出庫合計: 1,025	

設定した期間で、相手先別に商品ごとの入庫数または出庫数を確認できます。どの相手先によく出ている商品なのか確認したり、どの相手先からよく仕入れているかを確認したりできます。

■ 保管場所別商品在庫数

保管場所	商品	在庫数	単位	タグ
44011	シネマペンシル	12	本	特種車、自庫特注車、文具セット
44012	万年筆	10	本	
44013	ペンケース	129	個	特種車、文具セット
44014	腕時計	147	個	特種車、自庫特注車、文具セット
44011	筆記用文具セット	174	セット	
44011	シスターセット	321	セット	
44021	文具セット	82	セット	
44022	筆記用文具セット	129	個	特種車
44023	万年筆	51	本	特種車
44023	腕時計	116	個	
44023	筆記用文具セット	116	個	
集計		441件	高時特	2,212

設定した日付で、保管場所別に商品の在庫を集計します。保管場所ごとにどの商品がどれくらい在庫しているかを確認できます。保管場所の選択は検索条件で設定します。集計したい保管場所を検索条件の「保管場所」から選択してください。

3-3 画面の構成

本製品の各画面には、入力作業に役立つさまざまな機能があります。ほとんどの操作は画面上のボタンで行えます。画面例は「在庫確認」画面で説明しています。操作する画面によって、表示するタブや検索の項目などの内容は異なります。

【メニューバー】
在庫管理に便利な、さまざまな機能呼び出します。
メニューバーの操作については、50 ページの「メニューバーの操作」をご覧ください。

【メニュー】
メインメニューに戻らずに機能を切り替えます。

商品	ロット	単位	在庫数	入荷待ち	発注点	仕入単価	在庫金額	タグ
A1011 シェーブペンシル	(指定なし)	本	571	-	-	78	44,538	
A1012 万年筆	(指定なし)	本	199	-	-	387	77,013	
A1018 ペンケース	(指定なし)	個	258	-	-	214	55,212	
A1021 消しゴム	(指定なし)	個	658	-	-	77	50,666	
A2011 蛍光ペン5色セット	(指定なし)	セット	275	-	-	192	52,800	
B1011 レターセット	(指定なし)	セット	196	-	-	177	34,692	
B1021 香煙セット	(指定なし)	セット	102	-	-	2,278	232,356	
B1022 半紙50枚セット	(指定なし)	個	184	-	-	477	87,768	
B1023 墨汁	(指定なし)	本	141	-	-	387	54,567	
F1011 M45インジダー	(指定なし)	冊	276	-	-	725	200,100	
F1012 M57インジダー	(指定なし)	冊	275	-	-	725	198,375	
F1021 アルバム	(指定なし)	冊	63	-	-	1,405	88,515	
K1011 懸針機	(指定なし)	個	49	-	-	18,500	906,500	
K1012								

【一覧画面】

商品ごとの在庫一覧や、入庫伝票、出庫伝票の一覧、入出庫の履歴などを表示します。表示する内容は機能によって異なります。

【操作ボタン】

入出庫の伝票作成や発注伝票の作成、画面レイアウトの設定など、さまざまな操作を行うためのボタンがあります。

【検索】(表示するには一覧画面下の[検索]ボタンをクリック)

検索条件を設定して、一覧画面に表示しする商品や伝票などを絞り込みます。絞り込むことによって、表示する情報を整理し、商品や伝票を見つけやすくなります。

検索については、54 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

3-4 メニューバーの操作

本製品の画面上部には、メニューバーがあります。メニューバーから、さまざまな便利な機能呼び出せます。メニューバーから機能呼び出す基本的な方法は、どの画面でも同じになります。



メニューバーは、各操作画面の左上にあります。



メニューバーから機能呼び出すには、はじめに「ファイル」・「ヘルプ」など表示しているタブをクリックします。



タブをクリックすると、グループ内に含まれる機能の項目を表示します。機能の項目をクリックすると、その機能呼び出します。



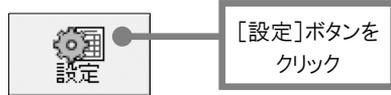
操作する画面によって、メニューバーに表示するタブや機能の項目の内容は異なります。

3-5 画面レイアウトの設定操作

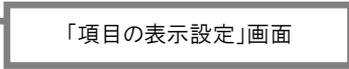
本製品は、画面ごとに表示する列幅や項目の表示/非表示など、画面のレイアウトを変更して表示できます。以下の部分では、「在庫確認」画面を例にレイアウトの設定を説明します。



レイアウトの設定を行うには、操作ボタンの「レイアウト」にある、[設定] ボタンをクリックします。



「項目の表示設定」画面を表示します。



レイアウトの設定を行う項目の、[編集する項目] 欄をクリックし、表示するリストから選択します。

※ [編集する項目] 欄で表示するリストは、画面によって異なります。



項目のレイアウトを、各ボタン等で設定します。

設定を保存するには、[OK] ボタンをクリックします。設定を初期状態に戻すには、[初期状態に戻す] ボタンをクリックします。

■ 項目の表示/非表示を変更する



項目の表示/非表示を変更するには、「画面に表示するか」の選択で設定します。

「表示する」または
「表示しない」を選択

表示している項目を表示しないようにするには、「表示しない」を選択します。
表示していない項目を表示するには、「表示する」を選択します。

■ 項目の列幅を調整する



項目の列幅を調整するには、「幅を調整する」の各ボタンで調整します。

クリックして列幅を変更

列幅を狭めるには、[] ボタンをクリックします。クリックすると段階的に列幅が狭まります。
列幅を広げるには、[] ボタンをクリックします。クリックすると段階的に列幅が広がります。

■ 項目が表示する列を移動する



項目の順番を変更するには、「項目順を入れ替える」で設定します。「項目順を入れ替える」の各ボタンをクリックすると、[編集する項目] 欄で選択している項目が、移動します。

クリックして項目を移動

選択した項目を左に移動するには、[] ボタンをクリックします。
選択した項目を右に移動するには、[] ボタンをクリックします。

■ 変更したレイアウトを保存する／保存したレイアウトを読み込む

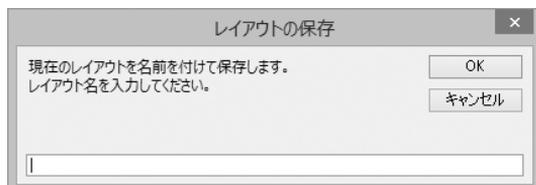
変更したレイアウトは保存できます。

保存したレイアウトを読み込むことによって、複数のレイアウトを切り替えることができます。例えば、伝票入力画面で、表示用のレイアウトと印刷用のレイアウトを切り替えて表示することができます。



変更したレイアウトを保存するには、[レイアウト保存] ボタンをクリックします。

[レイアウト保存] ボタンをクリック



「レイアウトの保存」画面で、レイアウト名を入力します。
入力後、[OK] ボタンをクリックして保存します。
レイアウト名は分かりやすい名称をお勧めします。



保存したレイアウトに変更するには、[レイアウト読込] ボタンをクリックします。

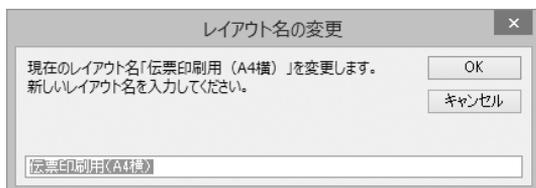
[レイアウト読込]ボタンをクリック



「レイアウトの読込」画面で、レイアウトを変更するレイアウト名の [読込] ボタンをクリックします。

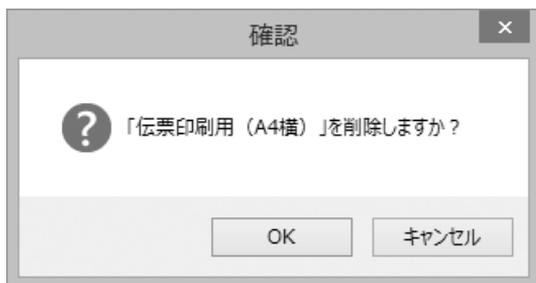
保存したレイアウト名の変更や削除をするには、「レイアウトの読込」画面で、名称を変更するレイアウトをクリックして選択します。

※本製品に最初から登録されている標準の印刷用のレイアウトは、削除または変更はできません。



レイアウト名を変更するには、選択後、[名称変更] ボタンをクリックします。

「レイアウト名の変更」画面で、変更するレイアウト名を入力します。入力後、[OK] ボタンをクリックします。



保存したレイアウトを削除するには、選択後、[削除] ボタンをクリックします。

「確認」画面で、[OK] ボタンをクリックします。

■ 表示される文字の大きさを変更する



一覧画面に表示する商品名、単位などの文字の大きさを変更できます。文字サイズを変更するには、操作ボタンの「レイアウト」で変更します。

クリックして文字サイズを変更

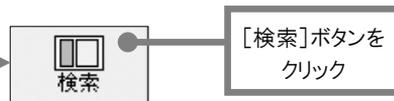
文字サイズを大きくするには、[A+] ボタンをクリックします。
文字サイズを小さくするには、[A-] ボタンをクリックします。

3-6 検索機能の操作

検索条件を設定して、一覧画面に表示する商品や伝票などを絞り込みます。絞り込むことによって、表示している情報を整理し、商品や伝票、入出庫の履歴などを見つけやすくします。

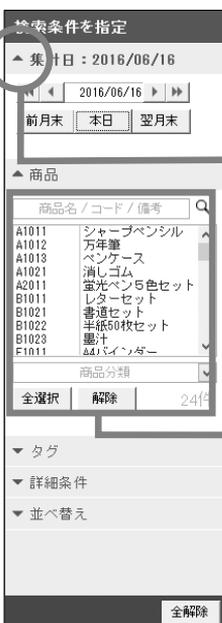


検索機能を使用するには、操作ボタンの「レイアウト」にある、[検索] ボタンをクリックします。クリックすると、画面に検索条件を表示します。検索条件を非表示にするには、もう一度、[検索] ボタンをクリックします。



画面左に、[検索条件を指定] 欄を表示します。検索条件は、現在表示している画面によって変わります。

検索条件を指定する欄



[検索条件を指定] 欄では、集計日、保管場所や商品などの検索条件を指定します。

クリックすると検索条件の詳細を表示します

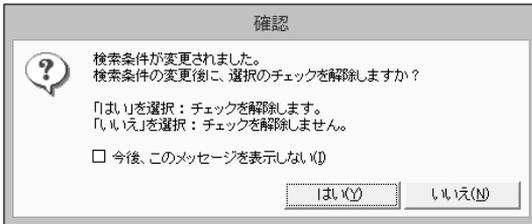
各項目の[▼] ボタンをクリックすると、検索条件ごとの詳細を表示します。

[▲] ボタンをクリックすると、詳細の表示を非表示にします。検索条件を設定した項目は、項目名を太字で表示します。

検索条件を設定します

検索条件を設定すると、一覧画面の情報を検索条件に合わせて変更します。

[全解除] ボタンをクリックすると、設定した検索条件をすべて解除します。



商品をチェックした状態で検索条件を変更すると、検索条件の解除を確認する画面を表示します。検索条件を解除する場合は、[はい] ボタンをクリックして、商品のチェックを解除します。解除せずに保持する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

「今後、このメッセージを表示しない」にチェックを付けると、確認画面を表示しません。再度、表示するには、「設定」画面の「全般設定」で設定します。詳しくは、174 ページをご覧ください。

◆ 検索条件を設定する

■ 集計日

指定した日付に該当する明細などを、一覧画面に表示します。

項目	説明
	<p>日付を直接入力するか、左右のボタンをクリックして指定します。</p> <p>[◀]ボタン、[▶]ボタンをクリックすると、1 日ずつ増減します。</p> <p>[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタンをクリックすると、1 月ずつ増減します。</p> <p>[前月末]ボタンをクリックすると、前月以前の末日で 1 月ごとに戻します。</p> <p>[本日]ボタンをクリックすると、本日の日付を指定します。</p> <p>[翌月末]ボタンをクリックすると、翌月以降の末日を 1 月ごとに進みます。</p>

■ 集計期間

指定した期間に該当する明細などを、一覧画面に表示します。

項目	説明
	<p>期間の指定は、日付を直接入力するか、左右のボタンをクリックして指定します。</p> <p>[◀]ボタン、[▶]ボタンをクリックすると、1 日ずつ増減します。</p> <p>[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタンをクリックすると、1 月ずつ増減します。</p> <p>[前月]ボタンをクリックすると、前月の期間を指定します。</p> <p>[今年]ボタンをクリックすると、今年の期間を指定します。</p> <p>[翌月]ボタンをクリックすると、翌月の期間を指定します。</p> <p>[前年]ボタンをクリックすると、前年の期間を指定します。</p> <p>[今年]ボタンをクリックすると、今年の期間を指定します。</p> <p>[翌年]ボタンをクリックすると、翌年の期間を指定します。</p> <p>[消去]ボタンをクリックすると、現在指定されている期間を消去します。</p>

■ 保管場所(保管場所台帳を有効にしている場合に表示します)

指定した保管場所に該当する明細などを、一覧画面に表示します。保管場所台帳を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
	<p>保管場所の指定は、表示する一覧から、保管場所をクリックして指定します。</p> <p>上部の空欄に保管場所名、保管場所コード、備考を入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索し、表示します。</p> <p>複数を選択する場合は、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら選択すると複数選択できます。</p> <p>[全選択]ボタンをクリックすると、すべての保管場所を選択し、指定します。</p> <p>[解除]ボタンをクリックすると、選択している保管場所の選択を解除します。</p> <p>[☆](お気に入り)ボタンをクリックすると、お気に入り設定している保管場所のみを選択し、指定します。お気に入りについては 158 ページの「保管場所台帳の管理」をご覧ください。</p>

■ 商品

指定した商品に該当する明細などを、一覧画面に表示します。

項目	説明
	<p>商品の指定は、表示している一覧から、商品をクリックして指定します。 上部の空欄に商品名、商品コード、備考を入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索は可能です。 [全選択]ボタンをクリックすると、すべての商品を選択し、指定します。 [解除]ボタンをクリックすると、選択している商品の選択を解除します。</p>

■ ロット(ロット管理を有効にしている場合に表示します)

指定したロットに該当する明細などを、一覧画面に表示します。ロット管理を有効にするには、167ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
	<p>ロット番号の指定は、表示している一覧から、ロット番号をクリックして指定します。「(指定なし)」を選択すると、ロット番号を設定していない商品を選択します。 上部の空欄にロット番号を入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索し、表示します。 複数を選択する場合は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら選択すると複数選択できます。 [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのロット番号を選択し、指定します。 [解除]ボタンをクリックすると、選択しているロット番号の選択を解除します。</p>

■ タグ(タグ機能を有効にしている場合に表示します)

指定したタグに該当する明細などを、一覧画面に表示します。タグ機能を有効にするには、167ページの「自社設定」をご覧ください。タグの使い方については、120ページの「タグの便利な使い方」をご覧ください。

項目	説明
	<p>タグの指定は、表示している一覧から、タグをクリックして指定します。 上部の空欄にタグを入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索し、表示します。 複数を選択する場合は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら選択すると複数選択できます。 タグの後にある数値は、タグを設定した商品の合計数です。 [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのタグを選択し、指定します。 [解除]ボタンをクリックすると、選択しているタグの選択を解除します。</p>

■ 相手先(相手先台帳を有効にしている場合に表示します)

指定した相手先に該当する明細などを、一覧画面に表示します。相手先台帳を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
	<p>相手先の指定は、表示している一覧から、相手先をクリックして指定します。</p> <p>上部の空欄に相手先名、相手先コード、備考を入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索し、表示します。</p> <p>複数を選択する場合は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら選択すると複数選択できます。</p> <p>「仕入先のみ表示する」をクリックすると、相手先台帳で「仕入先」にチェックをしている相手先のみ表示します。</p> <p>「出庫先のみ表示する」をクリックすると、相手先台帳で「出庫先」にチェックをしている相手先のみ表示します。</p> <p>[全選択]ボタンをクリックすると、すべての相手先を選択し、指定します。</p> <p>[解除]ボタンをクリックすると、選択している相手先の選択を解除します。</p> <p>表示する相手先の条件をクリックして選択します。</p>

■ 発注先・標準発注先(相手先台帳と発注計画管理を有効にしている場合に表示します)

発注先(標準発注先)は、相手先台帳で「仕入先」に設定した相手先を表示します。相手先台帳を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
	<p>「商品台帳」画面で表示します。</p> <p>発注先(標準発注先)の指定は、表示している一覧から、発注先をクリックして指定します。</p> <p>上部の空欄に発注先名、発注先コード、備考を入力して検索し、表示します。入力した文字列が一部分でも検索し、表示します。</p> <p>複数を選択する場合は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら選択すると複数選択できます。</p> <p>[全選択]ボタンをクリックすると、すべての相手先を選択し、指定します。</p> <p>[解除]ボタンをクリックすると、選択している相手先の選択を解除します。</p>

■ 在庫日数の集計期間(発注計画管理を有効にしている場合に表示します)

指定した期間での商品の在庫日数を集計します。発注計画管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
	<p>「発注計画」画面で表示します。</p> <p>期間の指定は、日付を直接入力するか、左右のボタンをクリックして指定します。</p> <p>[◀]ボタン、[▶]ボタンをクリックすると、1日ずつ増減します。</p> <p>[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタンをクリックすると、1月ずつ増減します。</p> <p>[前月]ボタンをクリックすると、前月の期間を指定します。</p> <p>[今月]ボタンをクリックすると、今月の期間を指定します。</p> <p>[翌月]ボタンをクリックすると、翌月の期間を指定します。</p> <p>[前年]ボタンをクリックすると、前年の期間を指定します。</p> <p>[今年]ボタンをクリックすると、今年の期間を指定します。</p> <p>[翌年]ボタンをクリックすると、翌年の期間を指定します。</p> <p>[消去]ボタンをクリックすると、現在指定されている期間を消去します。</p>

■ 詳細条件

詳細な検索条件を設定して、一覧画面に表示します。

項目	説明
<p>▲ 詳細条件</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 在庫が無いものも表示</p> <p><input type="checkbox"/> 取扱を中止したものも表示</p> <p><input type="checkbox"/> 発注点以下のみ表示</p> <p><input type="checkbox"/> 入庫待ちを在庫数とみなす</p> <p><input type="checkbox"/> 入出庫履歴が存在する商品のみ表示</p> <p><input type="checkbox"/> マイナス在庫のみ表示</p> <p><input type="checkbox"/> 棚卸対象のみ表示</p> <p>※「在庫確認」画面の例です。</p>	<p>詳細条件に表示する条件は、各画面によって異なります。</p> <p>例えば、「在庫確認」画面の場合、「在庫が無いものも表示」にチェックをつけると、現在、在庫が無い商品も含めて一覧画面に表示します。</p> <p>また、「伝票一覧」画面では伝票の種類によって表示する伝票を設定できます。</p>

■ 並べ替え

画面に表示される明細などを、指定した並び順にしたがって並べ替えます。

項目	説明
<p>▲ 並べ替え</p> <p>商品台帳表示順 ▼ <input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順</p>	<p>並べ替えるには[▼]ボタンをクリックし、表示するリストから並べ替える順番を選択します。</p> <p>並べ替える条件は、商品名順、日付順、在庫数順、台帳表示順など複数あり、各画面で異なります。</p>

■ 商品計表示(ロット管理を有効にしている場合に表示します)

指定した商品計表示の条件にしたがって、合計数の表示を切り替えます。ロット管理を有効にするには、167ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
<p>▲ 商品計表示：しない</p> <p><input type="radio"/> 商品計を表示する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 商品計を表示しない</p> <p><input type="radio"/> 商品計のみ表示する</p>	<p>商品計の表示方法をクリックして選択します。</p> <p>「商品計を表示する」にチェックを付けると、各商品の在庫数に加え、合計数も表示します。ロット管理を使用している場合は、全てのロットを合計した数を表示します。</p> <p>「商品計を表示しない」にチェックを付けると、合計数は表示しません。</p> <p>「商品計のみ表示する」にチェックを付けると、合計数のみ表示し、在庫数は表示しません。</p>

◆ 検索条件の設定例

■ 商品コードで検索する

▲ 商品

A10| 🔍

A1011	シャープペンシル
A1012	万年筆
A1013	ペンケース
A1021	消しゴム

商品分類 ▼

全選択 解除 4件

例えば、商品コードが「A10」で始まる商品を検索する場合、[検索条件を指定]欄の「商品コード」にある入力欄に「A10」を入力します。

「A10」を入力

商品コードが「A10」で始まる商品のみ表示します。

コード以外も検索条件欄で「備考」の内容を検索が行える場合、備考欄の内容で検索できます。

3-7 入力補助機能

本製品には、事前に台帳を作成せずに、伝票を入力しながら台帳を作成する「随時マスタ登録」や、電卓機能、簡易カレンダー機能など入力を補助する機能があります。

◆ 随時マスタ登録

随時マスタ登録とは、新しい保管場所や、商品台帳に未登録の商品や、相手先台帳に未登録の入庫先や出庫先を伝票などを直接入力した場合、登録画面を表示し、台帳に都度登録できる機能です。

■ 新しい相手先を登録する

商品	出庫数	単位	備考

各「伝票」画面や「入出庫帳」画面などで、仕入先または出庫先に直接入力して登録します。(画面は出庫伝票の場合です)

[出庫先] 欄に新しい相手先名を入力します。

新しい相手先名を入力

キーボードの [Enter] キーを押すと、新規登録の確認画面を表示します。

登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
入力した会社名が消去され、登録はしません。

相手先コード

フリガナ

相手先名 イトーヨーキ堂新宿三丁目店

担当者

郵便番号

住所1

住所2

電話番号

FAX番号

相手先種別 仕入先 出庫先

取引中止

備考

上記の内容で相手先を作成・変更します。

OK(O) キャンセル(C)

「相手先の編集」画面を表示します。
必要な情報を入力後、[OK] ボタンをクリックして登録します。

入力後、[OK]ボタンをクリック

■ 新しい保管場所を登録する

入庫伝票

伝票番号: S04-180807-1 | 日付: 2016/08/07 | 仕入先: S04 | ユウヒペン

保管場所	商品	ロット	入庫数	単位	仕入単価	仕入金額	備考
特別品							

伝票備考

保管場所台帳を有効にしている場合は、「入庫伝票」画面や「出庫伝票」画面などで、新しい保管場所を直接入力して登録します。(画面は入庫伝票の場合です)

[保管場所] 欄に新しい保管場所名を入力します。

新しい保管場所名を入力

確認

新しい保管場所名「特別品」が入力されました。
保管場所名を登録しますか？

「いいえ」を選択すると入力した保管場所名がクリアされます。

はい(Y) | いいえ(N)

キーボードの [Enter] キーを押すと、新規登録の確認画面を表示します。

登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
入力した保管場所名が消去され、登録はしません。

保管場所の編集

保管場所コード

フリガナ

保管場所名: 特別品

☆

備考

保管場所コードを入力します。

OK(O) | キャンセル(Q)

「保管場所の編集」画面を表示します。
必要な情報を入力後、[OK] ボタンをクリックして登録します。

入力後、[OK]ボタンをクリック

■ 新しい商品を登録する

入庫伝票

伝票番号: S04-180818-0 | 日付: 2016/08/18 | 仕入先: S04 | ユウヒペン

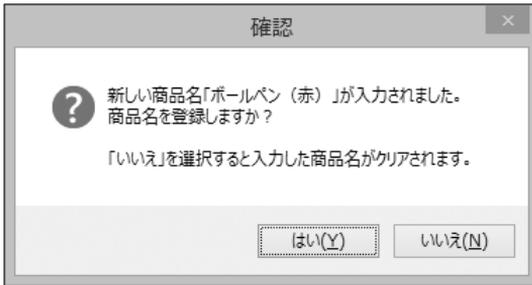
商品	入庫数	単位	仕入単価	仕入金額	備考
ボールペン (B)					

伝票備考

「入庫伝票」画面や「出庫伝票」画面などで、新しい商品を直接入力して登録します。(画面は入庫伝票の場合です)

[商品] 欄に新しい商品名を入力します。

新しい商品名を入力



キーボードの [Enter] キーを押すと、新規登録の確認画面を表示します。

登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
入力した商品名が消去され、登録はしません。



「商品の編集」画面を表示します。
必要な情報を入力後、[OK] ボタンをクリックして登録します。

Memo

「在庫確認」画面や「入庫伝票」画面、「出庫伝票」画面などで、相手先名や保管場所名、商品名をダブルクリックすると、編集できる場合は編集画面を表示します。
直接、台帳に登録した内容を編集できます。簡単な修正や変更をするのに便利です。

◆ 商品の検索を行う

各種伝票などで商品名を入力する際に、登録した商品を検索することができます。



商品を検索するには、各「伝票」画面や「入出庫帳」画面で、[商品] 欄をダブルクリックします。



「商品検索」画面を表示します。

「商品検索」画面では、商品分類、登録したタグ、商品コードや商品名で検索できます。

検索した商品を一覧で表示します。

一覧から商品を選択して、[選択] ボタンをクリックすると、伝票などに選択した商品を入力します。

検索方法の切り替えは、タブをクリックして切り替えます。

検索方法	説明	
商品分類で検索	商品台帳の商品分類を基準に、商品を検索します。 商品分類を選択すると、条件に一致した商品を表示します。 ロット管理を有効にしている場合は、さらにロット番号で候補を絞り込むことができます。一覧から商品を選択すると、ロット番号を表示します。	
タグで検索	タグ機能を有効にしている場合は、タグで検索ができます。 商品台帳で登録したタグで、商品を検索します。 一覧からタグを選択すると、選択したタグに登録している商品を表示します。	
詳細検索	商品台帳の商品コード、商品名、備考欄の内容で検索します。一部の文字でも検索できます。 商品コードと商品名は、検索方法を前方一致、部分一致、後方一致、完全一致から選択できます。 検索結果を、取扱中の商品、棚卸対象になっている商品だけ表示することもできます。	
	で始まる	検索語句で始まる、商品名・商品コードを検索します。(前方一致)
	を含む	検索語句を含む、商品名・商品コードを検索します。(部分一致)
	で終わる	検索語句で終わる、商品名・商品コードを検索します。(後方一致)
	と一致	検索語句と一致した、商品名・商品コードを検索します。(完全一致)

◆ 電卓を使用する

本製品には、金額などを入力する際に便利な電卓機能があります。金額や数値を入力する欄で使用できます。

■ 電卓の起動

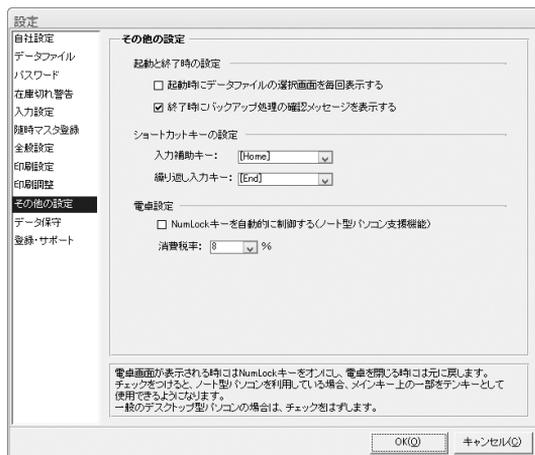


[金額入力] 欄にカーソルがある状態で「入力補助キー」(通常は [Home] キー) を押すか、ダブルクリックすると、電卓を表示します。

計算した結果を入力できます。(キーボードの数字を押しても [金額] 欄に数字が入力されない場合は、キーボードの [NumLock] キーを押してから再度入力してください)

[税率] ボタンには、現在設定している電卓の税率を表示します。税率を変更するには、[税率] ボタンをクリックし、変更画面で税率を選択します。

■ 電卓の設定変更



電卓の設定を変更するには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックします。

「設定」画面を表示します。

[その他の設定] 内に、[ショートカットキーの設定]と[電卓設定]があります。入力補助キーの設定とNumLock キーや消費税率の設定ができます。

入力補助キーの変更

[入力補助キー] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストの中から使用するキーを選択します。

消費税率の変更

[税率] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストの中から税率を選択します。

◆ 簡易カレンダーを使用する

本製品には、日付を入力する際に便利な簡易カレンダー機能があります。一覧や各種集計表の検索条件で日付を指定する場合などに使用できます。

■ 簡易カレンダーの起動



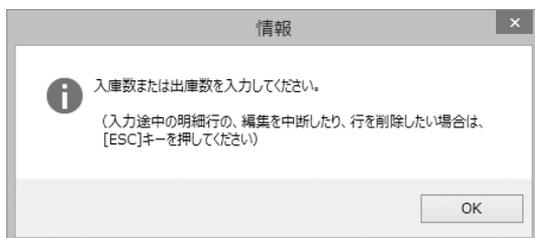
日付を入力する欄にカーソルを移動し、[入力補助キー]を押すと、簡易カレンダーを表示します。

※ [入力補助キー] は [Home] キーに設定されています。(「設定」画面で変更できます)

日付をマウスで指定するか、カーソル移動キーや [PageUp] [PageDown] キーで日付を選択します。

[日付を書き込む] ボタンをクリックします。選択した日付を入力します。

◆ 明細行の入力を途中で取り消す



入在庫帳などで明細行の入力中に、別の明細行をクリックするなどして、別の行に移動しようとするメッセージを表示します。その場合は、キーボードの [ESC] キーを押します。[ESC] キーを押すと、それまで明細行に入力した内容を消去します。

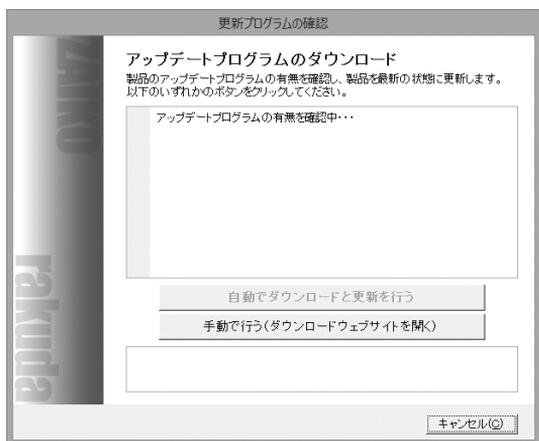
3-8 プログラムの更新操作

本製品は、プログラムを更新することによって、新たな機能や強化した機能を使用できます。



プログラムの更新は、メインメニューの [サポート] タブ内にある [アップデート] アイコンをクリックします。

[アップデート]アイコンをクリック



[アップデート] アイコンをクリックすると、自動的に本製品の更新プログラムの有無を確認します。更新プログラムが存在する場合は、自動的にプログラムのダウンロードと更新作業ができます。

■ 製品の状態について

本製品の状態は、画面中央に表示する色と案内で確認ができます。

色	案内の内容	対応方法
グリーン	製品は最新の状態に更新されています。	本製品のプログラムは最新の状態です。特別な操作は必要ありません。
オレンジ	以下のアップデートプログラムが見つかりました。	本製品を新しいプログラムへ更新できます。更新プログラムを利用するには、[自動でダウンロードと更新を行う(推奨)]ボタンをクリックします。更新プログラムのダウンロードと更新作業が自動的に行います。

Memo

[手動で行う(ダウンロードウェブサイトを開く)]をクリックすると、本製品のダウンロードサイトを表示し、手動で更新プログラムをダウンロードできます。また、これまで公開されてきた更新プログラムの一覧や更新内容などを確認できます。



使用しているブラウザやセキュリティソフトによっては、[アップデート]アイコンからの更新ができない場合があります。その場合は、本製品を終了し、直接 BSL ウェブサイト(<http://www.bsl-jp.com>)のダウンロードページから更新プログラムをダウンロードし、実行してください。

4章

在庫管理を行う

4-1	在庫数の確認を行う	66
4-2	商品の入庫を入力する	68
4-3	商品の出庫を入力する	74
4-4	商品の入庫と出庫をまとめて入力する	79
4-5	保管場所間での商品の移動を入力する	84
4-6	商品の廃棄を入力する	89
4-7	商品の棚卸を行う	94
4-8	バーコードリーダーを使用して棚卸を行う	99
4-9	仕入単価を訂正する	103
4-10	入出庫帳画面で入出庫情報を入力する	105
4-11	伝票一覧画面の操作	111
4-12	商品の在庫状況の確認と分析を行う	117
4-13	発注計画書を作成する	126
4-14	印刷の操作	139
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する	192
8-2	索引	194

4-1 在庫数の確認を行う

在庫数の確認は、「在庫確認」画面で行います。また、「在庫確認」画面で入出庫の入力や発注計画書の作成、商品ごとの分析が行えます。



「在庫確認」画面を表示するには、[日常処理] タブ内にある [在庫確認] アイコンをクリックします。

[在庫確認] アイコンをクリック



「在庫確認」画面を表示します。

「在庫確認」画面で、商品の在庫数の確認や操作ボタンの「アクション」にある各ボタンで、各種伝票（入庫伝票、出庫伝票、入出庫伝票、廃棄伝票、移動伝票）の作成、発注計画の作成、商品ごとの分析が行えます。

◆ 「在庫確認」画面の構成

商品の明細行は、ひとつの商品の情報を表示します。表示する情報には、商品名、在庫数、発注点などの情報があります。

商品	単位	在庫数	入庫待ち	発注点	仕入単価	在庫金額	タグ
A1011 シャープペンシル	本	90	50	100	78	7,020	新年度、在庫数注意、文具セール

項目	説明
商品	商品台帳に登録されている商品コードと商品名を表示します。
ロット	ロット管理を有効にしている場合に表示します。ロット管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。 商品台帳に登録したロット番号を表示します。ロット番号が指定していない場合は「(指定なし)」のみ表示します。
単位	商品台帳に登録されている単位を表示します。
在庫数	現在の在庫数を表示します。商品台帳で発注点を登録している場合、在庫数が発注点以下になると赤字で表示します。
発注点	発注計画機能を有効にしている場合に表示します。発注計画機能を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。 商品台帳に登録されている発注点を表示します。

項目	説明
仕入単価	金額管理を有効にしている場合に表示します。金額管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。 商品台帳に登録されている仕入単価を表示します。ロット管理を有効にしている場合は、ロットごとに表示します。 在庫金額を算出するために使用します。
在庫金額	金額管理を有効にしている場合に表示します。金額管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。在庫している商品の仕入金額の総合計を表示します。 ロット管理を有効にしている場合は、ロットごとの仕入単価をもとに計算します。
タグ	タグ機能を有効にしている場合に表示します。タグ機能を有効にする場合は、167 ページの「自社設定」をご覧ください。 商品に登録されているタグを表示します。タグは複数の商品に一括で設定できます。タグの使い方については、120 ページの「タグの便利な使い方」をご覧ください。

■ 商品を選択する

「在庫確認」画面では、複数の商品を選択できます。選択した商品で入庫伝票・出庫伝票の作成などが行えます。



商品を選択するには、「在庫確認」画面の「選択」欄をクリックします。

「選択」欄をクリックするとチェックが付きます。複数の商品の「選択」欄をクリックすると、複数の選択ができます。



「選択」欄の口をクリックして
チェック

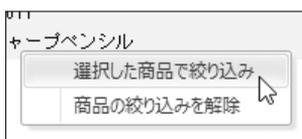


「在庫確認」画面の「選択」欄の最上段にある、「▼」ボタンをクリックするとリストを表示します。一覧のすべてにチェックをつけたり、選択を解除したり、ロット管理を有効にしている場合は、小計行のみの選択などができます。検索機能と組み合わせて使用すると便利です。

項目	説明
すべて選択	一覧に表示しているすべての明細行を選択します。
選択解除	選択している明細行を解除します。
小計行	明細の小計行(商品の「商品計」行)のみを選択します。
小計行以外	明細の小計行(商品の「商品計」行)以外を選択します。

■ 選択した商品のみ表示する

商品の「選択」欄にチェックを付けた場合、チェックを付けた商品のみ表示できます。



チェックを付けた商品のみ表示するには、画面内を右クリックし、表示するメニューから「選択した商品で絞り込み」をクリックします。
すべての商品を表示するには、「在庫確認」画面を右クリックし、表示するメニューから「商品の絞り込みを解除」をクリックします。

4-2 商品の入庫を入力する

商品が納品された場合など、保管場所へ入庫があった際の入力を行います。



「在庫確認」画面で、入庫する商品を選択します。検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。検索機能については 54 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

入庫する商品の
[選択]欄をクリック

Memo

入庫の入力は、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[入庫]アイコンからでも行えます。[入庫]アイコンから入庫の入力を行う場合は、未記入の新規伝票を表示します。



操作ボタンの「アクション」にある [入庫] ボタンをクリックします。

[入庫]ボタンをクリック



「入庫伝票」画面を表示します。

「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。

※商品を選択せずに [入庫] ボタンをクリックすると、何も入力していない入庫伝票を表示します。

Memo

台帳に登録のない商品などを簡単に随時登録できます。台帳に登録していない新規商品や新規相手先(仕入先)などは、直接、入力欄に入力することで、簡単に台帳へ登録ができます。商品・相手先の登録については、59 ページの「随時マスタ登録」をご覧ください。

入庫伝票		
伝票番号 S04-160616-1	日付 2016/06/16	仕入先

〔伝票番号〕欄に伝票番号を入力します。
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

〔伝票番号〕欄に
伝票番号を入力

入庫伝票		
伝票番号 S04-160616-1	日付 2016/06/16	仕入先

〔日付〕欄に入庫する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

〔日付〕欄に入庫する
日付を入力

入庫伝票		
伝票番号 S04-160616-1	日付 2016/06/16	仕入先
入庫数	単位	仕入単価
	個	
	個	
	セット	

仕入先を選択します。

仕入先を選択するには、〔仕入先〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

保管場所	商品
A001	A1011
保管場所コード	保管場所名
A001	通常在庫棚
X000	不良品・返品棚
	ベンケース

保管場所台帳を有効にしている場合は、入庫する保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、〔保管場所〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※〔保管場所〕欄の上段に保管場所コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する保管場所を選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

ロット	入庫数	単位	仕入単
		本	
151215			
ロット番号 (指定なし)	商品名		
141215	シャープペンシル		
151215	シャープペンシル		

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を入力します。

すでに登録しているロット番号を選択するには、〔ロット〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

ロット番号がない商品は、「(指定なし)」を選択します。

※〔ロット〕欄にロット番号を直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

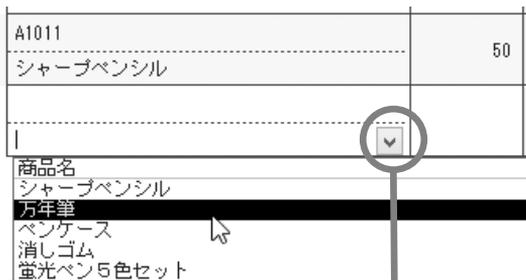
入庫数	単位	仕入単価	仕入金額
100	本	78	
	個		

〔入庫数〕欄に入庫数を入力します。

金額管理を有効にしている場合は、〔仕入単価〕欄に仕入単価を入力します。



〔備考〕欄に備考を入力します。
商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます。



伝票に追加する商品がある場合は、新規行で〔商品〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択して追加します。追加した商品の入庫数なども入力します。

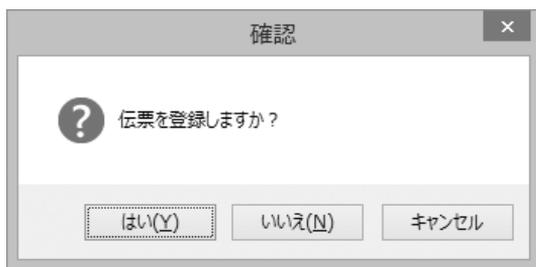
※〔商品〕欄の上段に商品コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する商品を選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択



入庫する商品の入力後、操作ボタンの〔閉じる〕ボタンをクリックします。

〔閉じる〕ボタンをクリック



「確認」画面を表示します。
 伝票を登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
 伝票を登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
 入力中の伝票を削除します。
 [キャンセル] ボタンをクリックすると、「入庫伝票」画面に戻ります。

登録した入庫伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

Memo

「在庫確認」画面以外でも、入庫伝票を作成できます。
 各画面の操作パネルにある[入庫]ボタンをクリックすると、「入庫伝票」画面を表示します。伝票の入力方法は、[日常処理]タブの[入庫]アイコンから「入庫伝票」画面を表示した場合と同様の手順です。

Memo

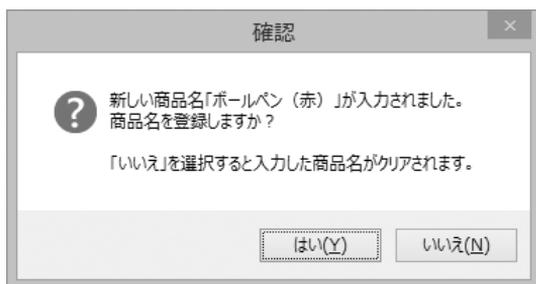
入庫伝票を使用せずに入庫の入力をするには
 入出庫帳機能を使用すると、入庫伝票を使用せずに入庫の入力ができます。複数の仕入先からの入庫を連続して入力する際などに便利です。入出庫帳については、79 ページの「商品の入庫と出庫をまとめて入力する」をご覧ください。

◆ 新しい商品などを入力する(随時マスタ登録を行う)

新しい商品(保管場所・ロット番号)は、台帳に登録が無い場合でも、明細に直接入力ができます。さらに入力した情報は、随時マスタ登録により台帳に登録できます。随時マスタ登録の詳細については、59 ページの「入力補助機能」をご覧ください。



例えば、新しい商品を入力するには、伝票の [商品] 欄に、新しい商品の商品名を入力します。



「確認」画面を表示します。
 登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
 登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
 その場合は、入力した商品名は消去されます。

商品の編集

商品 タグ

商品コード

商品名

商品分類名

単位

標準発注先

JANコード

リードタイム 日

取戻中止日 発注量

欄外対象 発注点

備考

上記の内容で商品を作成/変更します。

タグ編集 OK キャンセル

「商品の編集」画面を表示するので、商品に関する詳細な情報を入力します。「商品台帳」画面の詳細については、148 ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

◆ 在庫明細の編集機能を利用する

在庫伝票

伝票番号 S04-160818-1 日付 2016/08/18 仕入先 S04 ヌウビベン

商品	入庫数	単位	仕入単価	仕入金額	備考
A1010 ペンケース	100	個	78	7,800	
A1021 演習ゴム	50	個	50	2,500	
A2011 蛍光ペリ色セット	20	セット	120	2,550	
A1011 シャープペンシル	50	本	88	4,400	
A1012 万年筆	10	本	812	8,120	

伝票 16/08/18発注分

伝票番号

新規行 行挿入 行複製 行入替 行削除 印刷 閉じる

「在庫伝票」画面の下部にある操作ボタンを使用して、明細行の編集ができます。各操作ボタンをクリックして操作します。

明細行の編集機能

操作ボタン	説明
	新規行を作成します。 クリックすると、明細の最終行にカーソルが移動します。
	明細行を挿入します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行とその一つ上の明細行の間に、新規行を挿入します。
	明細行を複製します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行の下に、明細行を複製します。
	明細行を入れ替えます。 [△]ボタンをクリックすると、現在カーソルがある明細行の上の明細行と入れ替えます。 [▽]ボタンをクリックすると、現在カーソルがある明細行の下の明細行と入れ替えます。
	明細行を削除します。 クリックすると、現在カーソルがある明細行を削除する「確認」画面を表示します。 削除する場合は、[OK]ボタンをクリックします。 削除しない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

◆ 入庫伝票を一覧で確認する



「入庫伝票」画面で、入庫伝票を一覧表示するには、[一覧] ボタンをクリックします。

[一覧]ボタンを
クリック



作成した入庫伝票を一覧で確認ができます。

[入庫伝票一覧] 欄に表示された入庫伝票をクリックすると、入庫伝票の内容を表示します。

入庫伝票一覧の [新規作成] をクリックすると、新規に入庫伝票を作成します。

[新規作成]をクリック

作成した入庫伝票を複製するには、複製する入庫伝票をクリックして選択し、[伝票複製] ボタンをクリックします。

[伝票複製]ボタンをクリック

不要な入庫伝票を削除するには、削除する入庫伝票をクリックして選択し、[伝票削除] ボタンをクリックします。

[伝票削除]ボタンをクリック

◆ 入庫伝票を印刷する



入庫伝票を印刷するには、操作ボタンの [印刷] ボタンをクリックします。

印刷操作については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

[印刷]ボタンをクリック

4-3 商品の出庫を入力する

商品を納品した場合など、保管場所から出庫があった際の入力を行います。



「在庫確認」画面で、出庫する商品を選択します。検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。検索機能については 54 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

出庫する商品の
[選択] 欄をクリック

Memo

出庫の入力は、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[出庫]アイコンからでも行えます。[出庫]アイコンから出庫の入力を行う場合は、未記入の新規伝票を表示します。



操作ボタンの「アクション」にある [出庫] ボタンをクリックします。

[出庫] ボタンをクリック



「出庫伝票」画面を表示します。

「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。

※商品を選択せずに [出庫] ボタンをクリックすると、何も入力していない出庫伝票を表示します。

Memo

台帳に登録のない商品などを簡単に随時登録できます。台帳に登録していない新規商品や新規相手先(出庫先)などは、直接、入力欄に入力することで、簡単に台帳へ登録ができます。商品・相手先の登録については、59 ページの「随時マスタ登録」をご覧ください。

出庫伝票		
伝票番号 001-180816-2	日付 2016/08/16	出庫先

〔伝票番号〕欄に伝票番号を入力します。
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

〔伝票番号〕欄に
伝票番号を入力

出庫伝票		
伝票番号 001-180816-2	日付 2016/08/16	出庫先

〔日付〕欄に出庫する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

〔日付〕欄に入庫する
日付を入力

出庫伝票		
伝票番号 001-180816-2	日付 2016/08/16	出庫先
出庫数	単位	相手先名
	本	地球堂東京本店
	個	バラダイス商会
		三ツ葉商会
		ユウビペン
		よくた事務機
		イトヨリ書道八王子店
		越後屋川崎店
		越後屋銀座店

出庫先を選択します。

出庫先を選択するには、〔出庫先〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

保管場所	商品
A001	A1011
保管場所コード	保管場所名
A001	通常在庫棚
X000	不良品・返品棚
	ペンケース

保管場所台帳機能を有効にしている場合は、出庫する保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、〔保管場所〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

ロット	出庫数	単位
151215		本
ロット番号 (指定なし)	商品名	
141215	シャープペンシル	
151215	シャープペンシル	
(指定なし)		個

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を選択します。

ロット番号を選択するには、〔ロット〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

ロット番号がない商品は、「(指定なし)」を選択します。

※〔ロット〕欄にロット番号を直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

商品	出庫数	単位	備考
A1012 万年筆	15	本	
A1021 消しゴム		個	

〔出庫数〕欄に出庫数を入力します。



〔備考〕欄に備考を入力します。
商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます。

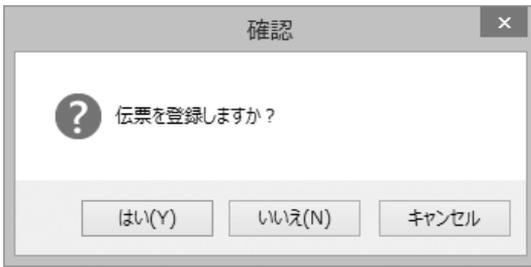


伝票に追加する商品がある場合は、新規行で〔商品〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択して追加します。追加した商品の出庫数なども入力します。

※〔商品〕欄の上段に商品コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する商品を選択します。



出庫する商品の入力後、操作ボタンの「閉じる」ボタンをクリックします。



「確認」画面を表示します。
 伝票を登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
 伝票を登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
 入力中の伝票を削除します。
 [キャンセル] ボタンをクリックすると、「出庫伝票」画面に戻ります。

登録した出庫伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

Memo

「在庫確認」画面以外でも、出庫伝票を作成できます。
 各画面の操作パネルにある[出庫]ボタンをクリックすると、「出庫伝票」画面を表示します。伝票の入力方法は、[日常処理]タブの[出庫]アイコンから「出庫伝票」画面を表示した場合と同様の手順です。

Memo

出庫伝票を使用せずに出庫の入力をするには
 入出庫帳機能を使用すると、出庫伝票を使用せずに出庫の入力ができます。複数の相手先への出庫する場合などに便利です。入出庫帳については、79 ページの「商品の入庫と出庫をまとめて入力する」をご覧ください。

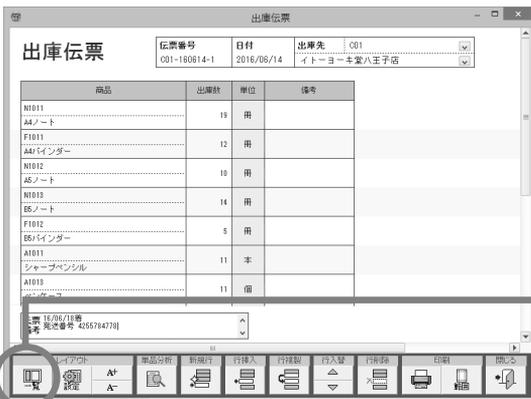
◆ 出庫明細の編集機能を利用する



「出庫伝票」画面にある操作ボタンの編集機能を使用すると、明細行の操作ができます。
 編集機能の詳細については、72 ページの「入庫明細の編集機能を利用する」をご覧ください。

明細行の編集機能

◆ 出庫伝票を一覧で確認する



「出庫伝票」画面で、出庫伝票を一覧表示するには、[一覧] ボタンをクリックします。

[一覧]ボタンをクリック



作成した出庫伝票を一覧で確認ができます。

「出庫伝票一覧」欄に表示された出庫伝票をクリックすると、出庫伝票の内容を表示します。

出庫伝票一覧の「新規作成」をクリックすると、新規に出庫伝票を作成します。

[新規作成]をクリック

作成した出庫伝票を複製するには、複製する出庫伝票をクリックして選択し、「伝票複製」ボタンをクリックします。

[伝票複製]ボタンをクリック

不要な出庫伝票を削除するには、削除する出庫伝票をクリックして選択し、「伝票削除」ボタンをクリックします。

[伝票削除]ボタンをクリック

◆ 出庫伝票を印刷する



出庫伝票を印刷するには、「印刷」にある「印刷」ボタンをクリックします。

印刷操作については、139ページの「印刷の操作」をご覧ください。

[印刷]ボタンをクリック

4-4 商品の入庫と出庫をまとめて入力する

同じ相手先から同一日に入庫と出庫があるなど、1件の伝票で入出庫を入力します。



「在庫確認」画面で商品を選択します。
検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。検索機能については54ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

入出庫する商品の
[選択]欄をクリック

Memo

入出庫管理は、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[入出庫]アイコンからでも行えます。[入出庫]アイコンから出庫管理を行う場合は、何も入力していない出庫伝票を表示します。



[入出庫] ボタンをクリックします。

[入出庫]ボタンをクリック



「出入庫伝票」画面を表示します。

「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。

※商品を選択せずに [入出庫] ボタンをクリックすると、何も入力していない入庫伝票を表示します。

伝票番号	日付	相手先
804-180816-4	2016/06/16	

〔伝票番号〕欄に伝票番号を入力します。
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

〔伝票番号〕欄に
伝票番号を入力

伝票番号	日付	相手先
804-180816-4	2016/06/16	

〔日付〕欄に入出庫する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

〔日付〕欄に
入出庫する日付を入力

伝票番号	日付	相手先
804-180816-4	2016/06/16	

相手先名	
地球堂東京本店	
パラダイス商会	
三ツ葉商会	
ちくた事務機	
イトヨーキ堂八王子店	
越後屋川崎店	
越後屋銀座店	
かるかる事務機	
かるかる堂渋谷店	
かるかる堂自由が丘店	
かるかる堂横浜店	
かるかる堂四谷店	

相手先台帳を有効にしている場合は、相手先を選択します。

相手先を選択するには、〔相手先〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

Memo

台帳に登録のない商品などを簡単に随時登録できます。

台帳に登録していない新規商品や新規相手先などは、直接、入力欄に入力することで、簡単に台帳へ登録ができます。商品・相手先の登録については、59 ページの「随時マスタ登録」をご覧ください。

保管場所	商品
	A1011
▼	シャープペンシル
保管場所名	
通常在庫欄	
不良品・返品欄	
	A1021
	消しゴム

保管場所台帳を有効にしている場合は、入出庫する保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、〔保管場所〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※〔保管場所〕欄の上段に保管場所コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する保管場所が選択されます。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

ロット	単位	入庫数	出庫数
151215	▼	本	
ロット番号 (指定なし)	商品名		
141215	シャープペンシル		
151215	シャープペンシル		
(指定なし)	個		

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を入力します。

すでに登録しているロット番号を選択するには、ロット番号を選択するには、[ロット] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

ロット番号がない商品は、「(指定なし)」を選択します。

※ [ロット] 欄にロット番号を直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

単位	入庫数	出庫数	仕入単価	仕
本	30			
個				

[入庫数] 欄または [出庫数] 欄に、数量を入力します。
※入庫数と出庫数は同じ行に入力できません。1つの商品で入庫数と出庫数を入力するには、行を複製してから入力してください。

入庫数	出庫数	仕入単価	仕入金額
30		78	

金額管理を有効にしている場合は、[仕入単価] 欄に仕入単価を入力します。

※仕入単価は入庫の場合のみ、入力できます。

[備考] 欄に備考を入力します。
商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます。

備考を入力

伝票に追加する商品がある場合は、新規行で [商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択して追加します。追加した商品の入庫数なども入力します。

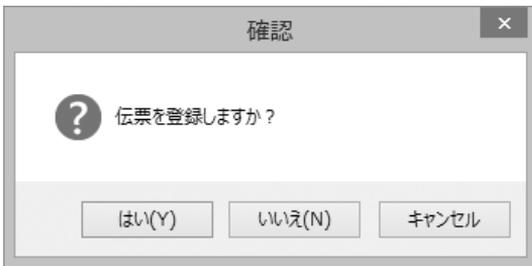
※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択



入出庫する商品の入力後、操作ボタンの「閉じる」ボタンをクリックします。

「閉じる」ボタンをクリック



「確認」画面を表示します。

伝票を登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。伝票を登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。入力中の伝票を削除します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、「出入庫伝票」画面に戻ります。

登録した出入庫伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

Memo

「在庫確認」画面以外でも、出入庫伝票を作成できます。

各画面の操作パネルにある[出庫]ボタンをクリックすると、「出入庫伝票」画面を表示します。伝票の入力方法は、[日常処理]タブの[出入庫]アイコンから「出入庫伝票」画面を表示した場合と同様の手順です。

Memo

出入庫伝票を使用せずに出入庫の管理するには

出入庫帳機能を使用すると、出入庫伝票を使用せずに入庫・出庫の登録ができます。連続して登録する際などに便利です。出入庫帳については、79 ページの「商品の入庫と出庫をまとめて登録する」をご覧ください。

◆ 出入庫明細の編集機能を利用する



「出入庫伝票」画面にある操作ボタンの編集機能を使用すると、明細行の操作ができます。

編集機能の詳細については、72 ページの「在庫明細の編集機能を利用する」をご覧ください。

明細行の編集機能

◆ 入出庫伝票を一覧で確認する



「入出庫伝票」画面で、入出庫伝票を一覧表示するには、
「一覧」ボタンをクリックします。

「一覧」ボタンを
クリック



作成した入出庫伝票を一覧で確認ができます。

「入出庫伝票一覧」欄に表示された入出庫伝票をクリック
すると、入出庫伝票の内容を表示します。

入出庫伝票一覧の「新規作成」をクリックすると、新規
に入出庫伝票を作成します。

「新規作成」をクリック

作成した入出庫伝票を複製するには、複製する入出庫伝
票をクリックして選択し、「伝票複製」ボタンをクリック
します。

「伝票複製」ボタンをクリック

不要な入出庫伝票を削除するには、削除する入出庫伝票
をクリックして選択し、「伝票削除」ボタンをクリックし
ます。

「伝票削除」ボタンをクリック

◆ 入出庫伝票を印刷する



入出庫伝票を印刷するには、「印刷」にある「印刷」ボタ
ンをクリックします。

印刷操作については、139ページの「印刷の操作」をご
覧ください。

「印刷」ボタンをクリック

4-5 保管場所間での商品の移動を入力する

商品の保管場所の変更など、保管場所間での移動があった際の入力を行います。例えば、破損した商品を別の保管場所に移動する場合や、相手先から受注した予約品を別の保管場所に取り置く場合などに使用します。保管場所間での移動の入力をするには、保管場所台帳を有効にします。保管場所台帳を有効にするには 167 ページの「自社設定」をご覧ください。



「在庫確認」画面で、移動する商品を選択します。検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。検索機能については 54 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

移動する商品の
[選択]欄をクリック

Memo

移動の入力は、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[移動]アイコンからでも行えます。[移動]アイコンから移動の入力を行う場合は、未記入の新規伝票を表示します。



操作ボタンの「アクション」にある [その他] ボタンをクリックします。

[その他]ボタンをクリック



[移動] ボタンをクリックします。

[移動]ボタンをクリック



「移動伝票」画面を表示します。

「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。



〔伝票番号〕欄に伝票番号を入力します。
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

〔伝票番号〕欄に
伝票番号を入力

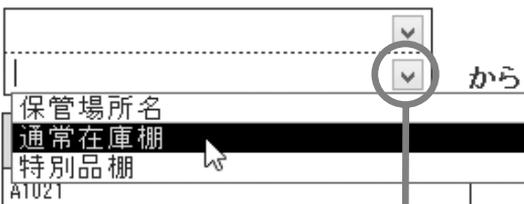


〔日付〕欄に移動する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

〔日付〕欄に
移動する日付を入力

移動元 保管場所



移動元の保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、〔移動元保管場所〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※〔保管場所〕欄の上段に保管場所コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する保管場所を選択します。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

Memo

台帳に登録のない商品などを簡単に随時登録できます。

台帳に登録していない新規商品や新規相手先などは、直接、入力欄に入力することで、簡単に台帳へ登録ができます。商品・相手先の登録については、59 ページの「随時マスタ登録」をご覧ください。



相手先から受注した予約品などを扱う場合は、保管場所を別にして在庫管理してください。通常在庫と同じ管理にすると、実在庫数を正確に集計しません。

移動先 保管場所

移動先 保管場所

保管場所名
通常在庫棚

特別品棚

個

へ移動

移動先の保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、[移動先保管場所] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※ [保管場所] 欄の上段に保管場所コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する保管場所を選択します。

ロット	数量	単位
151215		本
ロット番号 (指定なし)	商品名 シャープペンシル	
141215	シャープペンシル	
151215	シャープペンシル	
(指定なし)		個

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を選択します。

ロット番号を選択するには、[ロット] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

ロット番号がない商品は、「(指定なし)」を選択します。

※ [ロット] 欄にロット番号を直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

商品	数量	単位
A1021 消しゴム	200	個
A1011 シャープペンシル	150	本

[数量] 欄に移動する数量を入力します。

商品名

シャープペンシル

万年筆

ペンケース

消しゴム

蛍光ペン5色セット

レターセット

書道セット

半紙50枚セット

へ移動

伝票に追加する商品がある場合は、新規行で [商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択して追加します。追加した商品の数量なども入力します。

※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

移動伝票

伝票番号
W01-160616

日付
2016/06/16

移動元 保管場所
A001
通常在庫棚

移動先 保管場所
S001
特別品

商品	数量	単位	備考	移動元在庫数	移動先在庫数
A1021 消しゴム	200	個		235	200
A1011 シャープペンシル	150	本		405	150
A1019 ペンケース	100	個		165	100

備考

備考を入力

[備考] 欄に備考を入力します。

商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます。

備考を入力

移動する商品の入力後、操作ボタンの「閉じる」ボタンをクリックします。

[閉じる]ボタンをクリック

「確認」画面を表示します。
伝票を登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
伝票を登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
入力中の伝票を削除します。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、「移動伝票」画面に戻ります。

登録した移動伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。



移動伝票には、同一の商品(ロット管理が有効の場合は同一のロット番号)を、複数入力することはできません。

Memo

「在庫確認」画面以外でも、移動伝票を作成できます。
各画面の操作パネルにある[移動]ボタンをクリックすると、「移動伝票」画面を表示します。伝票の入力方法は、[日常処理]タブの[移動]アイコンから「移動伝票」画面を表示した場合と同様の手順です。

◆ 移動明細の編集機能を利用する

「移動伝票」画面にある操作ボタンの編集機能を使用すると、明細行の操作ができます。
編集機能の詳細については、72 ページの「入庫明細の編集機能を利用する」をご覧ください。
※「移動伝票」画面では「行複製」ボタンを表示しません。

明細行の編集機能

◆ 移動伝票を一覧で確認する



「移動伝票」画面で、移動伝票を一覧表示するには、[一覧] ボタンをクリックします。

[一覧]ボタンを
クリック



作成した移動伝票を一覧で確認ができます。

[移動伝票一覧] 欄に表示された移動伝票をクリックすると、移動伝票の内容を表示します。

移動伝票一覧の [新規作成] をクリックすると、新規に出庫伝票を作成します。

[新規作成]をクリック

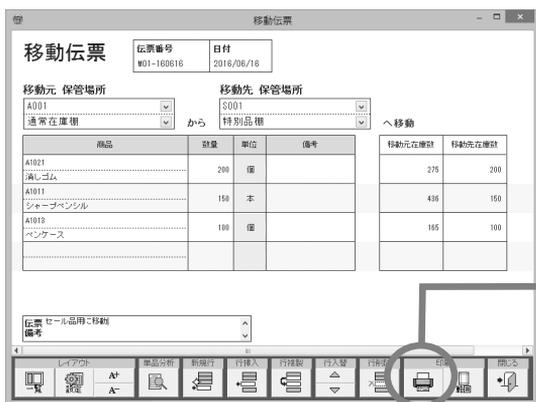
作成した移動伝票を複製するには、複製する移動伝票をクリックして選択し、[伝票複製] ボタンをクリックします。

[伝票複製]ボタンをクリック

不要な移動伝票を削除するには、削除する移動伝票をクリックして選択し、[伝票削除] ボタンをクリックします。

[伝票削除]ボタンをクリック

◆ 移動伝票を印刷する



移動伝票を印刷するには、「印刷」にある [印刷] ボタンをクリックします。

印刷操作については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

[印刷]ボタンをクリック

4-6 商品の廃棄を入力する

期限切れ商品を廃棄するなど商品の廃棄を入力する際は、廃棄伝票を使用して入力します。



「在庫確認」画面で廃棄する商品を選択します。検索機能を使用すると、条件にあった商品のみ表示できます。検索機能については 54 ページの「検索機能の操作」をご覧ください。

廃棄する商品の
[選択] 欄をクリック



操作ボタンの「アクション」にある [その他] ボタンをクリックします。

[その他] ボタンをクリック



[廃棄] ボタンをクリックします。

[廃棄] ボタンをクリック



「廃棄」画面を表示します。

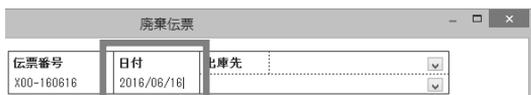
「在庫確認」画面で選択した商品が、自動的に入力されます。

※商品を選択せずに「廃棄」ボタンをクリックすると、何も入力していない廃棄伝票を表示します。



〔伝票番号〕欄に伝票番号を入力します。
伝票番号が未入力でも、伝票は作成できます。

〔伝票番号〕欄に
伝票番号を入力



〔日付〕欄に廃棄する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

〔日付〕欄に
廃棄する日付を入力



相手先台帳を有効にしている場合は、出庫先を選択します。

出庫先を選択するには、〔出庫先〕欄の〔▼〕ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※〔出庫先〕欄の上段に相手先コードを直接入力し、〔Enter〕キーを押すと、該当する相手先が選択されます。

〔▼〕ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

Memo

台帳に登録のない商品などを簡単に随時登録できます。

台帳に登録していない新規商品や新規相手先などは、直接、入力欄に入力することで、簡単に台帳へ登録ができます。商品・相手先の登録については、59 ページの「随時マスタ登録」をご覧ください。

Memo

出庫先が空欄でも廃棄伝票は作成できます。

商品を出庫先に返品せずそのまま廃棄する場合などは、出庫先を空欄の状態で作票を入力します。

保管場所	商品
	A1011
	シャープペンシル
保管場所名	
通常在庫欄	
不良品・返品欄	
	A1021
	消しゴム

保管場所台帳を有効にしている場合は、出庫する商品がある保管場所を選択します。

保管場所を選択するには、[保管場所] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※ [保管場所] 欄の上段に保管場所コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する保管場所が選択されます。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

ロット	出庫数	単位	備
151215		本	
ロット番号	商品名		
(指定なし)	シャープペンシル		
141215	シャープペンシル		
151215	シャープペンシル		
(指定なし)		個	

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を選択します。

ロット番号を選択するには、[ロット] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

ロット番号がない商品は、「(指定なし)」を選択します。

※ [ロット] 欄にロット番号を直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

商品	出庫数	単位	備
A1012			
万年筆	10	本	
A1021			
消しゴム		個	

[出庫数] 欄に廃棄する商品の数量を入力します。

[備考] 欄に備考を入力します。
商品ごとの備考と伝票全体の備考が入力できます。

備考を入力

A2011	1
蛍光ペン5色セット	

商品名
シャープペンシル
万年筆
ペンケース
消しゴム
蛍光ペン5色セット
レターセット
書道セット
半紙50枚セット
墨汁

伝票に追加する商品がある場合は、新規行で [商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択して追加します。追加した商品の出庫数なども入力します。

※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

廃棄伝票

伝票番号: X00-160816 日付: 2016/06/16 出庫先: 604

商品	出庫数	単位	備考
A1812 万年筆	10	本	
A1921 消しゴム	5	個	
A2011 蛍光ペン5色セット	1	セット	
A1813 ペンケース	5	個	

伝票 商品検索
備考

操作ボタン: 削除, 新規行, 行挿入, 行移動, 行入替, 行削除, 伝票, 閉じる

廃棄する商品の入力後、操作ボタンの [閉じる] ボタンをクリックします。

[閉じる]ボタンをクリック

確認

? 伝票を登録しますか?

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

「確認」画面を表示します。
伝票を登録する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
伝票を登録しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。入力中の伝票を削除します。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、「廃棄伝票」画面に戻ります。

登録した廃棄伝票は、「伝票一覧」画面で確認できます。

◆ 廃棄明細の編集機能を利用する

廃棄伝票

伝票番号: X00-160816 日付: 2016/06/16 出庫先: 604

商品	出庫数	単位	備考
A1812 万年筆	10	本	
A1921 消しゴム	5	個	
A2011 蛍光ペン5色セット	1	セット	
A1813 ペンケース	5	個	

伝票 商品検索
備考

操作ボタン: 削除, 新規行, 行挿入, 行移動, 行入替, 行削除, 伝票, 閉じる

「廃棄伝票」画面にある操作ボタンの編集機能を使用すると、明細行の操作ができます。
編集機能の詳細については、72 ページの「入庫明細の編集機能を利用する」をご覧ください。

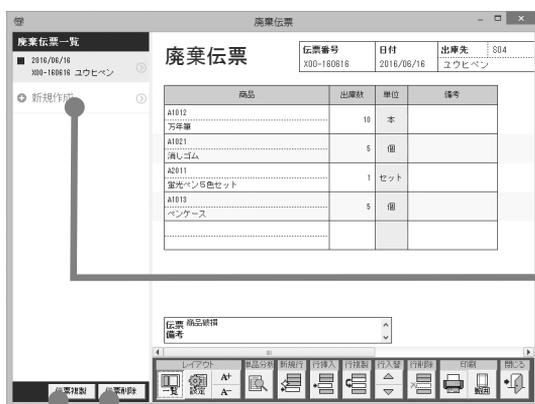
明細行の編集機能

◆ 廃棄伝票を一覧で確認する



「廃棄伝票」画面で、廃棄伝票を一覧表示するには、[一覧] ボタンをクリックします。

[一覧]ボタンを
クリック



作成した廃棄伝票を一覧で確認ができます。

[廃棄伝票一覧] 欄に表示された廃棄伝票をクリックすると、廃棄伝票の内容を表示します。

廃棄伝票一覧の [新規作成] をクリックすると、新規に廃棄伝票を作成します。

[新規作成]をクリック

作成した廃棄伝票を複製するには、複製する廃棄伝票をクリックして選択し、[伝票複製] ボタンをクリックします。

[伝票複製]ボタンをクリック

不要な廃棄伝票を削除するには、削除する廃棄伝票をクリックして選択し、[伝票削除] ボタンをクリックします。

[伝票削除]ボタンをクリック

◆ 廃棄伝票を印刷する



廃棄伝票を印刷するには、操作ボタンの [印刷] ボタンをクリックします。

印刷操作については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

[印刷]ボタンをクリック

4-7 商品の棚卸を行う

棚卸を行うことで、商品の実在庫数と本製品の在庫数を確認し、一致させることができます。



棚卸を行うには、[日常処理] タブ内にある [棚卸] アイコンをクリックします。

[棚卸]アイコンをクリック



「棚卸」画面を表示します。
[棚卸日付] 欄に棚卸を実施する日付を入力します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

棚卸を実施する日付を入力



「棚卸」画面に表示した商品の一覧を印刷します。印刷した一覧（棚卸カウントリスト）をもとに、保管場所にある商品の在庫数を記入します。ロット管理している商品は、ロットごとに在庫数を記入します。

棚卸カウントリストを印刷するには、[印刷] ボタンをクリックします。

[印刷]ボタンをクリック



「印刷内容の選択」画面を表示するので、棚卸カウントリストを選択します。
 棚卸カウントリストを選択して、[印刷] ボタンをクリックします。
 印刷手順の詳細については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

棚卸カウントリストの種類を選択

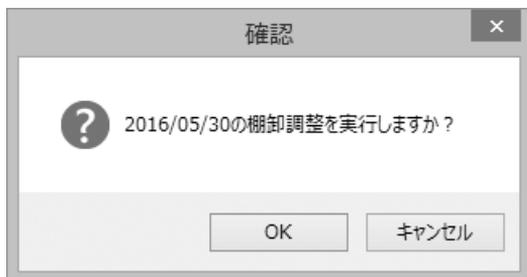
■ 棚卸カウントリストの印刷設定

項目	説明
棚卸(現在の画面)	現在の画面に表示している一覧を普通紙に印刷します。
棚卸カウントリスト (商品分類別)	棚卸カウントリストを商品分類別にまとめ、A4 普通紙に印刷します。 商品ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (商品分類別)(A4 横)	棚卸カウントリストを商品分類別にまとめ、A4 普通紙に横向きに印刷します。 商品ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (保管場所別)	棚卸カウントリストを取引先台帳の並び順で、A4 普通紙に印刷します。 保管場所ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (保管場所別)(A4 横)	棚卸カウントリストを取引先台帳の並び順で、A4 普通紙に横向きに印刷します。 保管場所ごとにまとめた形で表示します。
棚卸カウントリスト (商品台帳順)	棚卸カウントリストを商品台帳の並び順で、A4 普通紙に印刷します。
棚卸カウントリスト (商品台帳順)(A4 横)	棚卸カウントリストを商品台帳の並び順で、A4 普通紙に横向きに印刷します。



在庫数を記録した棚卸カウントリストをもとに、実際の在庫数を [実在庫数] 欄に入力します。保管場所台帳を有効にしている場合は、保管場所ごとに入力します。
 在庫数を入力すると、実際の在庫数と本製品に入力した在庫数との差分を [過不足数] 欄に表示します。
 在庫数に差異が無い場合、[実在庫数] 欄は空欄でも構いません。
 棚卸に関する覚書などの参考情報は、[棚卸備考] 欄に入力します。

入力後、操作ボタンの [棚卸実行] ボタンをクリックします。



「確認」画面を表示します。
 棚卸を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。
 棚卸を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「棚卸」画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックすると、「棚卸調整は正常に終了しました」とメッセージを表示します。

■ 実行した棚卸の内容を確認するには



実行した棚卸は伝票として登録します。入力した伝票は「日常処理」タブにある「伝票一覧」画面で確認ができます。

棚卸の伝票は「伝票種別」が「入出庫」、[備考] 欄に「棚卸調整」と実施した日付を表示します。検索条件で、[棚卸備考] 欄を「棚卸調整」で検索すると単価訂正の伝票を抽出できます。

「伝票一覧」画面の操作方法については、111 ページの「伝票一覧画面の操作」をご覧ください。

◆ 商品の棚卸を外部データで行う



棚卸の情報を表計算ソフトなどで作成している場合、棚卸のデータをテキストデータとして取り込むことで、棚卸が行えます。取り込むことができるテキストデータは、CSV 形式で作成されている必要があります。

外部データで棚卸を行うには、「棚卸」画面の [データ取込] ボタンをクリックします。

[データ取込] ボタンをクリック



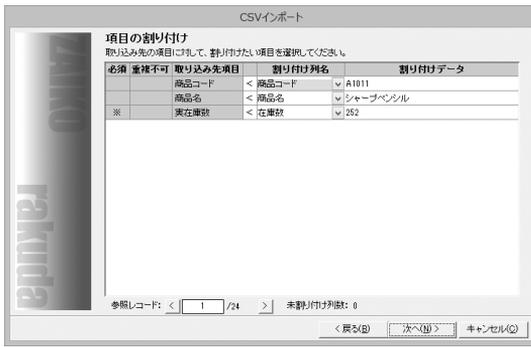
[指定] ボタンをクリックし、インポートする棚卸の CSV ファイルを指定します。

[指定] ボタンをクリックして
ファイルを指定

指定後、[次へ] ボタンをクリックします。

インポートする棚卸の CSV ファイルの仕様は、以下の表に合わせます。「項目名」と並び順は任意ですが、「データ型」と「制限桁数」は合わせる必要があります。

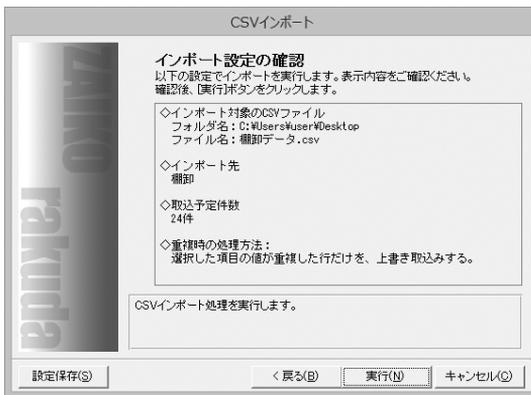
順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	保管場所コード	文字型	20 文字	保管場所台帳が有効の場合
2	保管場所名	文字型	50 文字	保管場所台帳が有効の場合
3	商品コード	文字型	20 文字	
4	商品名	文字型	50 文字	
5	ロット番号	文字型	30 文字	ロット管理が有効の場合
6	実在庫数	数値型	7 桁	必須項目、整数 5 桁(小数 2 桁)～整数 7 桁



棚卸の CSV ファイルをインポートする際に、取り込み元（CSV ファイル側）の項目（列）を、取り込み先（「在庫らくだプロ7.5」側）のどの項目に割り付けるかを選択します。

「割り付け列名」には、CSV ファイルの 1 行目のデータを表示します。そのため、インポートする CSV ファイルの 1 行目は、「割り付け列名」に表示した際にわかりやすい項目名にします。なお、1 行目はデータとして取り込みません。

割り付けが完了したら、[次へ] ボタンをクリックします。



取り込む内容が正しいことを確認し、[実行] ボタンをクリックすると取り込みを開始します。

取り込み実行中に [途中終了] ボタンをクリックすると、取り込みを終了しますが、その時点までのデータは取り込まれます。



「インポートの完了」画面を表示します。
[終了] ボタンをクリックします。

[ログ出力] ボタンをクリックすると、取り込んだ CSV ファイルと同じ場所に、取り込みのログを CSV 形式で出力します。取り込みのログで状況の確認や、取り込みに失敗したデータの確認などができます。

インポートログを出力せずに [終了] ボタンをクリックすると、「確認」画面を表示します。インポートログを出力する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、前の画面に戻ってください。



「棚卸」画面に、棚卸のテキストデータの内容が入力されます。日付や数量を確認して、[棚卸実行] ボタンをクリックすると、棚卸が完了します。

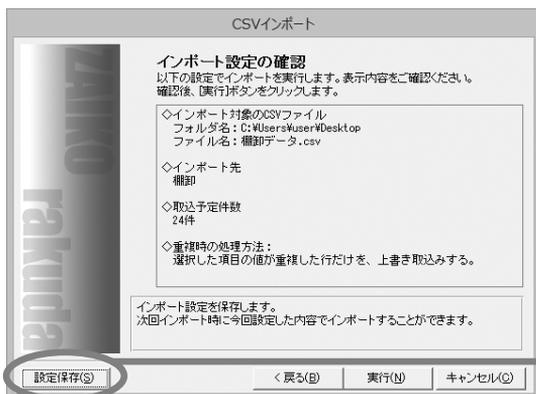
◆ インポート設定を保存する

取り込む棚卸の CSV ファイルや項目の割り付けの設定は、設定を保存することで、次回以降の棚卸の際に、CSV ファイルの指定や項目の割り付けを省略できます。



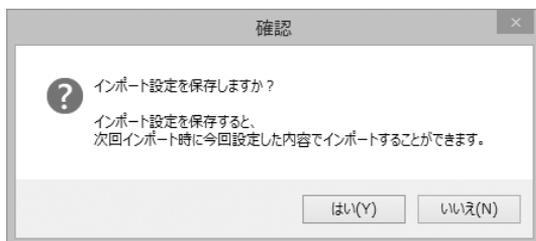
インポート設定を保存する場合は、以下の点に注意してください。

- ・CSV ファイルのファイル名を変更しない
- ・割り付ける項目名の名称を変更しない
- ・CSV ファイルの保存場所は変更しない



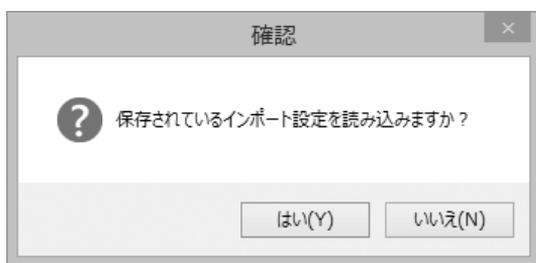
設定を保存するには、「インポート設定の確認」画面で [設定保存] ボタンをクリックします。

[設定保存]ボタンをクリック



「確認」画面を表示します。
設定を保存する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

■ 保存したインポート設定を読み込んで棚卸を行う



次回の棚卸を行う際に、「棚卸」画面で「取込」ボタンをクリックします。

保存したインポート設定を読み込む「確認」画面を表示します。

保存した設定を読み込む場合は、[はい] ボタンをクリックします。

新たに設定し直す場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

4-8 バーコードリーダーを使用して棚卸を行う

本製品をノート型やタブレットなど携帯できるコンピューターにインストールし、コンピューターに接続したバーコードリーダー（バーコードスキャナー）を使用して棚卸作業を行う方法を紹介します。

◆ 棚卸作業の準備

バーコードリーダーを使用して棚卸作業を行うために、商品台帳の登録や、保管場所への商品ラベル作成、バーコードリーダーが使用できるコンピューターで本製品をインストールします。

※バーコードリーダーを使用するコンピューターで、実際に本製品で在庫管理を行っている必要があります。

※バーコードリーダーの使用方法に関しては、バーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。

① 商品台帳に商品コードを設定する

商品台帳の「商品の編集」画面で、商品コードを入力します。バーコードで棚卸を行うには、商品の商品コードの登録が必要です。

バーコードを印刷する場合は、以下の点をご確認ください。

- 商品コードは5～15桁
- 商品コードには全角文字を使用しない
- Code39 または Code128 準拠

商品台帳の操作については、148 ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

バーコードを印刷する場合、商品コードが以下の制限で入力していることを必ず確認してください。

Code39 : 半角数字 (0～9) / 半角英字 (大文字 A～Z) / 半角記号 (-, +, /, \$, %, スペース)

Code128 : 半角数字 (0～9) / 半角英字 (大文字 A～Z・小文字 a～z) / 半角記号

② 保管場所用にバーコードのラベルを印刷する

保管場所用に、商品のバーコードを印刷したラベルを作成します。

「商品台帳」画面の操作ボタンにある、[印刷] ボタンをクリックします。

「印刷内容の選択」画面で、バーコードが印刷できる用紙を選択します。

印刷方法については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

■ バーコード印刷の印刷設定

項目	説明
バーコード タックシール 12 面 (BSL:LDW12PG)	商品コードのバーコードをタックシール(LDW12PG)に印刷します。BSL 専用サプライ用紙「LDW12PG」は、BSL のオンラインショップでご購入いただけます。

項目	説明
バーコード タックシール 12 面 (エーワン:72212)※	商品コードのバーコードをタックシール(エーワン 72212)に印刷します。
バーコード タックシール 18 面 (エーワン:72318)※	商品コードのバーコードをタックシール(エーワン 72318)に印刷します。
バーコード タックシール 21 面 (エーワン:72321)※	商品コードのバーコードをタックシール(エーワン 72321)に印刷します。
バーコード タックシール 24 面 (エーワン:72324)※	商品コードのバーコードをタックシール(エーワン 72324)に印刷します。
バーコードの形式	バーコードの形式を選択します。 お使いのバーコードリーダーが対応している形式を選択してください。 ※バーコードリーダーの使用方法については、バーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。
1 ページ目の印刷開始位置	タックシールの印刷開始位置を設定します。開始位置を変更するには[▼]ボタンをクリックして、設定を選択します。 ※印刷開始位置の変更は、必要な場合のみ変更してください。プリンター内でタックシールが紙詰まりを起こす危険性があります。

※エーワン社製のラベル用紙は、エーワン直販ショップなどでご購入ください。

③ バーコードが印刷されたラベルを商品ごとに貼る

実際に商品を保管している箱などにバーコードを印刷したラベルを貼り、棚卸作業の準備をします。

◆ 商品の棚卸を行う

保管場所にある商品の実際の在庫数を数えます。その際、バーコードリーダーを接続したコンピューターで、本製品の機能を使用して在庫数を入力します。



棚卸を行うには、[日常処理] タブ内にある [棚卸] アイコンをクリックします。

[棚卸]アイコンをクリック



「棚卸」画面を表示します。

「棚卸日付」欄に棚卸を実施する日付を入力します。入力した日付の在庫数が修正されます。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

棚卸を実施する
日付を入力



操作ボタンにある「[バーコード]」ボタンをクリックします。

[バーコード]ボタンをクリック



「バーコード入力」画面を表示します。

「バーコード入力」画面



バーコードをスキャナーで読むと、該当する商品を表示します。



ロット機能を有効にしている場合は、[ロット] 欄にある [▼] ボタンをクリックし、ロット番号を選択します。(既定に設定しているロット番号を自動的に入力します)

[▼]ボタンをクリックし、ロットを選択

数量・ロット・保管場所の入力

数量を入力してください

商品名 シャープペンシル

商品コード A1011

JANコード 4903333187560

ロット 151215

保管場所 通常在庫棚

保管場所コード

通常在庫棚	A001
不良品・返品棚	X000
通常在庫棚(特別品)	B001

入力

保管場所台帳を有効にしている場合は、[保管場所] 欄にある [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
保管場所を選択

数量の入力

数量を入力してください

商品名 シャープペンシル

商品コード A1011

JANコード 4903333187560

250

入力

在庫数を入力します。
入力はキーボードか、数字ボタンで入力します。
入力後、[確定] ボタンをクリックします。

バーコード入力

「棚卸」画面に実在庫を入力しました。
続けて、バーコードを読み取ってください。

バーコード入力を終了する場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてから
棚卸画面で「棚卸実行」ボタンをクリックしてください。

閉じる

次の商品も、同様の手順で入力します。
すべての商品の在庫数の入力後、[閉じる] ボタンをクリックし、バーコード入力画面を終了します。

在庫数を入力すると、実際の在庫数と本製品に入力した
在庫数との差分を [過不足数] 欄に表示します。
確認後、棚卸を実行する場合は、[棚卸実行] ボタンをク
リックします。
数量に訂正がある場合は、「棚卸」画面で在庫数を修正し
ます。
棚卸を行う商品の追加がある場合、操作ボタンにある
[バーコード] ボタンをクリックし、入力します。

種別	商品名	単位	実在庫数	過不足数	棚卸備考	タグ
A1011	シャープペンシル	本	254	-2		数在庫、在庫修正
A1012	万年筆	本	69	1		
A1013	ペンケース	個	67	0		数在庫
A1021	ボールペン	個	158	-1		数在庫、在庫修正
A1011	蛍光ペン付セット	セット	21	0		
B1011	リターセット	セット	17	0		
B1021	筆筒セット	セット	12	0		
B1022	筆筒セット	個	21	0		数在庫
B1023	筆筒セット	個	21	0		数在庫
F1011	筆	本	27	0		数在庫
F1012	筆	本	21	0		
F1013	筆	本	21	0		

2016/05/31 2009

在庫数を入力すると、実際の在庫数と本製品に入力した
在庫数との差分を [過不足数] 欄に表示します。
確認後、棚卸を実行する場合は、[棚卸実行] ボタンをク
リックします。

数量に訂正がある場合は、「棚卸」画面で在庫数を修正し
ます。
棚卸を行う商品の追加がある場合、操作ボタンにある
[バーコード] ボタンをクリックし、入力します。

棚卸に関する覚書などの参考情報は、[棚卸備考] 欄に入
力します。

入力後、操作ボタンの [棚卸実行] ボタンをクリックし
ます。

確認

2016/05/30の棚卸調整を実行しますか？

OK キャンセル

「確認」画面を表示します。
棚卸を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。
棚卸を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリック
します。「棚卸」画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックすると、「棚卸調整は正常に終
了しました」とメッセージを表示します。

4-9 仕入単価を訂正する

本製品では、仕入単価の訂正をする場合に、単価訂正で入力ができます。通常は、ある特定の日付以前の仕入れ単価に対して単価訂正を行う場合、在庫伝票を開いて単価を訂正する必要がありますが、一括で単価訂正を行いたいときに便利です。

金額管理を使用しない場合は、仕入単価の入力はできません。金額管理を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。



単価訂正を行うには、[日常処理] タブ内にある [単価訂正] アイコンをクリックします。

[単価訂正]アイコンをクリック



「単価訂正」画面を表示します。

[訂正日] 欄に単価訂正を実施する日付を入力します。入力された日付で単価訂正の伝票を作成します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。単価訂正を実施する日付は、過去の日付でも入力できます。

単価訂正を実施する
日付を入力



単価の訂正を行う商品の [訂正単価] 欄に、金額を入力します。訂正が必要のない商品は空欄のままにします。

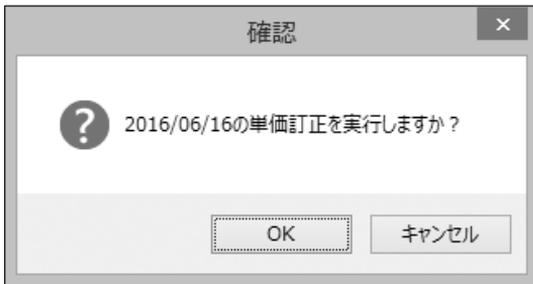
訂正単価を入力



単価の入力後、操作ボタンの「単価訂正実行」ボタンをクリックします。

※入力した単価をすべて消去するには、操作ボタンの「データ消去」ボタンをクリックします。

「単価訂正実行」ボタンをクリック



単価の設定が完了すると、確認画面を表示します。

単価訂正を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。クリックすると、「単価訂正は正常に終了しました。」とメッセージを表示します。

単価訂正を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「単価訂正」画面に戻ります。

■ 実行した単価訂正の内容を確認するには



実行した単価訂正は伝票として登録します。登録した伝票は、メインメニューの「日常処理」タブにある「伝票一覧」画面で確認ができます。

単価訂正の伝票は、「伝票種別」が「入庫」、[伝票備考]欄に「単価訂正」と実施した日付を自動的に入力します。検索条件で、[伝票備考]欄を「単価訂正」で検索すると単価訂正の伝票を抽出できます。

伝票種別が入庫で
伝票備考に「単価訂正」と日付

「伝票一覧」画面の操作方法については、111ページの「伝票一覧画面の操作」をご覧ください。



過去の日付で単価訂正しても、登録済みの入出庫の単価は訂正しません。

単価訂正した日付より新しい入庫の単価入力がある場合は、新しい入庫の単価が最終仕入単価になります。

4-10 入出庫帳画面で入出庫情報を入力する

本製品では、入出庫帳機能を使用して入出庫の入力ができます。入庫伝票や出庫伝票などの伝票を使用せず、帳簿形式で入出庫を入力できます。



入出庫帳を表示するには、[日常処理] タブ内にある [入出庫帳] アイコンをクリックします。

[入出庫帳]アイコンをクリック



「入出庫帳」画面を表示します。

日付	商品
6/16	

新規の [日付] 欄に日付を入力します。

日付	保管場所
2016/06/16	A001
	通常在庫欄
	保管場所名
	通常在庫欄
	廃棄・返品欄

保管場所台帳を有効にしている場合は、保管場所を選択します。

保管場所は既定の保管場所が自動的に入力されます。保管場所を変更するには、[保管場所] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

※ [保管場所] 欄の上段に保管場所コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する保管場所を選択します。

日付	商品
2016/06/16	
	商品名
	シャープペンシル
	万年筆
	ペンケース
	消しゴム
	蛍光ペン5色セット
	レターセット
	書道セット
	半紙50枚セット

入庫（出庫）する商品を選択します。商品を選択するには、[商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品を選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

ロット	単位	入庫数	出
	ロット番号	商品名	
	(指定なし)	シャープペンシル	
	141215	シャープペンシル	
	151215	シャープペンシル	

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を選択します。

ロット番号を選択するには、[ロット] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。ロット番号がない商品は、自動的に [ロット] 欄へ「(指定なし)」と入力します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

※ [ロット] 欄にロット番号を直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当するロット番号を選択します。

単位	入庫数	出庫数	仕入単価	相手先
本	100			

[入庫数] ([出庫数]) 欄に入庫 (出庫) 数を入力します。

金額管理を有効にしている場合は、[仕入単価] 欄に仕入単価を入力します。

仕入単価	相手先	備考
78		
	取引先名 地球堂東京本店 パラダイス商会 三つ葉商会 ユウヒベン らくだ事務所 イトヨーキ堂八王子店 越後屋川崎店 越後屋銀座店 かるがる事務機	

相手先台帳を有効にしている場合は、相手先を選択します。
相手先を選択するには、[相手先] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

※ [相手先コード] 欄に相手先コードを直接入力し、
[Enter] キーを押すと、該当する相手先を選択します。

仕入単価	相手先	備考	区分 伝票
78	S04 ユウヒベン		入庫

[備考] 欄に備考を入力します。

備考を入力

◆ 入在庫区分と伝票の表示について

明細の [区分・伝票] 欄には、入在庫区分を表示します。伝票で入力を行った場合「(伝票)」と表記します。「入
出庫帳」画面で伝票の編集はできません。伝票を編集するには、「(伝票)」と表記している行をダブルクリック
すると、伝票明細を開けます。

日付	商品	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	相手先	備考	区分 伝票
2016/06/16	A1012 万年筆	本		2		C04 かるがる事務機		出庫
2016/06/16	A1013 ペンケース	個	30		70	S04 ユウヒベン		出庫 (伝票)
2016/06/16	A1021 消しゴム	個		15		S04 ユウヒベン	返品	出庫 (伝票)
2016/06/16	A2011 蛍光ペン5色セット	セット	50		187	S04 ユウヒベン		入庫 (伝票)
2016/06/16	A1011 シャープペンシル	本	20		78	S04 ユウヒベン		入庫 (伝票)
2016/06/16	A1012 万年筆	本		50		S04 ユウヒベン	返品	出庫 (伝票)
2016/06/16	A1012 万年筆	本		10		S04 ユウヒベン		廃棄 (伝票)

入出庫の区分と伝票を表示



伝票で入力された明細行は、複製することができません。
伝票内で複数の明細行がある場合は、伝票明細を開いて、伝票内で明細行を複製します。

■ 明細行を入れ替える

日付	商品	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	材料名	備考	取引
2016/06/14	40102	本	4			Q01	イトーヨーカ堂	伝票
2016/06/14	40101	箱	21			Q02	新登場14確定	(伝票)
2016/06/14	40102	箱	11			Q02	伝票	(伝票)
2016/06/14	40101	箱	6			Q02	新登場14確定	(伝票)
2016/06/14	40101	箱	21			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40102	箱	22			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40102	箱	7			Q04	からがら事務簿	伝票
2016/06/14	40101	本	17			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40101	箱	7			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40101	箱	1			Q04	伝票	

明細行を入れ替えるには、[行入替] ボタンをクリックします。
現在カーソルがある明細行を、上または下の明細行と入れ替えます。明細行の入れ替えは同じ日付の明細で行えます。

[行入替]の[△]・[▽]
ボタンをクリック



伝票で入力された明細行は、入れ替えることができません。
伝票内で複数の明細行がある場合は、伝票明細を開いて、伝票内で明細行を入れ替えます。

■ 明細行を削除する

日付	商品	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	材料名	備考	取引
2016/06/14	40102	本	4			Q01	イトーヨーカ堂	伝票
2016/06/14	40101	箱	21			Q02	新登場14確定	(伝票)
2016/06/14	40102	箱	11			Q02	伝票	(伝票)
2016/06/14	40101	箱	6			Q02	新登場14確定	(伝票)
2016/06/14	40101	箱	21			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40102	箱	22			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40102	箱	7			Q04	からがら事務簿	伝票
2016/06/14	40101	本	17			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40101	箱	7			Q05	からがら菓食品	伝票
2016/06/14	40101	箱	1			Q04	伝票	

明細行を削除するには、[行削除] ボタンをクリックします。
現在カーソルがある明細行を削除します。

削除の確認画面を表示します。
削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。
削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

[行削除] ボタンを
クリック



伝票で入力された明細行は、削除できません。
伝票内で複数の明細行がある場合は、伝票明細を開いて、伝票内で明細行を削除します。

■ 伝票を作成する



伝票を作成するには、操作ボタンの「アクション」にある各種伝票の作成ボタンをクリックします。
作成した伝票は、明細行として入出庫帳に入力します。

作成する伝票の
作成ボタンをクリック



Memo

「入出庫帳」画面では、伝票単位で明細行を表示します。

日付	商品	単位	入庫数	出庫数	仕入単価	相手先	備考	区分
2016/08/16	A1012 万年筆	本		50		S04 ユウヒペン		出庫 (伝票)
2016/08/18	A1012 万年筆	本	10			S04 ユウヒペン		廃棄 (伝票)
2016/08/16	A1021 消しゴム	個		5		S04 ユウヒペン		廃棄 (伝票)
2016/08/16	A2011 蛍光ペン5色セット	セット		1		S04 ユウヒペン		廃棄 (伝票)
2016/08/16	A1013 ペンケース	個		5		S04 マウヒペン		廃棄 (伝票)
2016/08/16	A1011 シャープペンシル	本	0		72		単価訂正 2016/08/18実施	単価訂正 (伝票)
2016/08/16	A1012 万年筆	本	0		385		単価訂正 2016/08/18実施	単価訂正 (伝票)

同じ在庫管理の明細はまとめて表示

伝票を使用した入力や棚卸など、複数の商品の在庫管理の入力を行った場合、入出庫帳では、その入力ごとに明細行を表示します。

例えば、4/1に棚卸を行った場合、棚卸をしたすべての商品の明細行をまとめて表示します。

「入出庫帳」画面で明細行をクリックすると、同じ伝票の明細行は[日付]欄の左側に色を付け表示します。

■ 作成した伝票を開く



作成した伝票を開くには、[区分・伝票]欄が「(伝票)」と表示されている明細行をダブルクリックします。

作成した伝票を表示します。

[区分・伝票]欄が「(伝票)」と
表示されている明細行を
ダブルクリック

4-11 伝票一覧画面の操作

伝票一覧機能を使用すると、入出庫した伝票などを一覧で確認できます。
 入庫や出庫などの作業単位で伝票の入力、複製および削除が行えます。



伝票一覧を表示するには、[日常処理] タブ内にある [伝票一覧] アイコンをクリックします。

[伝票一覧]アイコンをクリック



「伝票一覧」画面を表示します。

「伝票一覧」画面で、伝票の内容を表示するには、伝票の [開く] ボタンをクリックします。

[開く]ボタンをクリック

[開く] ボタンをクリックすると、伝票の内容を表示します。

Memo

伝票を開かずに内容だけを確認するには



「伝票一覧」画面では、伝票を開かずに伝票の内容を確認できます。伝票の一覧から直接確認できるので、内容だけを確認する場合に便利です。

伝票の内容を確認するには、確認する伝票を選択し、操作パネルの「レイアウト」にある[明細]ボタンをクリックします。

「伝票一覧」画面の下側に、選択した伝票の明細を表示します。

■「伝票一覧」画面で商品の入庫処理を行う場合



「伝票一覧」画面で商品の入庫処理を行うには、操作ボタンの「アクション」にある[入庫]ボタンをクリックします。



「入庫伝票」画面を表示します。

入庫伝票の入力については、68ページの「商品の入庫を入力する」をご覧ください。

■「伝票一覧」画面で商品の出庫処理を行う場合



「伝票一覧」画面で商品の出庫処理をするには、操作ボタンの「アクション」にある[出庫]ボタンをクリックします。





「出庫伝票」画面を表示します。

出庫伝票の入力については、74 ページの「商品の出庫を入力する」をご覧ください。

■ 「伝票一覧」画面で商品の入出庫を行う場合



「伝票一覧」画面で商品の入出庫処理をするには、操作ボタンの「アクション」にある [入出庫] ボタンをクリックします。

[入出庫]ボタンを
クリック



「入出庫伝票」画面を表示します。

入出庫伝票の入力については、79 ページの「商品の入庫と出庫をまとめて入力する」をご覧ください。

■「伝票一覧」画面で商品の保管場所間の移動を行う場合

日付	伝票種別	伝票番号	移先コード	移先名	入庫数合計	出庫数合計	伝票番号
2016/06/07	入庫	001-10000-1	003	三ツ壱聯合	975		
2016/06/07	入庫	004-10000-1	004	コクセイ	858		
2016/06/14	出庫	001-10014-1	001	イトーヨーカ堂八王子店		119	
2016/06/14	出庫	002-10014-1	002	総持屋/靖店		48	
2016/06/18	入庫	004-10018-4	004	コクセイ	100	65	
2016/06/18	廃棄	003-10018	004	コクセイ		21	廃品記録
2016/06/18	入庫	001-10018-1	001	イトーヨーカ堂八王子店		54	準備訂正 2016/06/18
2016/06/23	入庫	001-10023-1	001	榎野産業本店	100		
2016/06/23	入庫	002-10023-1	002	パラダイス聯合	310		
2016/06/23	入庫	003-10023-1	003	三ツ壱聯合	1,050		
2016/06/24	入庫	004-10024-1	004	コクセイ	950		
2016/06/24	出庫	001-10024-1	001	イトーヨーカ堂八王子店		71	
2016/06/24	出庫	002-10024-1	002	総持屋/靖店		67	

保管場所台帳を有効にしている場合は、保管場所間の商品の移動ができます。「伝票一覧」画面で商品の移動処理をするには、操作ボタンの「アクション」にある[その他] - [移動] ボタンをクリックします。



[移動]ボタンをクリック

移動伝票

伝票番号: 1 日付: 2016/06/18

移動元 保管場所: [選択] 移動先 保管場所: [選択]

商品 数量 単位 備考

移動元在庫数 移動先在庫数

伝票備考

「移動伝票」画面を表示します。

移動伝票の入力については、84 ページの「保管場所間での商品の移動を入力する」をご覧ください。

■「伝票一覧」画面で商品の廃棄を行う場合

「伝票一覧」画面で商品の廃棄処理をするには、操作ボタンの「アクション」にある[その他] - [廃棄] ボタンをクリックします。



[廃棄]ボタンをクリック



「廃棄伝票」画面を表示します。

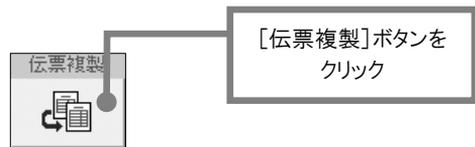
廃棄伝票の入力については、89 ページの「商品の廃棄を入力する」をご覧ください。

■ 伝票を複製する場合



毎月同じ商品を出庫するなど、同じ処理を繰り返す場合は、伝票の複製が便利です。

伝票を複製するには、複製する伝票をクリックし、操作ボタンの「伝票複製」ボタンをクリックします。



複製が完了すると、「伝票を複製しました。複製した伝票を表示します。」とメッセージを表示します。

[OK] ボタンをクリックすると、複製した伝票の入力画面を表示します。(画面は出庫伝票を複製した場合)

■ 伝票を削除する場合

日付	伝票種別	伝票番号	相手先コード	相手先名	入庫数合計	出庫数合計	伝票番号
2016/06/27	入庫	001-10002-1	003	三ツ駒株式会社	375		
2016/06/27	入庫	004-10002-1	004	ユウセイ	850		
2016/06/24	出庫	001-10014-1	001	イトーヨーカ堂八王子店		110	
2016/06/24	出庫	002-10014-1	002	株式会社神店		40	
2016/06/25	入出庫	004-10018-4	004	ユウセイ	100	65	
2016/06/25	廃棄	000-10018	004	ユウセイ		21	商品破壊
2016/06/25	入庫						単価訂正 2016/06/25
2016/06/20	出庫	001-10020-1	001	イトーヨーカ堂八王子店		54	
2016/06/23	入庫	001-10020-1	001	地球産業株式会社	160		
2016/06/23	入庫	002-10020-1	002	パナソニック株式会社	310		
2016/06/23	入庫	000-10020-1	000	三ツ駒株式会社	1,050		
2016/06/23	入庫	004-10020-1	004	ユウセイ	950		
2016/06/24	入庫	001-10024-1	001	イトーヨーカ堂八王子店			
2016/06/24	出庫	002-10024-1	002	株式会社神店		67	

「伝票一覧」画面では、伝票単位で伝票を削除できます。

伝票を削除するには、削除する伝票をクリックし、操作ボタンの「伝票削除」ボタンをクリックします。



確認画面を表示します。

伝票を削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。
伝票を削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



伝票を削除すると入出庫履歴に影響が出ることがあります。
削除する際には注意してください。

4-12 商品の在庫状況の確認と分析を行う

一覧画面から特定の商品の在庫状況を確認するには、「単品分析」を使用します。単品分析機能は各商品の入出庫の推移をグラフで表示したり、入出庫の履歴を確認したりできます。単品分析を行うことで、過剰な在庫が無いか分析したり、季節変動品などの情報を分析したりすることにより、適正な在庫数を行います。

単品分析は「在庫確認」画面のほか、各種画面、「入出庫帳」画面、「発注計画」画面で確認ができます。ここでは「在庫確認」画面での操作方法を説明しています。

◆ 在庫数の推移をグラフで確認する

指定した期間の在庫数の推移を折れ線グラフで表示します。入庫数、出庫数は棒グラフで表示します。



「在庫確認」画面で確認します。

単品分析を行うには、分析する商品の「選択」欄にチェックを付けます。

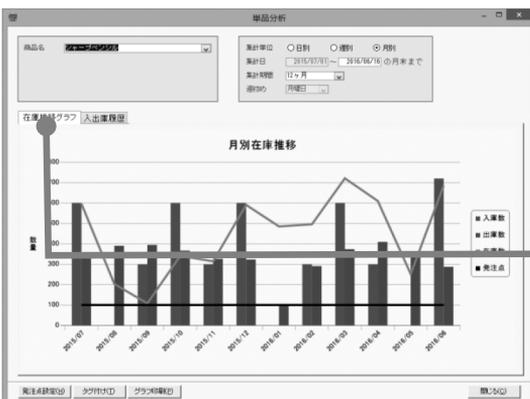
※複数の商品を選択すると単品分析は行えません。

[選択]欄の口をクリックしてチェック



操作ボタンの「単品分析」ボタンをクリックします。

[単品分析]ボタンをクリック

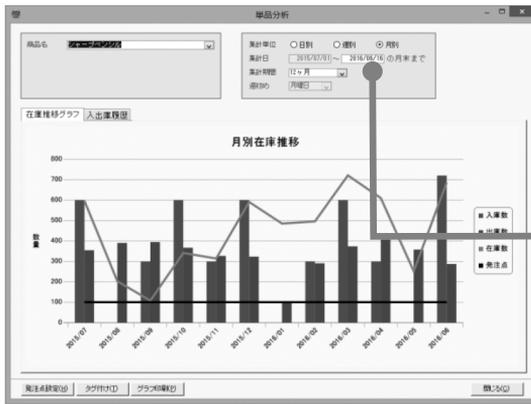


選択した商品の「単品分析」画面を表示します。

在庫数の推移をグラフで確認するには、[在庫推移グラフ]タブをクリックします。

分析する項目は、タブをクリックして変更します。

[在庫推移グラフ]タブをクリック



発注点を設定している場合は、発注点の数値をグラフ上に表示します。

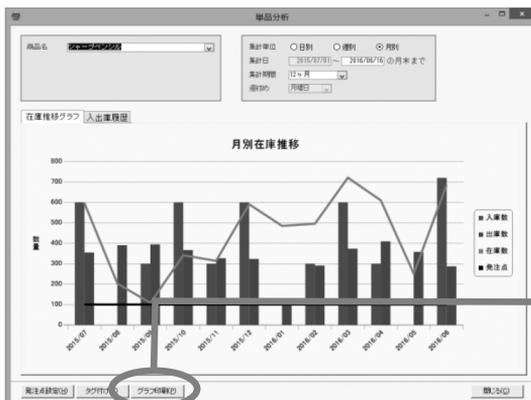
[条件設定] 欄で集計期間などの条件を設定します。

[条件設定] 欄で条件を設定

■ 条件設定欄の設定項目

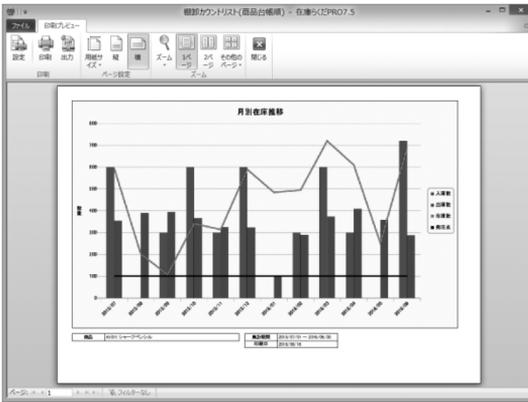
項目	説明
商品名	商品台帳に登録した商品コードと商品名を表示します。 分析する商品を変更する際に使用します。
ロット	ロット管理を有効にしている場合に表示します。ロット管理を有効にする場合は、167 ページの「自社設定」をご覧ください。 商品台帳に登録したロット番号を表示します。 ロット番号を指定しない場合は「(指定なし)」のみ表示します。
保管場所名	保管場所台帳を有効にしている場合に表示します。保管場所ごとに分析する際に使用します。 すべての保管場所を合わせて分析する場合は、「すべて」を選択します。
集計単位	集計期間を日別、週別、月別から選択します。 選択した集計単位に合わせたグラフを表示します。選択した集計単位に合わせて、それぞれ「日別在庫推移」、「週別在庫推移」、「月別在庫推移」と表示します。
集計日	集計日を入力します。 設定した集計終了日をもとに、集計期間に合わせてグラフを表示します。
集計期間	集計期間を選択します。 集計単位を「日別」に設定している場合は、「7日」、「14日」、「30日」、「60日」、「90日」が選択できます。 集計単位を「週別」に設定している場合は、「13週」、「26週(半年)」、「52週(1年)」が選択できます。 集計単位を「月別」に設定している場合は、「6ヶ月」、「12ヶ月」、「24ヶ月」、「36ヶ月」が選択できます。
週初め	集計する期間が、週のどの曜日から始まるかを設定します。集計単位を「週別」に設定している場合に、曜日の選択ができます。 例えば、水曜日から集計期間を開始する場合は、「水曜日」を選択します。

■ グラフを印刷する



表示されたグラフを印刷するには、「単品分析」画面で、「グラフ印刷」ボタンをクリックします。

[グラフ印刷]ボタンをクリック



「印刷プレビュー」画面が表示されます。
用紙サイズや用紙方向を設定して、[印刷] ボタンをクリックします。
印刷についての詳しい設定は 139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

■ 発注点を設定する

商品に発注点を設定するには、「単品分析」画面で [発注点設定] ボタンをクリックします。
発注点を設定すると、在庫数が発注点以下になった場合、警告画面を表示し、在庫切れを未然に防ぎます。

[発注点] 欄に、商品の発注点となる在庫数を入力し、[登録] ボタンをクリックします。
※商品台帳でも、発注点を設定できます。商品台帳については、148 ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

■ タグを設定する

商品にタグを付けるには、「単品分析」画面で [タグ付け] ボタンをクリックします。
タグを設定することにより、商品をグループ化したり、季節によって在庫数変動する商品に目印をつけたりできます。また、タグは商品に複数設定できます。

[タグの絞り込みまたは追加] 欄に、タグを入力します。
登録したタグを入力すると、[タグ一覧] に該当するタグを表示します。
登録が無いタグを入力して、[追加] ボタンをクリックすると、新たにタグを追加します。

[タグ一覧] で、商品にタグ付けするタグの [選択] 欄にチェックを付け、[登録] ボタンをクリックすると、商品にタグ付けします。

◆ タグの便利な使い方

商品ごとに設定できるタグの使用例について説明します。商品ごとにタグを付けることによって、設定したタグで検索できるようになり、発注など伝票入力時や、集計を行う際に利便性が向上します。

例えば、セットで販売する商品に共通のタグを設定して、在庫の確認、発注などでの検索を行いやすくします。他にも、集計機能を使用して売れ筋の商品にタグを付けて、在庫数を把握するなどに使用できます。

単品分析を行った商品にタグを設定するには、商品ごとに「単品分析」画面で設定するか、メインメニューの「特別処理」タブの「タグ一覧」でタグを登録します。タグを設定する商品数が多い場合は、あらかじめメインメニューの「特別処理」タブの「タグ一覧」で登録すると便利です。

タグは一つの商品に複数設定できますので、より柔軟な検索に役立ちます。

◆ セット販売する商品に共通のタグを設定する例

① 商品にタグを設定する

共通のタグを設定する商品のうち、1商品の「単品分析」画面を表示します。例えば、「シャープペンシル」、「ペンケース」、「消しゴム」をセット販売するとします。

「単品分析」画面で、[タグ付け] ボタンをクリックして、「商品タグ編集」画面を表示します。

[タグの絞り込みまたは追加] 欄に、タグ名を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「確認」画面を表示するので、[はい] ボタンをクリックします。この例では、3つの商品のセットを「文具セール」というタグで設定します。

「文具セール」のタグは
明細内の備考からも
設定できます

商品コード	商品名	単位	在庫数	入庫待ち	販売名	仕入単価	仕入数量	仕入金額	タグ
A1911	シャープペンシル	本	242	0	180	78	18	1,404	在庫数注意, 文具セール
A1912	ペンケース	個	97	0	35	187	35	6,645	
A1913	消しゴム	個	76	0	58	214	18	1,242	
A1914	文具セット	個	148	0	180	77	28	13,824	
A1915	文具セット	個	135	0	90	192	28	25,920	
A1916	文具セット	個	80	0	18	177	8	14,160	
A1917	文具セット	個	19	0	18	2,278	43	83,286	
A1918	文具セット	個	72	0	35	477	16	12,444	在庫数注意
A1919	文具セット	個	84	0	48	725	16	12,000	在庫数注意
A1920	文具セット	個	133	0	48	725	16	19,176	

「在庫確認」画面で、セット販売する他の商品にチェックを付け、[タグ編集] ボタンをクリックします。

[商品タグ編集] 画面を表示するので、設定するタグにチェックを付けて、[保存] ボタンをクリックします。この例では、「文具セール」にチェックを付けます。

[選択]欄の口を
クリックしてチェックして、
[タグ編集]ボタンをクリック

② 登録したタグで検索する



セット販売の商品をまとめて発注したい場合、「発注計画」画面で検索条件をセット販売の商品のタグで検索します。「発注計画」画面で「検索」ボタンをクリックして、検索条件を表示します。

設定したタグ名をクリック



検索条件で設定したタグを選択すると、該当商品を抽出します。ここでは「文具セール」のタグを設定した、「シャープペンシル」、「ペンケース」、「消しゴム」が表示されます。

セット販売する商品を抽出した状態で、発注計画書の作成ができます。発注計画書の作成については、126 ページの「発注計画書を作成する」をご覧ください。



さらに「在庫確認」画面で、抽出された商品の在庫数の確認や、単品分析ができます。

◆ 商品の入出庫履歴を確認する

商品の一覧から直接履歴を確認できるので便利です。



「在庫確認」画面で、入出庫の履歴を確認する商品の「選択」欄にチェックを付けます。
※複数の商品を選択すると単品分析は行えません。

「選択」欄の口をクリックしてチェック



操作ボタンの「単品分析」ボタンをクリックします。

「単品分析」ボタンをクリック



「単品分析」画面を表示します。
「入出庫履歴」タブをクリックします。

「入出庫履歴」タブをクリック



「入出庫履歴」画面を表示します。

◆ 保管場所ごとの在庫数を確認するには

保管場所ごとの在庫数を確認するには、保管場所ごとに商品の在庫数を一覧で確認できます。

「在庫確認」画面で確認した商品の在庫数を、さらに保管場所ごとの在庫数を確認する場合に使用します。



「在庫確認」画面で、在庫数を確認する商品の「[選択]」欄にチェックを付けます。

※複数の商品を選択すると、単品分析は行えません。

[選択]欄の口をクリックしてチェック



操作ボタンの「[単品分析]」ボタンをクリックします。

[単品分析]ボタンをクリック



「単品分析」画面を表示します。

「[在庫一覧]」タブをクリックします。

[在庫一覧]タブをクリック



「在庫一覧」画面を表示します。

「[条件設定]」欄で商品名などの条件を設定します。

「[条件設定]」欄については、118ページの「条件設定欄の設定項目」をご覧ください。

◆ 適正な在庫管理を行う

売れ筋の商品など需要の多い商品は在庫切れを起こすと、販売機会を逃す場合があります。売れ筋商品の在庫数の把握を行い、商品ごとに在庫切れ警告を設定することにより、在庫切れを防止します。また需要の少ない商品を把握することで、過剰在庫を防止します。在庫切れと過剰在庫を防ぐことにより、最適な在庫数の維持ができます。

◆ 在庫切れを防ぐためには

本製品では、在庫切れを防ぐために、商品の出庫数の情報を分析することで発注点を設定し、発注点を下回った場合に在庫切れ警告を表示することができます。管理する商品の数が多く、すべての商品に発注点を設定できない場合は、まず需要の多い商品に発注点を設定し、在庫切れを起こさないようにします。

① 発注点を設定する商品を確認する

需要の多い商品を確認して、発注点を設定する商品を確認するには、集計表の「出庫ランキング」でABC分析を行い、出庫数の多い商品を確認します。出庫数の多い商品は需要の多い商品ですので、在庫切れを起こさないよう発注点を設定します。

順位	品名	単位	出庫数	出庫率	在庫数	在庫率	タグ
1	靴	箱	438	18.0%	16.0%	14	発注点
2	シューズ	箱	358	13.8%	20.0%	47	発注点、在庫切れ
3	靴	箱	312	13.0%	20.0%	16	発注点
4	靴	箱	310	13.0%	10.0%	14	発注点、在庫切れ
5	靴	箱	288	12.6%	10.0%	16	発注点
6	シューズ	箱	180	8.0%	10.0%	25	発注点、在庫切れ
7	靴	箱	124	4.2%	20.0%	12	発注点
8	靴	箱	121	4.1%	20.0%	10	発注点
9	靴	箱	100	3.7%	20.0%	14	発注点
10	靴	箱	94	3.3%	10.0%	8	発注点
11	靴	箱	92	3.2%	10.0%	14	発注点

メインメニューの[集計表]タブにある[出庫ランキング]アイコンをクリックします。

設定した期間での出庫数のランキングを確認します。

出庫ランキングで、上位にある商品を確認します。



発注点を設定する商品を選択した状態で、操作ボタンの[単品分析]ボタンをクリックします。

「単品分析」画面を表示します。グラフの出庫数を確認して、発注点を設定します。また、グラフの状況により、季節や特定の条件による変動かどうか確認ができます。

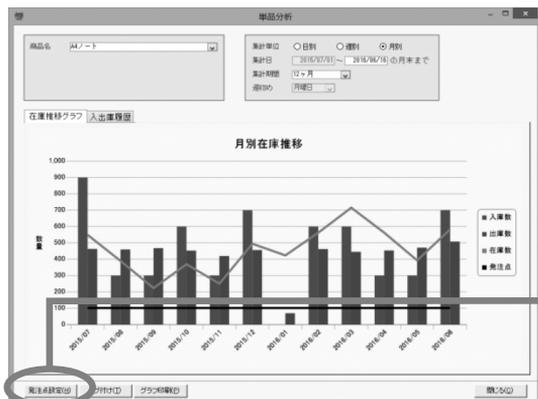
Memo

発注点を設定する際に、あらかじめ商品台帳で設定した「リードタイム」(発注から納品までの日数)、「1日当たりの平均出庫数」、「安全在庫」を考慮し、設定することもできます。

例えば、1日当たりの平均出庫数が10個の商品があり、納品までのリードタイムが3日かかる場合、在庫数が30個になった時点で発注しないと在庫切れになります。さらに出庫数の変動を考慮して、余分に保有する在庫(安全在庫)が必要です。

「リードタイム」と「1日当たりの平均出庫数」は、集計表の「適正在庫分析」画面から確認できます。

② 発注点を設定し、在庫切れ警告を表示するよう設定する



「単品分析」画面で「発注点設定」ボタンをクリックします。

発注点の設定は、商品台帳でも設定できます。詳細については、148ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

[発注点設定]ボタンをクリック

発注点を入力してください。

発注点 冊

発注点とは、発注タイミングの目安になる数のことです。
在庫数が発注点を下回ると「在庫切れお知らせ画面」が表示され、在庫切れを未然に防ぐことができます。

登録(B) キャンセル(C)

「発注点登録」画面で、発注点に設定する在庫数を入力します。

発注点を設定すると、実際の在庫数が発注点を下回ると警告を表示します。

発注点を設定しても、警告を表示しない場合は、「設定」画面の「[在庫切れ警告]」で、機能が有効になっているか確認してください。詳細については、172ページの「在庫切れ警告」をご覧ください。

■ 過剰な在庫が無いか分析する

過剰な在庫が無いか分析するには、集計表の「出庫ランキング」と「適正在庫分析」で確認します。

出庫ランキングで、順位が低い商品は不良在庫（デッドストック）になっている可能性があります。また適正在庫分析で、在庫日数が極端に多い商品は同様に不良在庫になっている可能性があります。

過剰な在庫がある場合は、発注量の調整や、商品の廃棄などを行って、在庫を削減できるか検討します。

商品	単位	積立数	平均在庫日数	在庫日数	タグ
F101 目録帳	冊	37	8.3	16日	7日
F101 MPインナー	冊	116	1.1	9日	7日

集計表の「出庫ランキング」画面では、順位が低い商品を確認します。

集計表の「適正在庫分析」画面では、在庫日数が特定の日数以上を条件に、過剰在庫になっている商品を出出できます。在庫日数順に並べ替えもできます。

また、期間内で出庫が無い場合は、在庫日数を「-」で表示します。

表示された集計結果で、商品の単品分析を行い、在庫数の推移や適切な発注数だったのかなどの分析を行います。

※在庫日数とは、在庫切れまでの予測日数です。詳しくは46ページをご覧ください。

Memo

「適正在庫分析」は、発注点以下の商品を一覧で確認することもできます。発注が必要な商品を確認することで、適正在庫数を保つことができます。

4-13 発注計画書を作成する

本製品では、商品の仕入業務に便利な発注計画書が作成できます。商品が入庫した際に、作成した発注計画書を入庫伝票に取り込むことで、簡単に入庫の入力も行えます。作成した発注計画書はそのまま発注書として印刷することもできます。発注計画書を作成するには、発注計画管理を有効にします。発注計画管理を有効にするには167ページの「自社設定」をご覧ください。

◆ 発注内容を手入力して発注計画書を作成する

商品に設定した発注点や在庫日数などから、発注量を手入力して発注計画書を作成できます。



発注を行うには、[日常処理] タブ内にある [発注計画] アイコンをクリックします。

[発注計画]アイコンをクリック



「発注計画」画面を表示します。

[発注計画日] 欄に日付を入力します。入力した日付で発注計画書を作成します。

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。

発注計画書を作成する日付を入力



発注する商品の発注量を入力します。単価は必要に応じて入力します。

※発注しない商品は空欄で構いません。

発注量と単価を入力



「発注計画書」画面を表示します。

必要に応じて、発注計画番号や発注計画日、入庫予定日などを入力します。

発注計画書の入力後、操作ボタンの「閉じる」ボタンをクリックします。



商品の納品後、[日常処理] タブ内にある「入庫」アイコンをクリックし、入庫処理をします。

作成した発注計画書を取り込む方法については、135ページの「発注計画書から入庫処理をするには」をご覧ください。

[入庫]アイコンをクリック

◆ 発注内容を自動入力して発注計画書を作成する

発注量、単価、発注先を自動入力して発注計画書を一括で作成ができます。毎回、同じ発注量で発注する場合や、発注先が決まっている場合などに便利な機能です。



各項目を自動で入力するには、商品台帳の「標準発注先」、「発注点」、「発注量」を設定する必要があります。

商品台帳については148ページの「商品台帳の管理」をご覧ください。

商品台帳で標準発注先、
発注点、発注量を入力

また、「発注計画」画面で商品名をダブルクリックすると、「商品の編集」画面を表示します。

「発注点」、「発注量」、「標準発注先」を設定できます。



発注を行うには、[日常処理] タブ内にある [発注計画] アイコンをクリックします。



「発注計画」画面を表示します。表示しない場合は、画面の [発注計画] をクリックします。

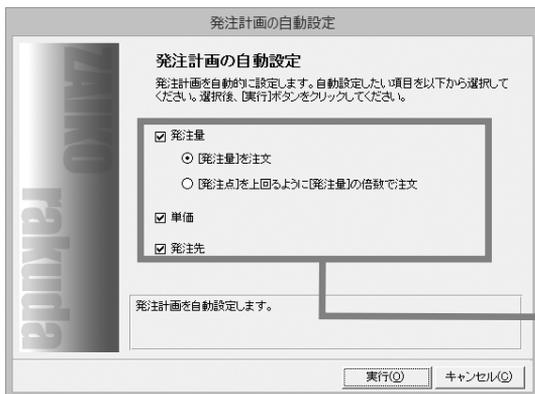
[発注計画日] 欄に日付を入力します。入力された日付で発注計画書を作成します。
※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。



検索機能で発注する商品を検索します。例えば、検索条件で在庫数が発注点以下の商品のみに設定し、発注に必要な商品だけを表示させます。検索機能の詳細は 55 ページの「検索条件を設定する」をご覧ください。



操作ボタンの [自動設定] ボタンをクリックします。



「発注計画の自動設定」画面を表示します。

商品台帳から自動設定を行う項目を選択します。自動設定を行わない項目がある場合は、チェックを外します。

自動設定を行う項目の
□をクリック

項目	説明	
発注量	発注量を注文	商品台帳で設定している発注量を発注します。設定によっては発注量が発注点を下回る場合があります。
	発注点を上回るように発注量の倍數を注文	商品台帳で設定している発注点以上になるまで発注数を倍ずつ増やします。発注数には在庫待ちの数量も含まれます。例えば、発注点が「100」、発注量が「30」の商品 A の在庫数が「10」で、在庫待ちが「5」の場合、発注点を上回るように「30×3」を発注します。(10+5+30×3=105 で発注数は 90 となります)
単価	直近の最終仕入単価を自動で入力します。最終仕入単価は「在庫確認」画面で確認できます。	
発注先	商品台帳で設定している標準発注先を自動で入力します。	



「発注計画の自動設定」画面で選択した、発注量、発注先、最終仕入単価が自動で入力されます。

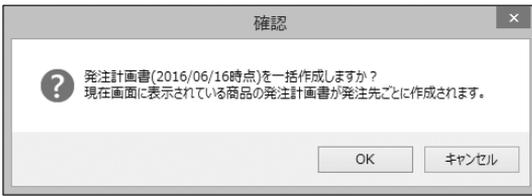
発注量、単価、発注先の内容を変更する場合は、直接入力して変更してください。

発注に関する覚書などの参考情報は、[発注計画備考] 欄に入力します。



発注商品の入力後、操作ボタンの「発注計画」ボタンをクリックします。

[発注計画]ボタンをクリック



「確認」画面を表示します。

一括発注を行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。一括発注を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。「発注計画」画面に戻ります。



一括作成機能で作成すると、発注計画書は発注先ごとに一括で作成されます。

発注計画書を確認するには、発注計画書の一括作成後に表示する「確認」画面で [はい] ボタンをクリックするか、「発注計画」画面の [計画書一覧] をクリックします。

[開く] ボタンをクリックして、作成した発注計画書を開き、発注番号と入庫日を入力します。

[開く]ボタンをクリック

Memo

発注計画書を開かずに内容だけを確認するには



「計画書一覧」画面では、発注計画書を開かずに発注計画書の内容を確認できます。発注計画書の一覧から直接確認できるので、内容だけを確認する場合に便利です。

発注計画書の内容を確認するには、内容を確認する発注計画書を選択し、操作パネルのレイアウトにある[明細]ボタンをクリックします。

[明細]ボタンをクリックすると、「計画書一覧」画面の下側に選択した発注計画書の明細を表示します。



「発注計画書」画面を表示します。

[発注計画番号] 欄に発注計画番号を入力します。
 [発注計画日] 欄に発注する日を入力します。
 [入庫予定日] 欄に納品予定日を入力します。商品ごとに入庫予定日が違う場合は、商品の [入庫予定日] 欄に入力します。
 その他、必要な場合は備考や担当者を入力します。
 発注計画書を印刷するには、138 ページの「発注計画書を印刷する」をご覧ください。

発注計画書の入力後、操作ボタンの [閉じる] ボタンをクリックします。



商品の納品後、[日常処理] タブ内にある [入庫] アイコンをクリックし、入庫処理をします。
作成した発注計画書を取り込む方法については、135ページの「発注計画書から入庫処理をするには」をご覧ください。

[入庫]アイコンをクリック

◆ 「在庫確認」画面で発注計画書を作成する

「在庫確認」画面から発注計画書を作成できます。発注する商品が決まっている場合や、商品を画面で確認しながら選択して発注計画書を作成する場合などに使用します。



「在庫確認」画面で、発注する商品の [選択] 欄にチェックを付けます。
チェックを付けた商品が、「発注計画書」画面に自動的に入力されます。
検索機能を使用して、条件を発注点以下の商品だけ抽出したり、特定のタグを条件に設定して抽出したりすると、必要な商品のみの発注計画書が作成できます。

[選択]欄の口をクリックして
チェック



操作ボタンのアクションにある [その他] ボタンをクリックします。

[その他]ボタンをクリック

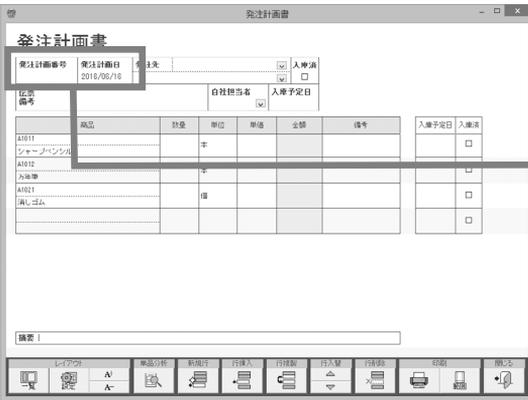


[発注計画] ボタンをクリックします。

[発注計画]ボタンをクリック



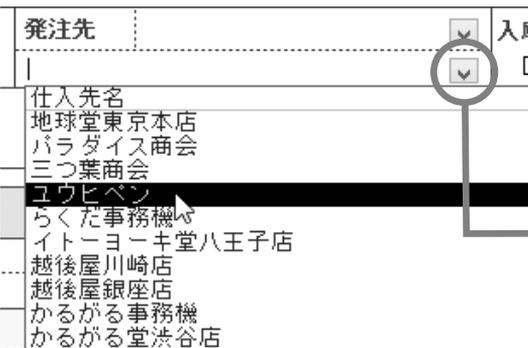
選択した商品が入力された「発注計画書」画面を表示します。



[発注計画番号] 欄に発注計画番号と、[発注計画日] 欄に日付を入力します。

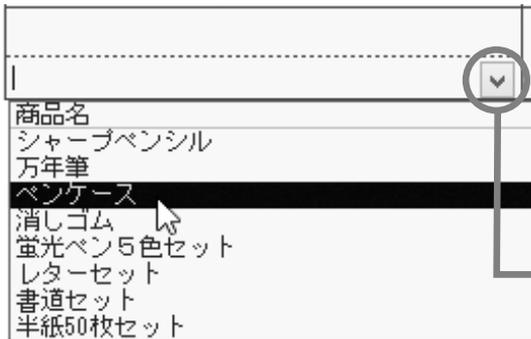
発注計画番号と日付を入力

※日付は、コンピューターのシステム日付が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。



発注先を選択します。
発注先を選択するには、[発注先] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、表示するリストから選択



追加する商品がある場合は、[商品] 欄の [▼] ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

※ [商品] 欄の上段に商品コードを直接入力し、[Enter] キーを押すと、該当する商品が選択されます。

[▼]ボタンをクリックし、
表示するリストから選択

数量	単位	単価	金額
...	50 本	88	4,400
...	25 本		
...	100 個		

[数量] 欄に発注数を入力します。

金額管理を有効にしている場合は、[単価] 欄に単価を入力します。



[入庫予定日] 欄に入庫予定日を入力します。

商品ごとに入庫予定日が違う場合は、商品の [入庫予定日] 欄に入力します。

必要な場合は担当者を入力します。

発注計画書と明細の
入庫予定日を入力



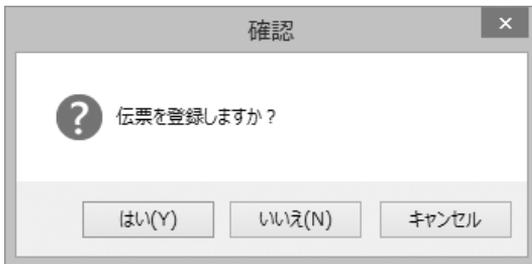
明細に関する覚書などの参考情報は、[備考] 欄に入力します。発注計画書に関する覚書などの参考情報は、[摘要] 欄に入力します。

[備考]・[摘要]を
入力



発注する商品の入力後、操作ボタンの「閉じる」ボタンをクリックします。

[閉じる]ボタンをクリック



「確認」画面を表示します。

発注計画書を保存する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

発注計画書を保存しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。「在庫確認」画面に戻ります。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、「発注計画書」画面に戻ります。

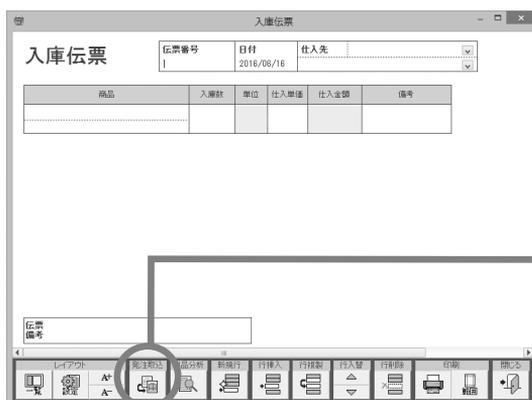
◆ 発注計画書から入庫処理をするには

発注した商品が入庫した場合、発注計画書を取り込むことで入庫の処理ができます。発注計画書を確認しながら、入庫伝票を新規に作成せずに入庫処理ができるので、入庫伝票の入力を簡略化し、誤入力などを防止します。



発注計画書を取り込むには、「日常処理」タブ内の「入庫」アイコンをクリックします。

[入庫]アイコンをクリック



「入庫伝票」画面を表示します。

「発注取込」ボタンをクリックします。

[発注取込]ボタンをクリック

「発注取込」ボタンをクリックすると、「発注計画書の選択」画面を表示します。

発注計画書の一覧から、取り込む発注計画書をクリックして、選択します。

発注計画書は、検索条件を指定して絞り込むことができます。

発注計画書を選択後、[次へ] ボタンをクリックします。

「発注計画書から入庫伝票へ取込」画面を表示します。

「入庫日」欄に入庫日を入力します。

入庫処理を行う商品の「取込」ボタンをクリックします。自動的に入庫伝票に単価や単位を取り込み、発注計画書の「入庫済」欄にチェックが付きます。

保管場所台帳を有効にしている場合は、入庫伝票の「保管場所コード」欄の「▼」ボタンをクリックし、入庫する保管場所を選択します。

ロット管理を有効にしている場合は、ロット番号を入力します。すでに登録しているロット番号を選択するには、「ロット」欄の「▼」ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。

■ 発注書取込み画面の操作

項目/ボタン	説明
入庫待ちをすべて取込	[入庫待ちをすべて取込]ボタンをクリックすると、発注計画書にある入庫待ちの商品を、すべて取り込みます。自動的に入庫伝票に単価や単位を取り込み、発注計画書の「入庫済」欄にチェックが付きます。全数入庫しない商品がある場合は、「入庫済」欄にチェックをクリックして解除し、実際の入庫数を入力します。
ロット入力	ロット機能を有効にしている場合に表示します。 [ロット入力]ボタンをクリックすると、既定のロット番号を自動的に入力します。ロット番号が無い商品は、「(指定なし)」(初期設定のロット名)を入力します。
保管場所入力	保管場所台帳を有効にしている場合に表示します。 [保管場所入力]ボタンをクリックすると、既定の保管場所を自動的に入力します。
入庫待ちが存在する場合でも、この発注計画書を入庫済にする	チェックを付けたら、入庫待ちの商品があっても発注計画書の「入庫済」欄にチェックが自動的に付きます。



明細に関する覚書などの参考情報は、発注計画書または入庫伝票の「備考」欄に入力します。

入力後、「取込」ボタンをクリックします。

発注書の取り込みをやり直す場合は、「戻る」ボタンをクリックします。確認画面を表示し、「OK」ボタンをクリックすると、「発注計画書の選択」画面に戻ります。



発注計画書の取り込み後、「発注書取込」画面で選択した商品を入力した入庫伝票を表示します。

伝票番号などを入力します。

入庫伝票による入庫処理については、68ページの「商品の入庫を入力する」をご覧ください。

■ 発注した商品で未納(不足)があった場合

分納などで発注数に対し未納分があった場合は、発注計画書を取り込み後、該当する商品の取り込む数量を変更します。

「入庫待ちをすべて取込」ボタンをクリックした後、該当する商品の「入庫済」欄をクリックしてチェックを外します。入庫伝票の「入庫数」欄で、実際に入庫する数量を入力します。明細に関する覚書などの参考情報は、「備考」欄に入力します。

¥278	<input checked="" type="checkbox"/>	取込	25	本	278	
¥72	6/16 50個未納	<input type="checkbox"/>	50	個	72	分納 6/18 入庫予定

■ 入庫伝票に取り込んだ発注計画書について



入庫伝票で取り込み、入庫済みとなった発注計画書は、「発注計画書」画面で確認できます。また一部の商品のみ入庫済みとなっている場合も、「発注計画書」画面で確認ができます。

すべての商品が納品済みになっている場合は、発注計画書の「入庫済」欄と明細行の「入庫済」欄にチェックが付きま。

未納などで一部の商品に入庫が無い場合は、該当する商品には、チェックが付きません。

「入庫済」欄にチェックが付く

◆ 作成した発注計画書を一覧で確認する



作成した発注計画書を確認するには、画面にある〔計画書一覧〕をクリックします。

作成した発注計画書を一覧で表示します。
表示する発注計画書は検索条件で変更できます。

発注計画書の一覧を印刷するには、操作ボタンの〔印刷〕ボタンをクリックします。印刷については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

◆ 在庫待ちの商品の合計数を確認するには



現在発注している商品の、在庫待ちの合計数と在庫予定日を確認するには、画面の〔在庫待ち〕をクリックします。

「在庫待ち」画面では、新規に発注計画書を作成できません。
発注計画書の作成については、126 ページの「発注計画書を作成する」をご覧ください。

◆ 発注計画書を印刷する



発注計画書を印刷するには、操作ボタンの〔印刷〕ボタンをクリックします。

印刷操作については、139 ページの「印刷の操作」をご覧ください。

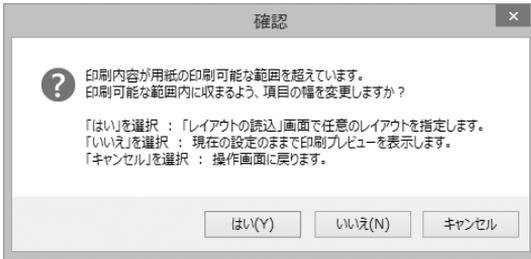
〔印刷〕ボタンをクリック

4-14 印刷の操作

画面に表示している一覧や入庫伝票などの伝票、発注計画書の印刷や帳票などの印刷ができます。



各画面で操作ボタンに「印刷」ボタンを表示している場合、印刷機能が使用できます。
※画面例は「在庫確認」画面です。



印刷する項目が用紙の印刷範囲を超えている場合、「確認」画面を表示します。

「はい」ボタンをクリックすると、「レイアウトの読込」画面を表示します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、現在表示している画面の状態のままで、「印刷プレビュー」画面を表示します。この状態で印刷を行うと、画面上に表示されたままのイメージを印刷するので、用紙に収まらずに印刷する場合があります。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、もとの操作画面に戻ります。



「レイアウトの読込」画面に設定した画面のレイアウトの一覧を表示します。

「編集可」欄に「O」が無いレイアウトは初期設定のレイアウトです。

一覧から設定したレイアウトの「読込」ボタンをクリックします。

レイアウトを設定していない場合は、初期設定のレイアウトの「読込」ボタンをクリックします。

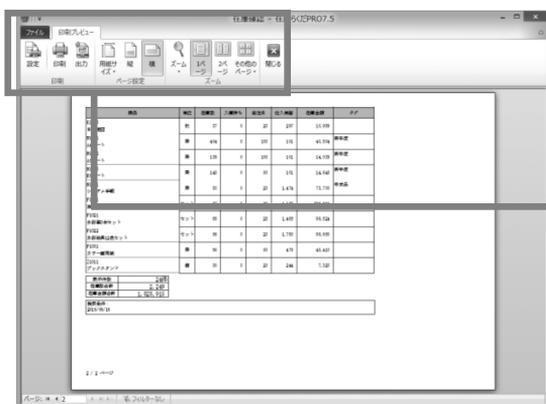
画面のレイアウトについては、51ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。



「印刷プレビュー」画面を表示します。

実際に印刷する内容のイメージを表示します。印刷内容を確認し、[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

「印刷プレビュー」画面の詳しい操作画については、141ページの「印刷プレビューを操作する」をご覧ください。余白や印刷位置の調整などについては、143ページの「余白/印刷位置を調整し印刷を実行する」をご覧ください。



印刷設定を設定後、印刷を実行します。

「印刷プレビュー」画面左上の [印刷] ボタンをクリックします。



[印刷]ボタンをクリック



[印刷] ボタンをクリックすると、「印刷」画面を表示します。

プリンターを選択し、印刷を実行します。[プリンター] で印刷に使用するプリンターを選択し、[印刷部数]などを指定します。

[OK] ボタンをクリックすると印刷を実行します。

◆ 印刷範囲を設定する

設定している用紙の印刷範囲を表示できます。印刷範囲(点線)を基準にレイアウトや用紙サイズを調整します。



「在庫確認」画面や「入出庫帳」画面などの画面では、メニューバーの [操作] タブにある [印刷範囲表示] をクリックすると、現在設定している用紙の印刷範囲(点線)を、画面に表示します。印刷範囲を非表示にするには、もう一度 [印刷範囲表示] ボタンをクリックします。



各「伝票」画面では、操作ボタンの [範囲] ボタンをクリックすると、現在設定している用紙の印刷範囲(点線)を表示します。印刷範囲を非表示にするには、もう一度 [範囲] ボタンをクリックします。



画面に印刷範囲（点線）を表示します。

用紙の印刷範囲

レイアウト設定で、用紙の横幅に入るよう画面のレイアウトを変更します。レイアウト設定については、51ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。

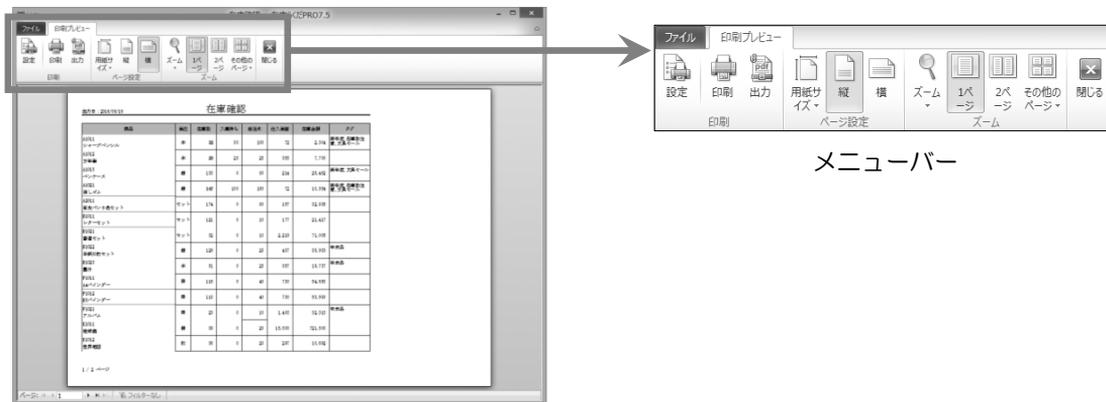
Memo

選択した用紙によって、表示している項目の印字が収まらない場合があります。その場合は印刷の設定で用紙を変更や余白の調整を行うか、レイアウトの設定で画面のレイアウトを変更してください。

レイアウトの設定については、51ページの「画面レイアウトの設定操作」をご覧ください。

◆ 印刷プレビューを操作する

各種の伝票や台帳などの印刷を行う場合、印刷内容を確認するための「印刷プレビュー」画面を表示します。また、メニューバーの[印刷プレビュー]から、印刷に関連したさまざまな機能呼び出せます。



メニューバー

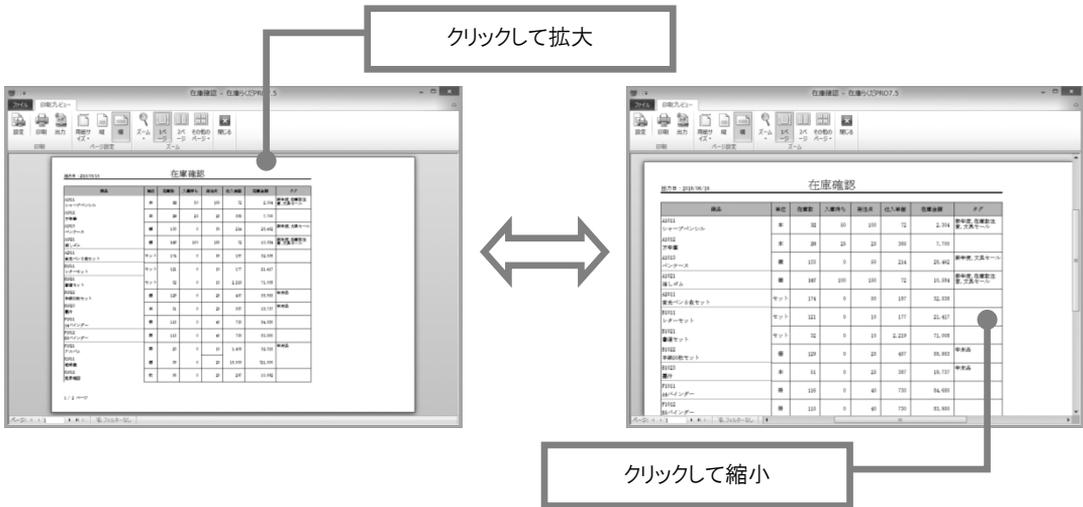


「印刷プレビュー」画面を表示するには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーのインストール方法については、お使いのプリンターや、Windowsのマニュアルなどをご覧ください。

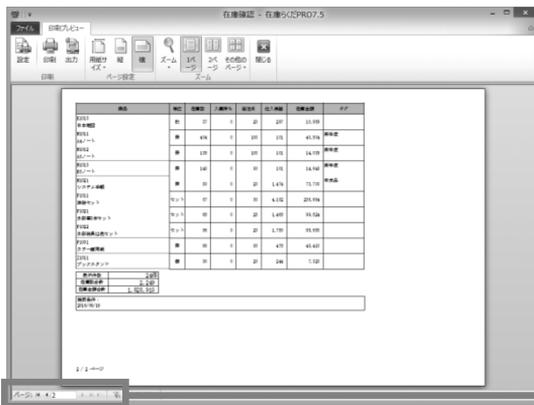
■「印刷プレビュー」画面の拡大と縮小

「印刷プレビュー」画面をクリックするたびに、拡大/縮小します。

また、メニューバーの[印刷プレビュー]内にある[ズーム]ボタンをクリックするたびに、拡大/縮小します。さらに[ズーム]ボタン下の[▼]ボタンをクリックすると、画像サイズ(%)を選択できます。

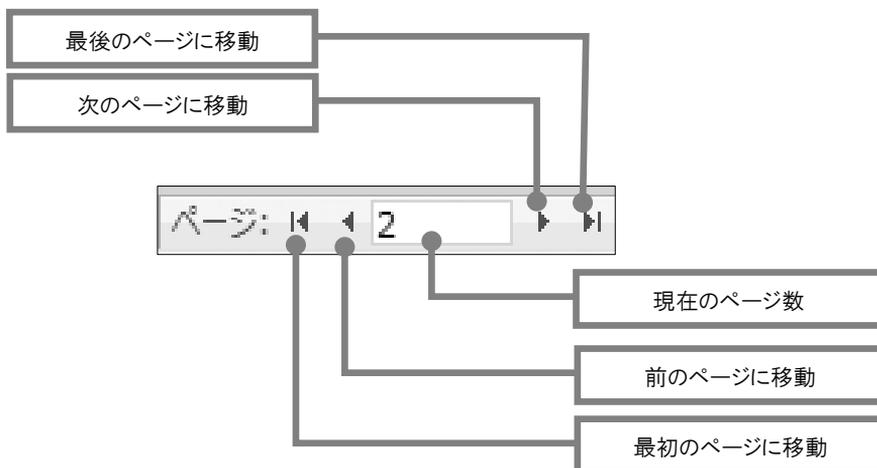


■「印刷プレビュー」画面のページ移動



「印刷プレビュー」画面のページ移動ボタンを用いて、ページ移動を行います。

ページ移動ボタン



■ メニューバー[印刷プレビュー]



「印刷プレビュー」画面左上のメニューバーに、[印刷プレビュー] を表示します。「印刷プレビュー」画面を操作するさまざまな機能呼び出せます。

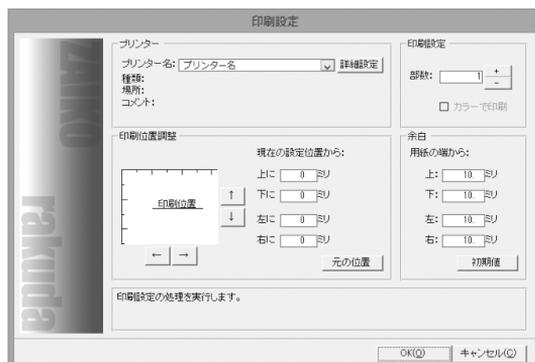
ボタン	説明
設定	「印刷設定」画面を表示し、余白の設定を行います。
印刷	「印刷」画面を表示します。「印刷」画面から印刷を実行できます。
出力	PDF 形式・XPS 形式でファイルに出力できます。「出力先の選択」画面を表示し、出力先と出力形式を選択します。(BSL 用紙などの専用帳票を利用する場合など、用紙の種類によっては表示しない場合があります)詳しくは、146 ページの「PDF ファイルとして出力する」をご覧ください。
用紙サイズ	プリンターに設定している用紙サイズを選択できます。
縦/横	用紙の向きを縦方向か横方向に選択できます。
ズーム	クリックするたびに、「印刷プレビュー」画面を拡大/縮小します。[▼]ボタンをクリックすると、画像サイズ(%)を選択できます。
1 ページ	「印刷プレビュー」画面を 1 ページずつ表示します。
2 ページ	「印刷プレビュー」画面を 2 ページずつ表示します。
その他のページ	「印刷プレビュー」画面を 4 ページ/8 ページ/12 ページから選択して表示します。
閉じる	「印刷プレビュー」画面を閉じます。

◆ 余白/印刷位置を調整し印刷を実行する

印刷時の余白や印刷位置の調整は、「印刷プレビュー」画面のメニューバーの [印刷プレビュー] にある [設定] ボタンから行います。



[設定] ボタンをクリック



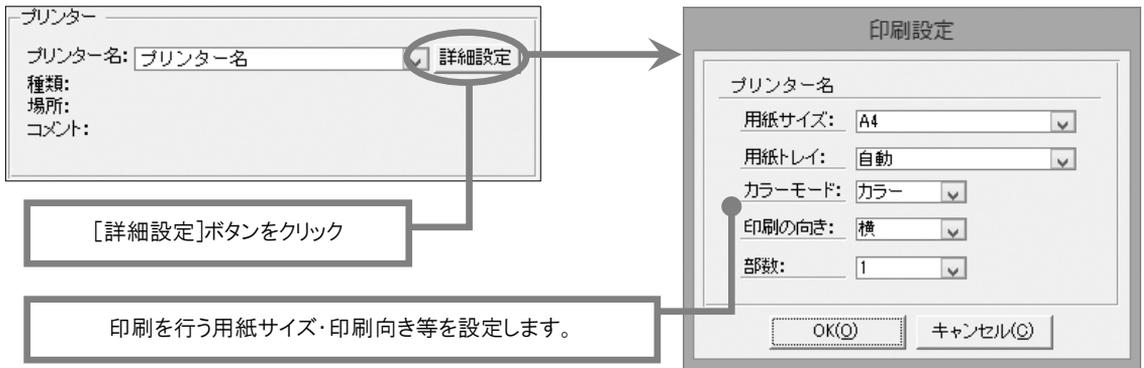
[設定] ボタンをクリックすると、「印刷設定」画面を表示します。

「印刷設定」画面では、[プリンター]・[印刷設定]・[印刷位置調整]・[余白] の設定ができます。

各部分についての説明は、続く部分をご覧ください。

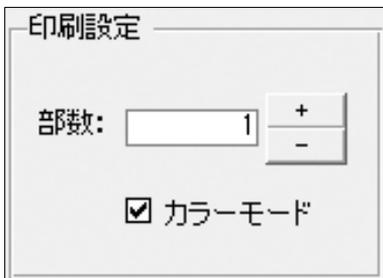
■ プリンター

印刷に使用するプリンターの設定ができます。コンピューターに設定したプリンターを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックすると、用紙サイズから部数までさらに詳細な情報を設定できます。



設定は、印刷帳票ごとに保存します。

■ 印刷設定



印刷部数を設定できます。

カラー印刷を行う場合は、[カラーモード] にチェックを付けます。伝票一覧や集計表など、カラー印刷に対応していない用紙の場合はグレーで表示します。

■ 印刷位置調整



詳細な印刷位置の調整できます。

※ここで変更した値は、[余白] 欄に反映します。

各項目の入力・変更方法については下の表を参照してください。

項目/ボタン	説明
↑	1回クリックするごとに、0.5ミリずつ文字の印刷位置を上にはずらします。(用紙の上の余白が0.5ミリずつ狭くなります)
上に 0 ミリ	印刷位置が上に何ミリずれたか表示します。直接入力することもでき、上下余白の数値も自動的に連動します。(0.1ミリ単位での入力が可能です)

項目/ボタン	説明
	1回クリックするごとに、0.5ミリずつ文字の印刷位置を下にずらします。 (用紙の下の余白が0.5ミリずつ狭くなります)
下に <input type="text" value="0"/> ミリ	印刷位置が下に何ミリずれたか表示します。直接入力することもでき、上下余白の数値も自動的に連動します。(0.1ミリ単位での入力が可能です)
	1回クリックするごとに、0.5ミリずつ文字の印刷位置を左にずらします。 (用紙の左の余白が0.5ミリずつ狭くなります)
左に <input type="text" value="0"/> ミリ	印刷位置が左に何ミリずれたか表示します。直接入力することもでき、左右余白の数値も自動的に連動します。(0.1ミリ単位での入力が可能です)
	1回クリックするごとに、0.5ミリずつ文字の印刷位置を右にずらします。 (用紙の右の余白が0.5ミリずつ狭くなります)
右に <input type="text" value="0"/> ミリ	印刷位置が右に何ミリずれたか表示します。直接入力することもでき、左右余白の数値も自動的に連動します。(0.1ミリ単位での入力が可能です)
<input type="button" value="元の位置"/>	[元の位置]ボタンをクリックすると、「印刷設定」画面を開いたときの設定に戻ります。

■ 余白

余白

用紙の端から:

上: ミリ

下: ミリ

左: ミリ

右: ミリ

印刷余白の設定を行います。直接余白の値を入力できます。
出荷時の余白状態に戻すには、[初期値]ボタンをクリックします。

[初期値]ボタンをクリック



設定は、印刷帳票ごとに保存します。

◆ PDFファイルとして出力する

本製品では伝票、集計表、台帳などをPDF形式やXPS形式のファイルとして出力できます。ファイルとして出力することによって、メールに添付して送付するなどの操作ができます。



PDF形式のファイルとして出力できる用紙は、普通紙に印刷可能な用紙のみとなります。BSL専用紙およびHISAGO用紙は印刷データに罫線を含まないため、PDF形式のファイルには出力できません。



PDF形式のファイルとして出力するには、「印刷プレビュー」画面で、「出力」ボタンをクリックします。

[出力]ボタンをクリック



「出力先の選択」画面を表示します。ファイルの出力先となるフォルダーと、出力形式（PDF・XPS）の選択を行います。必要に応じてファイル名を変更してください。

選択が終わったら、[OK]ボタンをクリックして出力を実行します。

[出力後にファイルを開く]にチェックをつけておくと、出力後、自動的に出力されたファイルを表示します。

5章

台帳の管理

5-1	商品台帳の管理.....	148
5-2	相手先台帳の管理.....	154
5-3	保管場所台帳の管理.....	158
5-4	タグの管理.....	162
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する.....	192
8-2	索引.....	194

5-1 商品台帳の管理

「商品台帳」画面では、新規商品の登録、商品の削除、各商品の情報を編集することができます。



商品台帳を開くには、メインメニューの [特別処理] タブ内にある [商品台帳] アイコンをクリックします。

[商品台帳]アイコンをクリック

◆ 商品の情報を新規に登録する



新規に商品を登録するには、操作ボタンの [新規行] ボタンをクリックします。

[新規行]ボタンをクリック



[詳細] ボタンをクリックすると、「商品の編集」画面を表示します。

商品に関する情報を入力します。

「商品台帳」画面の新規行に直接入力することもできます。入力後、商品の詳細について入力するには、「商品の編集」画面で入力してください。

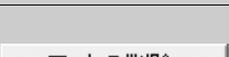
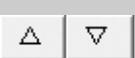
項目	説明
商品コード	商品コードを使用している場合に入力します。(空欄可) 商品コードは、最大 15 桁の半角英数字を入力できます。 商品コードをバーコードで管理する場合、5～15 桁を推奨します。バーコードの印刷については 99 ページをご覧ください。
商品名	商品名を入力します。 商品名は、全角 50 文字まで入力できます。(全角 25 文字以内を推奨)
商品分類名	商品分類名を使用している場合に入力します。(空欄可) 商品分類名は、全角 20 文字まで入力できます。 直接入力するか、[▼]ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。リストに登録が無い商品分類名を入力すると、自動的に商品分類名台帳に登録します。
単位	商品の単位を入力します。(空欄可) 単位は、全角 3 文字まで入力できます。 直接入力するか、[▼]ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。リストに登録が無い単位を入力すると、自動的に単位台帳に登録します。
標準発注先	相手先台帳を有効にしている場合は、標準発注先を入力します。(空欄可) 直接入力するか、[▼]ボタンをクリックし、表示するリストから選択します。リストに登録が無い標準発注先を入力すると、登録の確認メッセージを表示します。登録する場合は「相手先の編集」画面を表示します。「相手先の編集」画面については、154 ページの「相手先台帳の管理」をご覧ください。
JAN コード	商品の JAN コードを入力します。(空欄可) 半角数字で入力します。
リードタイム	商品を発注してから納品までの、目やすとなる日数を入力します。(空欄可) 安全在庫量を考慮した日数を入力することもできます。
取扱中止日	取り扱いを中止した日付を入力します。
棚卸対象	棚卸の対象にする場合は、チェックを付けます。
発注量	発注計画を有効にしている場合は、商品を発注する数量を設定します。(空欄可) 発注する際に自動的に数量を入力します。
発注点	発注計画を有効にしている場合は、発注するかどうかを決定するための基準となる数量を入力します。(空欄可) 在庫数が発注点以下になった場合に、在庫切れの警告を表示します。
備考	商品に関する備考を入力します。(空欄可)

ロット管理を有効にしている場合は、[ロット] タブをクリックして、ロットの一覧の画面を表示します。

ロット番号を追加する場合は、[ロットの追加] ボタンをクリックします。

すでに登録したロット番号を編集する場合は、直接編集するか、編集する行をクリックして [ロットの編集] ボタンをクリックすると、[ロットの編集] 画面を表示します。

項目	説明
既定	既定となるロット番号にチェックを付けます。 ロット番号が無い場合は、自動で「(指定なし)」が既定になります。既定で入力する文字は設定できません。詳しくは、167 ページの「自社設定」をご覧ください。

項目	説明
ロット番号	ロット番号を入力、表示します。 ロット番号は、最大 30 桁の半角英数字を入力できます。(15 桁以内を推奨)
棚卸	棚卸の対象にする場合は、チェックを付けます。ロット番号ごとにチェックをします。
取扱中止日	ロット番号ごとに取り扱いを中止した日付を入力します。 日付を入力すると、自動的にチェックが付きます。
備考	ロットに関する覚書などの参考情報を入力します。
	[ロットの追加] ボタンをクリックすると、新規の「ロットの編集」画面を表示します。各項目を登録して[OK]ボタンをクリックすると、ロット番号が追加登録されます。
	登録されているロット番号を選択し、[ロットの編集]ボタンをクリックすると、「ロットの編集」画面を表示し、ロットの編集ができます。[OK]ボタンをクリックすると変更情報を更新します。
	削除するロット番号を選択し、[ロットの削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージの後、ロット番号をリストから削除します。ただし在庫数のあるロットは、[ロットの削除]ボタンをクリックしても削除できません。 ※「(指定なし)」は削除できません。
	[△][▽]ボタンをクリックすると、リストで表示するロット番号の表示行を上下に入れ替えます。ロット番号入力時に表示する順番は、この画面上に登録されている順番と同じになります。



タグ機能を有効にしている場合は、[タグ] タブをクリックすると、設定したタグを表示します。

※この画面では、タグの編集はできません。タグの編集については、162 ページの「タグの管理」をご覧ください。

◆ 商品の情報を編集する



商品の情報を編集するには、編集する商品の「詳細」ボタンをクリックします。

※「商品台帳」画面で、直接編集することもできます。

[詳細]ボタンをクリック

◆ 商品の順番を入れ替える



商品の順番を変更するには、入れ替える商品をクリックし、操作ボタンの「[行入替]」ボタンをクリックします。
 [▲] ボタンをクリックすると、上の行と入れ替えます。
 [▼] ボタンをクリックすると、下の行と入れ替えます。

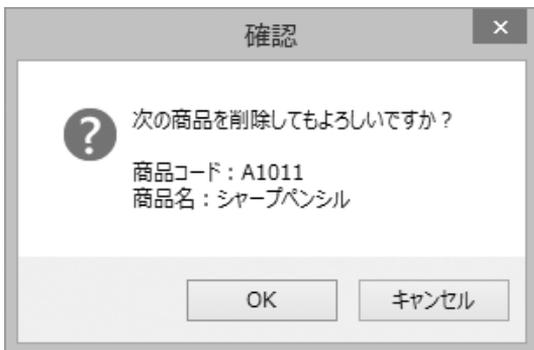


商品の並べ替えは、メニューバーでも可能です。並べ替えるには「操作」タブから「[並べ替え]」をクリックして、並べ替える操作を選択します。
 メニューバーからの並べ替えは、商品コード、商品名、商品分類コード、商品分類名を昇順または降順に一括で並べ替えます。

◆ 台帳から商品を削除する



登録した商品を台帳から削除するには、削除する商品をクリックし、操作ボタンにある「[商品削除]」ボタンをクリックします。



確認画面を表示します。

削除する商品を確認します。
 削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。
 削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



入出庫履歴がある商品は削除できません。
 入出庫履歴がある商品を削除する場合は、商品台帳で該当商品を取扱中止にして削除します。取扱中止にするには、148 ページの「商品の情報を新規に登録する」をご覧ください。

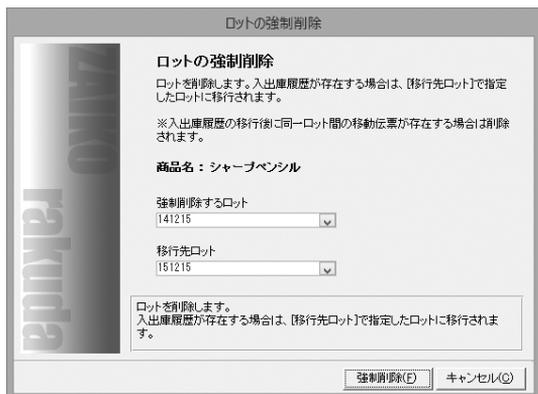
■ 在庫数のあるロットを強制削除する



ロット機能を有効にしている場合に、在庫数のあるロットを強制削除できます。

一度、ロットの強制削除を行うと、もとに戻せません。強制削除を行う場合は、十分に確認をしてから行ってください。

ロットを強制削除するには、メニューバーから [操作] - [ロットの強制削除] を選択すると、「ロットの強制削除」画面を表示します。



「ロットの強制削除」画面では、強制削除したいロット番号を [強制削除するロット] 欄から選択し、[移行先ロット] 欄から移行するロットを選択します。

[強制削除] ボタンをクリックすると、ロットを強制削除します。

既定に設定しているロット番号は [強制削除するロット] 欄から選択できません。削除する場合は、あらかじめ既定を変更してください。

◆ 商品分類台帳を編集する



商品分類台帳を編集するには、操作ボタンにある [商品分類] ボタンをクリックします。



「商品分類台帳」画面を表示します。

登録した商品分類を編集するには、編集する項目をクリックして編集します。

新しい商品分類を登録するには、[新規行] ボタンをクリックし、[商品分類コード] 欄と [商品分類名] 欄に入力します。

表示の順番を変更するには、[行入替] ボタンをクリックし、並び順を変更します。

商品分類を削除するには、[行削除] ボタンをクリックします。

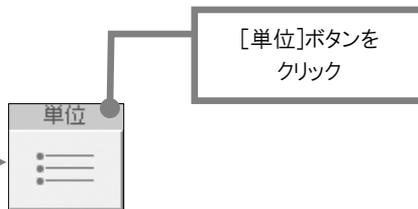
削除する商品分類が商品に登録されている場合は、確認画面を表示します。

[OK] ボタンをクリックすると、商品分類を削除し、商品の [商品分類] 欄が空欄になります。

◆ 単位台帳を編集する



単位台帳を編集するには、操作ボタンにある [単位] ボタンをクリックします。



「単位台帳」画面を表示します。

登録した単位を編集するには、編集する項目をクリックして編集します。

新しい単位を登録するには、[新規行] ボタンをクリックし、[単位] 欄に入力します。

表示の順番を変更するには、[行入替] ボタンをクリックし、並び順を変更します。

単位を削除するには、[行削除] ボタンをクリックします。

削除する単位が商品に登録されている場合は、確認画面を表示します。

[OK] ボタンをクリックすると、単位を削除し、商品の [単位] 欄が空欄になります。

5-2 相手先台帳の管理

「相手先台帳」画面では、新規相手先の登録、相手先の削除、各相手先の情報を編集することができます。相手先を登録するには、相手先台帳を有効にします。相手先台帳を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。



相手先台帳を開くには、メインメニューの [特別処理] タブ内にある [相手先台帳] アイコンをクリックします。

[相手先台帳]アイコンをクリック

◆ 相手先の情報を新規に登録する



相手先を新規に登録するには、操作ボタンの [新規行] ボタンをクリックします。

[新規行]ボタンをクリック



相手先の編集

相手先コード

フリガナ

相手先名

担当者

郵便番号

住所1

住所2

電話番号

FAX番号

相手先種別 仕入先 出庫先

取引中止

備考

相手先コードを入力します。

OK(O) キャンセル(O)

[詳細] ボタンをクリックすると、「相手先の編集」画面を表示します。

相手先に関する情報を入力します。

「相手先台帳」画面の新規行に直接入力することもできます。入力後、相手先の詳細について入力するには、「相手先の編集」画面で入力してください。

項目	説明
相手先コード	相手先コードを使用している場合に入力します。(空欄可) 相手先コードは、最大 15 桁の半角英数字を入力できます。
フリガナ 相手先名	相手先の名称を入力します。 相手先名は、全角 50 文字まで入力できます。(全角 25 文字以内を推奨) [相手先名]欄に入力すると、自動的に[フリガナ]欄にフリガナを入力します。(空欄可) 正しくフリガナを表示していない場合は手動で編集します。
担当者	担当者名を入力します。(空欄可)
郵便番号	相手先の郵便番号を入力します。(空欄可) 郵便番号を入力すると、[住所 1]欄に該当する住所を自動的に入力します。
住所 1 住所 2	相手先の住所を入力します。(空欄可) [住所 1]欄に住所を、[住所 2]欄に建物名等を登録すると便利です。
電話番号	相手先の電話番号を入力します。(空欄可)
FAX 番号	相手先の FAX 番号を入力します。(空欄可)
相手先種別	相手先が仕入先か、出庫先かを選択します。 クリックしてチェックを付けます。入庫・出庫ともある場合は、両方にチェックを付けます。チェックは付けなくても構いません。
取引中止	取引を中止した場合にクリックしてチェックを付けます。チェックを外すには再度、チェック欄をクリックします。検索条件などで使用します。
備考	相手先に関する備考を入力します。(空欄可)

◆ 相手先の情報を編集する



相手先の情報を編集するには、編集する相手先の [詳細] ボタンをクリックします。

※「相手先台帳」画面で直接編集することもできます。

◆ 新規行を挿入する



新規行を挿入するには、挿入する行の相手先をクリックし、操作ボタンの [行挿入] ボタンをクリックします。
選択した相手先の前の行に新規行を作成します。

◆ 相手先を複製する



相手先を複製するには、複製する相手先をクリックし、操作ボタンの「行複製」ボタンをクリックします。選択した相手先の後の行に複製した行を挿入します。

[行複製]ボタンをクリック



◆ 相手先の順番を入れ替える



相手先の順番を変更するには、入れ替える相手先をクリックし、操作ボタンの「行入替」ボタンをクリックします。

[▲] ボタンをクリックすると、上の行と入れ替えます。
[▼] ボタンをクリックすると、下の行と入れ替えます。

[行入替]ボタンをクリック



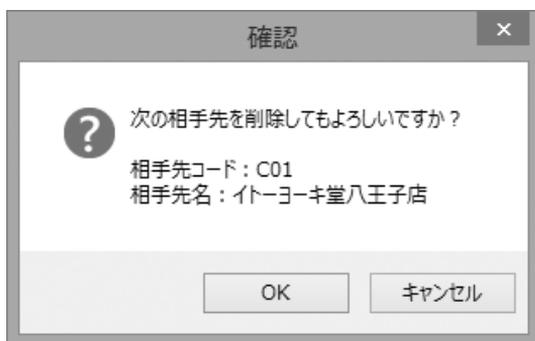
相手先の並べ替えは、メニューバーでも可能です。並べ替えるには「操作」タブから「並べ替え」をクリックして、並べ替える操作を選択します。

メニューバーからの並べ替えは、相手先コード、相手先名を昇順または降順に一括で並べ替えます。

◆ 台帳から相手先を削除する



登録した相手先を台帳から削除するには、削除する相手先を選択して、操作ボタンの「行削除」ボタンをクリックします。



確認画面を表示します。

削除する相手先を確認します。
削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。
削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



入出庫の履歴がある相手先は削除できません。入出庫履歴から対象の相手先をすべて削除してから、相手先を削除してください。

5-3 保管場所台帳の管理

複数の保管場所を管理する場合に使用します。保管場所の新規登録、保管場所の削除、保管場所の編集ができます。保管場所を管理するには、保管場所台帳を有効にします。保管場所台帳を有効にするには、167 ページの「自社設定」をご覧ください。



保管場所台帳を開くには、メインメニューの[特別処理]タブ内にある[保管場所台帳]アイコンをクリックします。

[保管場所台帳]アイコンをクリック

◆ 保管場所の情報を新規に登録する



新規に保管場所を登録するには、操作ボタンの[新規行]ボタンをクリックします。

[新規行]ボタンをクリック



[詳細] ボタンをクリックすると、「保管場所の編集」画面を表示します。

保管場所に関する情報を入力します。

「保管場所台帳」画面の新規行に直接入力することもできます。入力後、保管場所の詳細について入力するには、「保管場所の編集」画面で入力してください。

項目	説明
保管場所コード	保管場所コードを使用している場合に入力します。(空欄可) 保管場所コードは、最大 15 桁の半角英数字を入力できます。
フリガナ 保管場所名	保管場所の名称を入力します。 保管場所名は、全角 40 文字まで入力できます。(全角 20 文字以内を推奨) [保管場所名]欄に入力すると、自動的に[フリガナ]欄に入力されます。[フリガナ]欄は編集できますので、正しくフリガナが表示されていない場合は、手動で編集します。
☆ (お気に入り)	お気に入り登録すると、検索する際にお気に入りだけを抽出することができます。 よく使う保管場所に、お気に入り登録すると便利です。
備考	保管場所に関する備考を入力します。(空欄可)

◆ 保管場所の情報を編集する



保管場所の情報を編集するには、編集する保管場所の[詳細] ボタンをクリックします。

[詳細]ボタンをクリック

※「保管場所台帳」画面で直接編集することもできます。

◆ 新規行を挿入する



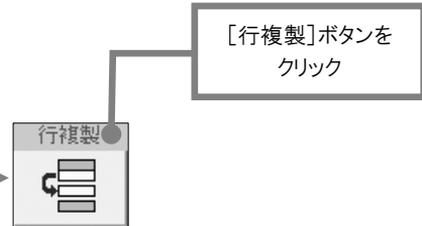
新規行を挿入するには、挿入する行の保管場所をクリックし、操作ボタンの[行挿入] ボタンをクリックします。
選択した保管場所の前の行に新規行を作成します。

[行挿入]ボタンを
クリック

◆ 保管場所を複製する



保管場所を複製するには、複製する保管場所をクリックし、操作ボタンの [行複製] ボタンをクリックします。選択した保管場所の後の行に複製した行を挿入します。

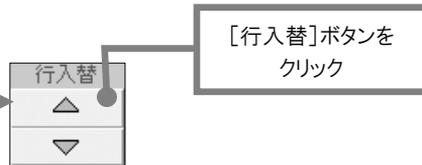


◆ 保管場所の順番を入れ替える



保管場所の順番を変更するには、入れ替える保管場所をクリックし、操作ボタンの [行入替] ボタンをクリックします。

- [▲] ボタンをクリックすると、上の行と入れ替えます。
- [▼] ボタンをクリックすると、下の行と入れ替えます。



保管場所の並べ替えは、メニューバーでも可能です。並べ替えるには「操作」タブから [並べ替え] をクリックして、並べ替える操作を選択します。メニューバーからの並べ替えは、保管場所コード、保管場所名を昇順または降順に一括で並べ替えます。

◆ 台帳から保管場所を削除する



登録した保管場所を台帳から削除するには、削除する保管場所をクリックし、操作ボタンの [行削除] ボタンをクリックします。



5-4 タグの管理

「タグ一覧」画面で、新規のタグの追加、登録したタグのタグ名の編集や削除などができます。タグを使用するには、タグ機能を有効にします。タグ機能を有効にするには、167ページの「自社設定」をご覧ください。

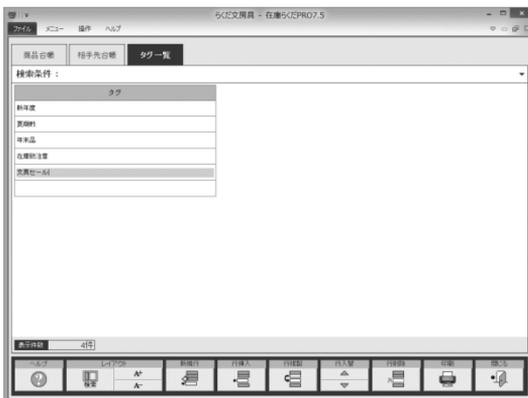


タグの一覧を開くには、メインメニューの[特別処理]タブ内にある[タグ一覧]アイコンをクリックします。

◆ タグを新規に登録する

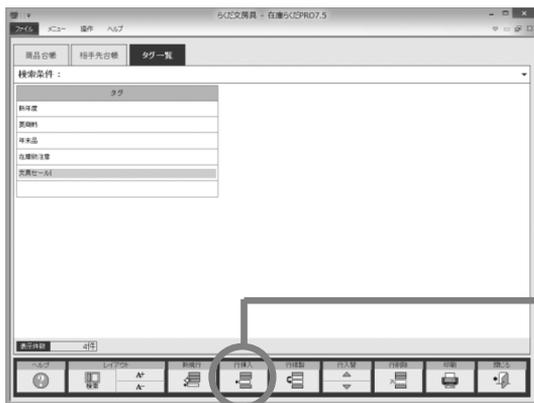


新規にタグを登録するには、操作ボタンの[新規行]ボタンをクリックします。



新規行にカーソルが移動するので、新規に登録するタグ名を入力します。

◆ 新規行を挿入する



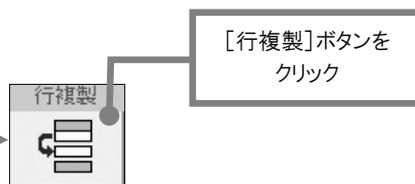
新規行を挿入するには、挿入する行のタグをクリックし、操作ボタンの「[行挿入]」ボタンをクリックします。選択したタグの前の行に新規行を作成します。



◆ タグを複製する



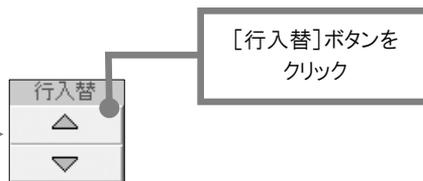
タグを複製するには、複製するタグをクリックし、操作ボタンの「[行複製]」ボタンをクリックします。選択したタグの後の行に複製した行を挿入します。



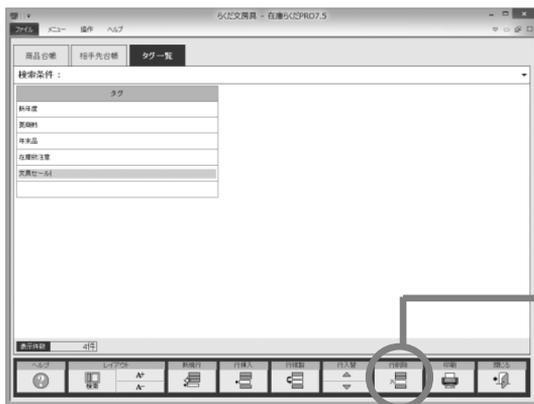
◆ タグの順番を入れ替える



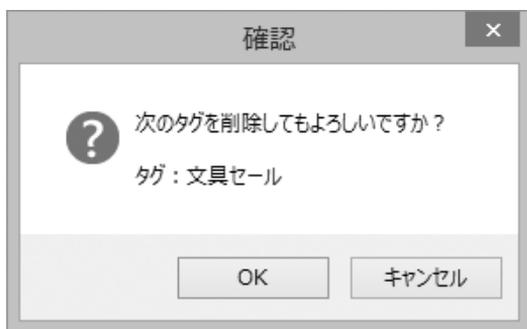
タグの順番を変更するには、入れ替えるタグをクリックし、操作ボタンの「[行入替]」ボタンをクリックします。
[▲] ボタンをクリックすると、上の行と入れ替えます。
[▼] ボタンをクリックすると、下の行と入れ替えます。



◆ 一覧からタグを削除する

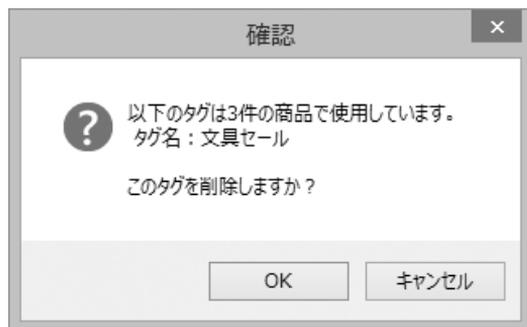


登録したタグを削除するには、削除するタグをクリックし、操作ボタンの「行削除」ボタンをクリックします。



確認画面を表示します。
削除するタグを確認します。
削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。
削除しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

タグの削除を行うと、タグを設定した全商品からタグの設定を解除します。



※タグが商品に使用されている場合でも、タグの削除ができます。タグを削除するとともに戻せません。削除を行う際は、十分に確認をしてから行ってください。（画面に、削除するタグを使用している商品の件数を表示します）

6章

設定

6-1 「設定」画面の操作.....	166
6-2 自社設定.....	167
6-3 データファイル.....	168
6-4 パスワード.....	171
6-5 在庫切れ警告.....	172
6-6 入力設定・随時マスタ登録.....	173
6-7 全般設定.....	174
6-8 印刷設定・印刷調整・その他の設定.....	175
6-9 データ保守.....	177
6-10 登録・サポート.....	178
■付録	
8-1 サポートサービスを利用する.....	192
8-2 索引.....	194

6-1 「設定」画面の操作

本製品は、「設定」画面において入力画面の動作や印刷方法など、さまざまな設定を細かく指定できます。またデータファイルのバックアップや復元などのメンテナンスを行う機能などがあります。必要に応じて下記の設定機能を使用して操作してください。



「設定」画面を開くには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックします。

[設定]アイコンを
クリック

■「設定」画面

はじめに左側のリストから、設定項目を選択します。
設定項目を選択すると、右の設定内容が切り替わります。



設定内容を指定します。左側のリストで選択した設定項目に応じて、内容が切り替わります。

右の各設定内容にマウスのカーソルを移動すると、設定内容の説明を表示します。設定内容を指定する際の参考にできます。

最後に[OK]ボタンをクリックすると、設定内容を反映します。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定内容を反映せずにメインメニューに戻ります。

6-2 自社設定

「自社設定」では、自社名や使用する機能の有効・無効の設定を行います。

項目	説明
自社情報	<p>自社名や備考を設定します。 ここで登録した名称が、画面や伝票に表示・印刷されます。</p> <p>[備考]ボタンをクリックして備考を設定すると、データファイルの切り替え操作時に表示されます。例えばデータファイルの分離を行った日付など、データファイルの判別に役立つ情報を入力しておくと便利です。</p>
	<p>[タグ機能を有効にする]にチェックを付けると、商品にタグ付けができるようになります。</p> <p>[メニューに「導入」を表示する]にチェックを付けると、メインメニューに[導入]タブを表示します。</p> <p>[金額管理を有効にする]にチェックを付けると、在庫金額(棚卸資産)の管理や仕入時の単価の管理ができます。(最終仕入原価法)</p> <p>[保管場所台帳を有効にする]にチェックを付けると、商品を保管場所ごとに管理ができます。</p> <p>[相手先台帳を有効にする]にチェックを付けると、相手先の設定ができます。 [発注計画管理を有効にする]にチェックを付けると、発注計画書の作成などの発注管理ができます。発注管理の有効および無効は、[相手先台帳を有効にする]にチェックが付いている場合のみ設定できます。</p> <p>[ロット管理を有効にする]にチェックを付けると、ロット管理が有効になり、商品をロットで管理できます。 [既定のロット名番号]欄は、[ロット管理を有効にする]にチェックを付けると、入力できるようになります。商品でロットの指定が無い場合に、[既定のロット名番号]欄に入力した文字が自動で入力します。初期設定は「指定なし」です。</p>

6-3 データファイル

「データファイル」では、現在使用中のデータファイルの場所の表示や、新規データファイルの作成、データファイルの切り替え、バックアップと復元、データ出力などの設定を行います。

項目	説明
データファイル	[フォルダ名]には、現在使用しているデータファイルが存在するフォルダ名を表示します。
	[ファイル名]には、現在使用しているデータファイル名を表示します。全てのデータはこのファイルに随時自動的に保存します。別のデータファイルを開くには、[データファイルの切替]を選択します。
	[対象期間]には、現在使用しているデータファイルの対象期間を表示します。この期間内の日付の入出庫履歴や伝票を、入力・処理します。(「過去の古いデータを分離」の処理をした場合、対象期間は変更できません。)
データファイル変更	[新規のデータファイルを作成]では、新規にデータファイルを作成します。他の事業所などの在庫管理を行う場合は、新しくデータファイルを作成します。
	[データファイルの切替]では、分離した過去の古いデータファイルや他のデータファイルを開きます。
データファイル バックアップ	[データファイルのバックアップ]では、デスクトップなどに現在使用しているデータファイルをバックアップします。詳しくは、39 ページの「データファイルのバックアップを行う」をご覧ください。
	[バックアップファイルの復元]では、バックアップしたデータファイルを復元して使用できる状態にします。詳しくは、37 ページの「バックアップの復元」をご覧ください。
データファイル操作	[データ取込(インポート)]では、商品台帳や相手先台帳などを別の CSV ファイルで管理している場合に、それらの内容を「在庫らくだプロ7.5」の商品台帳や相手先台帳などに取り込みます。インポートについては、180 ページの「台帳と入出庫履歴を取り込む(インポート)」をご覧ください。
	[データ出力(エクスポート)]では、入力した各種の台帳を外部ファイルに出力し、表計算ソフトなど他のアプリケーションで扱えるようにします。エクスポートについては、187 ページの「データを別ファイルに出力する(エクスポート)」をご覧ください。
	[過去の古いデータを分離]では、指定した日付以前の過去の古い入出庫データを別のファイルに分離します。入出庫件数が極端に多く、動作が遅くなってきた場合などに実行します。 <u>分離したデータをもとに戻すことはできません</u> ので、十分に注意して操作を行ってください。詳しくは、169 ページの「過去の古いデータを分離する」をご覧ください。

◆ 過去の古いデータを分離する

入庫件数が極端に多くなり動作が遅くなってきた場合などに、入力されている入庫履歴を別ファイルに分離できます。

データの分離を行う日付以前の入庫履歴にもとづく在庫数は、分離日付の「期首入庫」として登録します。



データの分離を行うとデータをもとに戻すことはできません。分離を行う前に必ずデータのバックアップを行ってください。データのバックアップ方法については、39 ページの「データファイルのバックアップを行う」をご覧ください。

設定

データファイル

フォルダ名

ファイル名

対象期間 ~

データファイル変更

新規のデータファイルを作成 新規のデータファイルを作成します。

データファイルの切替 他のデータファイルを開きます。

データファイルのバックアップ

データファイルのバックアップ データファイルのバックアップを行います。

バックアップファイルの復元 ファイルを復元して、使用できる状態にします。

データファイル操作

データ取込(レポート) CSVファイルから商品や入庫履歴を取り込みます。

追加の入庫履歴の追加 入力されているデータを、外部ファイルに出力します。

過去の古いデータを分離 過去の古い入庫記録を別のファイルに分離します。

指定した日付以前の、過去の古い入庫記録を別のファイルに分離します。
入庫記録件数が極端に多く、動作が遅くなってきた場合などに実行します。

OK(O) キャンセル(Q)

データの分離を行うには、「設定」画面の [データファイル] 内にある [過去の古いデータを分離] ボタンをクリックします。

[過去の古いデータを分離]
ボタンをクリック

データ分離

過去の古いデータの分離

現在使用しているデータファイルに保存されている入庫記録の、過去の古い日付の明確データを分離します。

分離日付: より古い入庫データを分離する

現在使用しているデータファイルは、2015年1月1日以降の入庫記録を処理しています。この処理を実行すると、2015年12月31日以前の入庫記録を分離して、別ファイルにします。

※ 過去3年以内のデータは分離しないようお勧めします。
3年以上前のデータは、分離してもほとんど支障はありません。

※ この処理を実行すると、分離された過去の古いデータは、「データファイルの切替」をしなければ、閲覧できなくなります。
この処理を実行すると、元に戻すことはできません。

過去の古いデータの分離処理を実行します。

実行(O) キャンセル(Q)

「データ分離」画面が表示されます。

分離を行う基点となる日付を、[分離日付:] 欄に入力します。この際、過去 2 年以内のデータは分離しないようにお勧めいたします。

データ分離を実行するには、[実行] ボタンをクリックします。

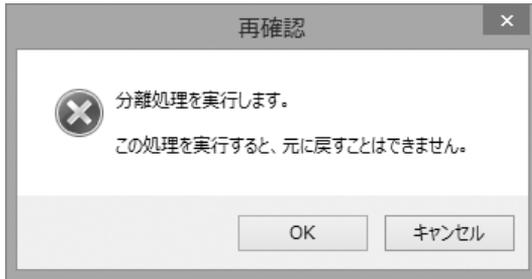
確認

分離処理を実行しますか?

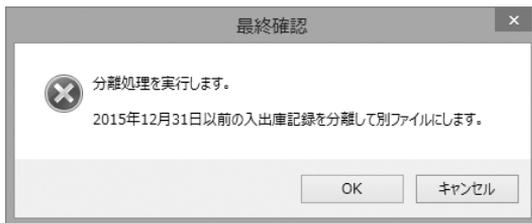
2015年12月31日以前の入庫記録を分離して別ファイルにします。
分離された過去の古いデータは「データファイルの切替」をしなければ、閲覧できなくなります。
この処理を実行すると、元に戻すことはできません。

はい(Y) いいえ(N)

確認メッセージが 3 回表示されますので、十分注意して行ってください。1 度データの分離を行うと、もとに戻すことはできません。



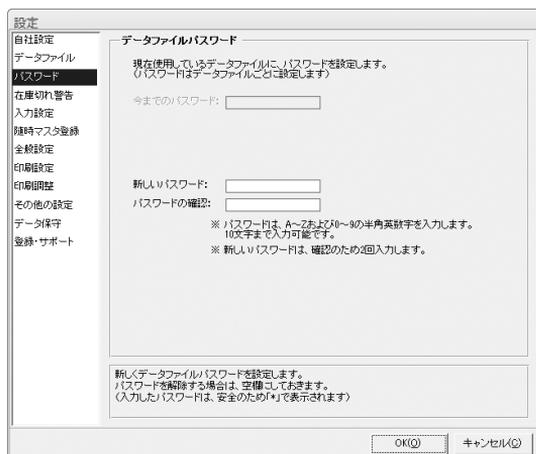
データの分離を実行するには、[OK]ボタンをクリックします。



3回目に表示される確認画面で[OK]ボタンをクリックすると、データ分離を実行します。

分離したデータを参照したい場合は、データの切り替えを行う必要があります。
データの切り替えについては、38ページの「データファイルを切り替える」をご覧ください。

6-4 パスワード



「パスワード」では、データファイルにパスワードを指定して、パスワードを知っている人以外はデータを使用できないようにします。

パスワードを設定すると、次回データファイルを開く際に、パスワードの入力画面を表示します。



なお、パスワードを忘れると、データファイルを開くことができません。パスワードの取り扱いには十分ご注意ください。

項目	説明
今までのパスワード	パスワードを変更するために、現在設定されているパスワードを入力します。正しいパスワードが入力されると、[新しいパスワード]欄が入力可能になります。(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます)
新しいパスワード	新しくデータファイルパスワードを設定します。パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。(入力したパスワードは安全のため「*」で表示されます) 新しくパスワードを設定するには、この欄にパスワードを入力します。パスワードはA～Z,0～9までの半角英数字のみ使用できます。
パスワードの確認	新しいデータファイルパスワードを、確認のためもう一度入力します。パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます)



パスワードを設定すると、次回本製品を起動する際に、パスワードの入力画面が表示されます。

6-5 在庫切れ警告

在庫切れ警告

出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する

出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する

保管場所別管理 (上級者向け)

保管場所ごとに在庫切れ警告の対象とするかを指定します。

在庫切れ警告	保管場所コード	保管場所名
<input checked="" type="checkbox"/> 対象	A001	通常在庫欄 (★)
<input checked="" type="checkbox"/> 対象	X000	不良品・返品欄
<input checked="" type="checkbox"/> 対象	B001	通常在庫欄 (特別品)

OK(C) キャンセル(Q)

「在庫切れ警告」では、出庫の際に、在庫が無くなった場合や、発注点以下の在庫数になった場合に警告を表示する設定ができます。

保管場所台帳を有効にしている場合は、在庫切れの警告の対象を保管場所ごとに指定します。

項目	説明	
在庫切れ警告	「出庫時に在庫が無くなった場合に警告を表示する」にチェックを付けると、在庫が無くなった場合に警告を表示します。	
	「出庫時に在庫数が発注点以下になった場合に警告を表示する」にチェックを付けると、在庫が発注点以下になった場合に警告を表示します。	
	保管場所別管理 (上級者向け)	保管場所ごとに在庫切れ警告の対象にするか設定します。対象とする保管場所にチェックを付けます。
	[全て警告対象]ボタンをクリックすると、すべての保管場所にチェックが付きません。	
	[★のみ警告対象]ボタンをクリックすると、お気に入り登録した保管場所のみ、チェックが付きません。保管場所のお気に入り登録については、158 ページの「保管場所台帳の管理」をご覧ください。	
	[★以外警告対象]ボタンをクリックすると、お気に入り登録した保管場所以外の保管場所に、チェックが付きません。保管場所のお気に入り登録については、158 ページの「保管場所台帳の管理」をご覧ください。	

6-6 入力設定・随時マスタ登録

◆ 入力設定

「入力設定」では、在庫確認画面などの画面に表示する小数点の桁数と、小数点の端数処理の設定ができます。

小数点は、単価、金額、数量で表示します。

項目	説明
小数点桁数	小数点以下の桁数を選択します。「小数点なし」、「1桁」、「2桁」から選択します。
小数点端数処理	小数点の端数処理方法を選択します。「四捨五入」、「切り上げ」、「切り捨て」から選択します。
台帳並び順	台帳での商品の並び順を選択します。 並び順を「任意」以外に設定すると、「取扱いを中止した商品は下に並べる」にチェックが付けられます。チェックを付けると、商品台帳で取扱いを中止にした商品は、一覧の最後に表示します。

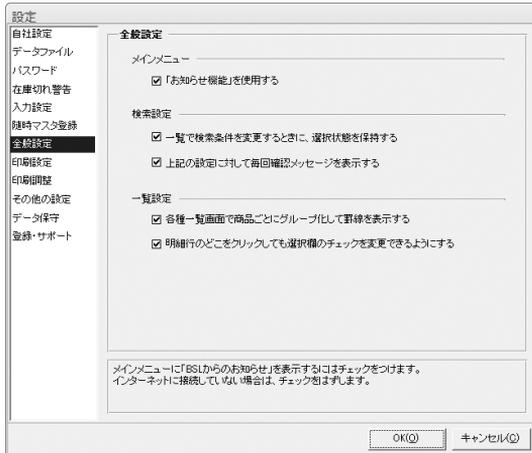
◆ 随時マスタ登録

「随時マスタ登録」では、台帳ごとに随時マスタ登録機能の使用を設定します。

「禁止」を選択すると、台帳に登録が無い新しい商品等の名称を入力しても、随時マスタ登録機能を使用せず、台帳へ登録しません。

表示される項目は、設定によって変わります。

6-7 全般設定



「全般設定」では、メインメニューに表示される「お知らせ機能」などの設定を行います。

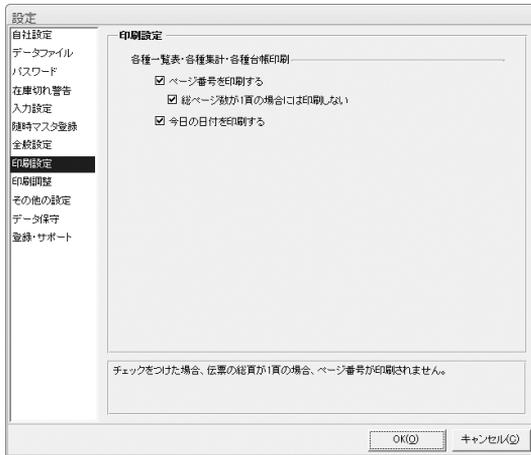


「お知らせ機能」

項目	説明																																												
メインメニュー	<p>「お知らせ機能」を使用するにチェックを付けると、メインメニューに「お知らせ機能」を表示します。インターネットに接続している場合、「BSL からのお知らせ」や最新の「よくある質問」を表示します。「BSL からのお知らせ」には、重要な情報や便利な情報、お得な情報などを表示します。「お知らせ機能」を表示する状態でご利用になることをお勧めします。</p>																																												
検索設定	<p>「一覧で検索条件を変更するときに、選択状態を保持する」にチェックを付けると、選択状態を保持します。 「上記の設定に対して毎回メッセージを表示する」にチェックを付けると、設定条件を保持の選択を行う確認画面を表示します。</p>																																												
一覧設定	<p>「各種一覧画面で商品ごとにグループ化して罫線を表示する」にチェックを付けると、集計画面などで、同じ商品・商品分類などの集計をグループ化して表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><グループ表示></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>商品分類</th> <th>商品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>A1011</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>シャープペンシル</td></tr> <tr><td></td><td>A1012</td></tr> <tr><td></td><td>万年筆</td></tr> <tr><td></td><td>A1013</td></tr> <tr><td></td><td>ペンケース</td></tr> <tr><td></td><td>A1021</td></tr> <tr><td></td><td>消しゴム</td></tr> <tr><td></td><td>A2011</td></tr> <tr><td></td><td>蛍光ペン5色セット</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p><1行表示></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>商品分類</th> <th>商品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>A1011</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>シャープペンシル</td></tr> <tr><td>A</td><td>A1012</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>万年筆</td></tr> <tr><td>A</td><td>A1013</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>ペンケース</td></tr> <tr><td>A</td><td>A1021</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>消しゴム</td></tr> <tr><td>A</td><td>A2011</td></tr> <tr><td>筆記用具</td><td>蛍光ペン5色セット</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>「明細行のどこをクリックしても選択欄のチェックを変更できるようにする」にチェックを付けると、明細行のどの場所をクリックしても商品の選択ができるようになります。チェックを外すと、「選択」欄をクリックして選択します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>明細行のどの場所をクリックしても選択可能</p> </div> </div>	商品分類	商品	A	A1011	筆記用具	シャープペンシル		A1012		万年筆		A1013		ペンケース		A1021		消しゴム		A2011		蛍光ペン5色セット	商品分類	商品	A	A1011	筆記用具	シャープペンシル	A	A1012	筆記用具	万年筆	A	A1013	筆記用具	ペンケース	A	A1021	筆記用具	消しゴム	A	A2011	筆記用具	蛍光ペン5色セット
商品分類	商品																																												
A	A1011																																												
筆記用具	シャープペンシル																																												
	A1012																																												
	万年筆																																												
	A1013																																												
	ペンケース																																												
	A1021																																												
	消しゴム																																												
	A2011																																												
	蛍光ペン5色セット																																												
商品分類	商品																																												
A	A1011																																												
筆記用具	シャープペンシル																																												
A	A1012																																												
筆記用具	万年筆																																												
A	A1013																																												
筆記用具	ペンケース																																												
A	A1021																																												
筆記用具	消しゴム																																												
A	A2011																																												
筆記用具	蛍光ペン5色セット																																												

6-8 印刷設定・印刷調整・その他の設定

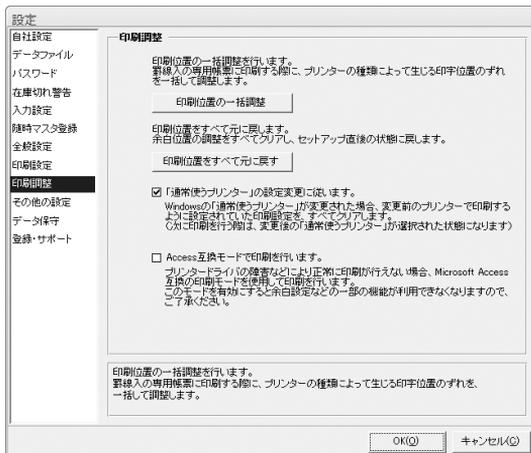
◆ 印刷設定



「印刷設定」では、各種一覧表、各種集計・各種台帳の印刷で印字する項目の設定を行います。

項目	説明
印刷設定	[ページ番号を印刷する]にチェックを付けると、印刷時に自動でページ番号を印刷します。総ページ数が1ページの場合に、ページ番号を印刷しない場合は、[総ページ数が1頁の場合には印刷しない]にチェックを付けます。 [今日の日付を印刷する]にチェックを付けると、印刷時にコンピューターに設定している日付を自動で印字します。

◆ 印刷調整



「印刷調整」では、印刷の位置調整や Access 互換モードでの印刷に関する設定を行います。

この設定画面の項目は、同じコンピューターを使用している他のユーザーと共通の設定になります。一人のユーザーが設定を変更すると、他のユーザーの設定も変更されます。

項目	説明
印刷調整	<p>[印刷位置の一括調整]ボタンをクリックすると、印刷余白を一括して自動調整します。</p> <p>[印刷位置をすべて元に戻す]ボタンをクリックすると、これまで設定していた各種用紙の印刷余白の設定をすべて製品の出荷時点に戻します。</p> <p>[「通常使うプリンター」の設定変更に従います]にチェックを付けると、Windows の「通常使うプリンター」が変更された場合、変更前のプリンターで設定した印刷設定をすべて消去します。(次に印刷を行う際は、変更後の「通常使うプリンター」を選択した状態になります)</p> <p>[Access 互換モードで印刷を行います]にチェックを付けると、プリンタードライバーの障害などによって正常に印刷が行えない場合に、Microsoft Access 互換の印刷モードを使用して印刷を行います。ただし、このモードを有効にすると余白設定などの一部の機能は使用できません。</p>

◆ その他の設定

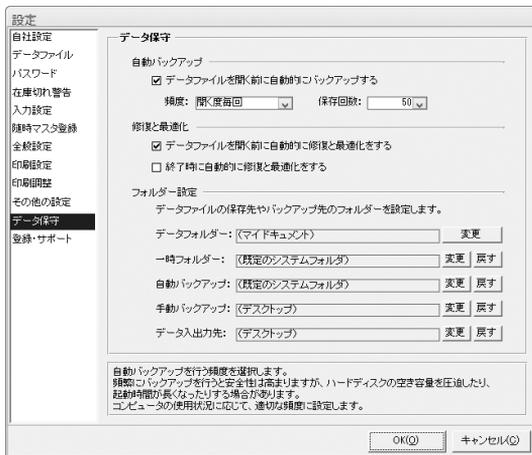
「その他の設定」では、起動と終了時の設定を行います。

この設定画面の項目は、同じコンピューターを使用している他のユーザーと共通の設定になります。一人のユーザーが設定を変更すると、他のユーザーの設定も変更します。

項目	説明
起動と終了時の設定	<p>[起動時にデータファイルの選択画面を毎回表示する]にチェックを付けると、起動時にデータファイルの選択画面を表示し、使用するデータファイルを指定して起動できます。</p> <p>[終了時にバックアップ処理の確認メッセージを表示する]にチェックを付けると、終了時にバックアップ処理を行うかどうかメッセージを表示します。作業終了時に毎回 USB メモリなどにバックアップを行うことで、データの安全性が向上します。</p>
ショートカットキーの設定	「入力補助キー」や「繰り返し入力キー」に割り当てるキーを変更できます。
電卓設定	電卓の既定の消費税率を設定できます。

6-9 データ保守

◆ データ保守



「データ保守」では、データファイルのバックアップや自動バックアップ機能などの設定を行います。

この設定画面の項目は、同じコンピューターを使用して他のユーザーと共通の設定になります。一人のユーザーが設定を変更すると、他のユーザーの設定も変更します。

項目	説明
自動バックアップ	<p>[データファイルを開く前に自動的にバックアップする]にチェックを付けると、起動時やデータファイルの切り替え時、データファイルを開く前に自動的にバックアップを行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルが破損してしまった場合に、直前のデータに復元することができます。</p> <p>[頻度]では自動バックアップを行う頻度を選択し、[保存回数]では自動バックアップしたファイルを保存する回数を選択します。</p>
修復と最適化	<p>[データファイルを開く前に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、データファイルを開く前にデータの修復と最適化を行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルを破損した場合に、データの修復を試みます。通常はチェックを付けたままにします。</p> <p>[終了時に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、作業用の一時領域や作業領域を削除し、終了時にデータベースの修復と最適化を行います。通常はチェックを付けたままにします。(最適化とは作業用に使用したハードディスクの領域を増やして、空き容量を増やす作業です)</p>
フォルダー設定	<p>データファイルの保存場所やバックアップの場所の既定のフォルダーを指定します。通常は変更しないでください。</p> <p>[変更]ボタンをクリックすると、保存先やバックアップ先のフォルダーを指定できます。データファイルをクラウドストレージ上に保存する場合は、[データフォルダー]の右にある[変更]ボタンをクリックして、保存先を選択してください。</p> <p>[戻す]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。</p>

6-10 登録・サポート



「登録・サポート」では、各種のユーザーサポートのための機能の設定を行います。

項目	説明
ユーザー登録	[ユーザー登録ウィザード]ボタンをクリックすると、ユーザー登録ウィザードを起動して、ユーザー登録及びユーザー登録情報の変更ができます。
サポート問い合わせ	[サポート問い合わせウィザード]ボタンをクリックすると、ブラウザを使用してBSLのユーザーサポートウェブサイトを開き、サポートセンターへの問い合わせができます。
サプライ	[BSL製品・サプライ用品購入]ボタンをクリックすると、ブラウザを使用してBSL製品・サプライ用品などの購入ウェブサイトを開き、他のBSL製品やサプライ用紙の購入などができます。

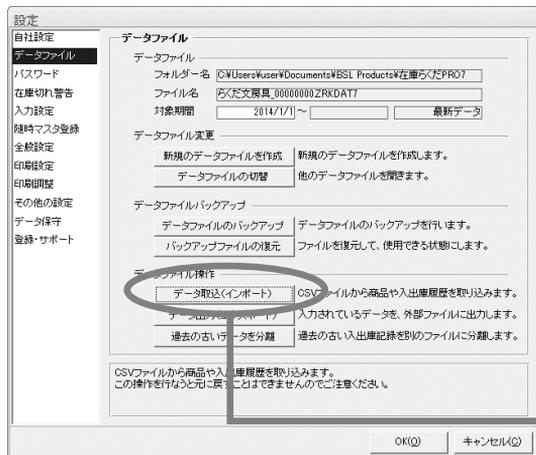
7章

インポート・エクスポート

7-1	台帳と入出庫履歴を取り込む（インポート）	180
7-2	データを別ファイルに出力する（エクスポート）	187
7-3	台帳のインポートファイル仕様	189
■付録		
8-1	サポートサービスを利用する	192
8-2	索引	194

7-1 台帳と入出庫履歴を取り込む(インポート)

本製品は、CSV 形式で作成された台帳（相手先台帳・商品分類台帳・商品台帳・ロット台帳・保管場所台帳）や、入出庫履歴のファイルを取り込むこと（インポート）ができます。いままで、他のソフトウェアや表計算ソフトなどで作成していた資産（データ）を活用できます。外部データとしてインポート可能なのは、CSV 形式のファイルのみです。CSV 形式のファイルの仕様は 189 ページをご覧ください。



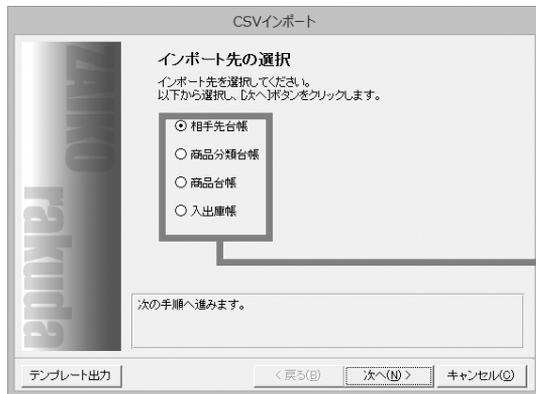
外部データをインポートするには、「設定」画面の「データファイル」内にある[データ取得(インポート)]ボタンをクリックします。

データファイルのバックアップを行う確認画面を表示します。バックアップを行う場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

※外部データのインポートは、メインメニューの[導入]タブ内にある[インポート]アイコンからも行えます。

[データ取得(インポート)]
ボタンをクリック

① 取り込む台帳の選択



取り込む台帳を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

以下の部分では、相手先台帳の取り込みを例に手順を説明します。

※自社の設定によって取り込む台帳の表示は変わります。

台帳を選択

[テンプレート出力] ボタンをクリックすると、テンプレート（ひな形）ファイルをデスクトップに出力します。詳しくは、185 ページをご覧ください。

② 取り込むファイルの選択



[指定] ボタンをクリックし、インポートする台帳の CSV ファイルを指定します。

[指定] ボタンをクリックして
ファイルを指定

指定後、[次へ] ボタンをクリックします。



[次へ]ボタンをクリックすると、インポートを行うための内部処理が始まります。インポート件数によっては、次の画面を表示するまで時間がかかる場合があります。

③ 項目の割り付け

台帳の CSV ファイルをインポートする際に、取り込み元（CSV ファイル側）の項目（列）を、取り込み先（「在庫らくだプロ7.5」側）のどの項目に割り付けるかを選択します。

「割り付け列名」には、CSV ファイルの 1 行目のデータを表示します。そのため、インポートする CSV ファイルの 1 行目は、「割り付け列名」に表示した際にわかりやすい項目名にします。なお、1 行目はデータとして取り込みません。

割り付けが完了したら、[次へ] ボタンをクリックします。



入出庫帳をインポートすると、相手先、商品などが各台帳に自動的に登録されます。インポート後に、台帳機能で登録内容を確認してください。

項目	説明
必須	取り込む際に必要な項目です。必須項目には「※」を表示します。必須項目は変更できません。
重複不可	取り込む際に重複できない項目です。重複不可の項目には「※」を表示します。重複不可の項目は変更できません。
取り込み先項目	取り込み先（「在庫らくだプロ7.5」側）の項目名です。
割り付け列名	取り込み元（CSV ファイル側）の 1 行目の項目名を表示します。右の[▼]ボタンをクリックすると、対応する項目を任意に変更できます。
割り付けデータ	「割り付け列名」内の実際のデータを表示します。対応する取り込み先項目を選択する際の目安になります。
参照レコード	CSV ファイルに含まれるデータの数と、現在「割り付けデータ」に表示しているデータの番号を表示します。左右の矢印([←][→])ボタンをクリックすると、前後のデータに移動します。
未割り付け列数	取り込み先（「在庫らくだプロ7.5」側）への割り付けが完了していない列の数を表示します。



項目の割り付け例

CSVインポート

項目の割り付け

取り込み先の項目に於いて、割り付けたい項目を選択してください。

必須	重複不可	取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
※		相手先コード	<得意先コード	IB-001
※		相手先名	<会社名	レストラン ハッピー食堂
		担当者	<個人名	小山 純
		郵便番号	<郵便番号	173-0024
		住所1	<住所種A	東京都板橋区幸町***→
		住所2	<住所種B	
		電話番号	<TEL種	03-****-****
		FAX番号	<FAX種	03-****-****
		備考	<メモ種	
		仕入先	<	
		出庫先	<	
		取引中止	<	

参照レコード: < 1 /32 > | 未割り付け行数: 0

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(Q)

例えば、左の画面にあるように割り付け設定をすると、CSV ファイル側の「得意先コード」に含まれるデータが、「在庫らくだプロ 7.5」側に「相手先コード」として取り込みます。

これは正常に割り付け設定されている例です。

取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
相手先コード	<得意先コード	IB-001

「相手先コード」に「得意先コード」が割り付けられるので、正しい。

CSVインポート

項目の割り付け

取り込み先の項目に於いて、割り付けたい項目を選択してください。

必須	重複不可	取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
※		相手先名フリガナ	<会社名フリガナ	レストラン ハッピー食堂
※		相手先名	<得意先コード	IB-001
		担当者	<個人名	小山 純
		郵便番号	<郵便番号	173-0024
		住所1	<住所種A	東京都板橋区幸町***→
		住所2	<住所種B	
		電話番号	<TEL種	03-****-****
		FAX番号	<FAX種	03-****-****
		備考	<メモ種	
		仕入先	<	
		出庫先	<	
		取引中止	<	

参照レコード: < 1 /32 > | 未割り付け行数: 0

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(Q)

例えば、左の画面にあるように割り付けを設定すると、CSV ファイル側の「会社名」に含まれるデータが、「在庫らくだプロ 7.5」側に「相手先コード」としてインポートします。

本来は「相手先名」として CSV ファイル側の「会社名」をインポートするべきですが、この例では、正常に割り付けを設定していません。

取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
相手先コード	<会社名	レストラン ハッピー食堂

「相手先コード」に「会社名」が割り付けられるので、間違い。

④ 重複データの取扱方法の選択

CSVインポート

重複データの取扱方法の選択

データを取り込み時に、インポート先にデータが既に存在した場合に、どのように取り扱うか決定します。以下から重複データの取扱方法を選択し、決定ボタンをクリックします。

重複チェックする項目
「相手先コード」「相手先名」

すべての行を取り込む。

ただし、上記の項目が重複する行は、取り込まない。

ただし、上記の項目が重複する行は、上書き取込する。

上記の項目が重複する行のみ、上書き取り込みする。

次の手順へ進みます。

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(Q)

初めて新規データファイルに台帳を取り込む場合は、「すべての行を取り込む。」を選択します。重複データの取り扱いについては、183 ページをご覧ください。

[次へ] ボタンをクリックします。

※ここでは、相手先台帳へのインポートを例に記載しています。相手先台帳のインポートでは、重複チェックを行う項目は「相手先コード」と「相手先名」です。

■ 重複データの取り扱い例

台帳を取り込む場合は、コード（相手先コード、商品コードなど）と、名称（相手先名、商品名など）の2つの項目で重複チェックを行います。コードが異なる場合は、名称の重複は許可されます。ただし、いかなる場合でもコードの重複は許可されません。コードが空欄かつ名称が同じ行を複数登録はできません。

すべての行を取り込む						
ただし、上記の項目が重複する行は、取り込まない。	CSV ファイルに含まれるすべての行を取り込みますが、重複している行は取り込みません。					
	インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ		インポートした後のデータ	
	001	〇〇文具	001	〇〇文具	001	〇〇文具
	002	かるがる堂	002	△△書店	002	かるがる堂
003	らくだ販売			003	らくだ販売	
	空欄	らくだ販売			空欄	らくだ販売
			004	らくだ販売	004	らくだ販売
			005	スーパー□□	005	スーパー□□
			空欄	らくだ販売		
			空欄	らくだ事務機	空欄	らくだ事務機
ただし、上記の項目が重複する行は、上書き取込する。	CSV ファイルに含まれるすべての行を取り込みますが、重複している行は上書きして取り込みます。					
	インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ		インポートした後のデータ	
	001	〇〇文具	001	〇〇文具	001	〇〇文具(※)
	002	かるがる堂	002	△△書店	002	かるがる堂
003	らくだ販売			003	らくだ販売	
	空欄	らくだ販売				
			004	らくだ販売	004	らくだ販売
			005	スーパー□□	005	スーパー□□
			空欄	らくだ販売	空欄	らくだ販売(※)
			空欄	らくだ事務機	空欄	らくだ事務機
※：重複不可チェック項目以外のその他の項目が、CSV のデータで上書きされます。						
上記の項目が重複する行のみ、上書き取り込みする。						
CSV ファイルに含まれる行のうち、重複している行だけを上書きして取り込みます。						
インポートする前のデータ		インポートする「CSV」データ		インポートした後のデータ		
001	〇〇文具	001	〇〇文具	001	〇〇文具(※)	
002	かるがる堂	002	△△書店	002	かるがる堂	
003	らくだ販売			003	らくだ販売	
	空欄	らくだ販売				
			004	らくだ販売		
			005	スーパー□□		
			空欄	らくだ販売	空欄	らくだ販売(※)
			空欄	らくだ事務機		
※：重複不可チェック項目以外のその他の項目が、CSV のデータで上書きされます。						

⑤ 取り込み設定の確認

取り込む内容が正しいことを確認し、[実行] ボタンをクリックすると取り込みを開始します。

取り込み実行中に [途中終了] ボタンをクリックすると、取り込みを終了しますが、その時点までのデータは取り込まれます。

[設定保存] ボタンをクリックすると、現在のインポート設定を保存します。詳しくは、185 ページをご覧ください。

⑥ 取り込みの完了

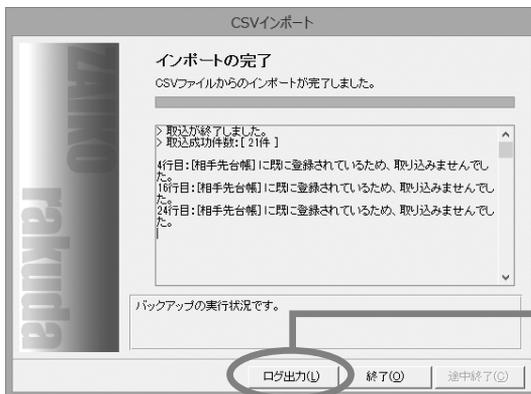


「インポートの完了」画面を表示すると、取り込みは完了です。

[ログ出力] ボタンをクリックすると、取り込んだCSVファイルと同じ場所に、取り込みのログをCSV形式で出力します。

取り込みのログで状況の確認や、取り込みに失敗したデータの確認などができます。

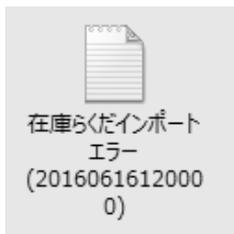
■ インポートに失敗した場合



取り込むファイルが正しくないために、取り込みに失敗したデータがあった場合に、「～のため、取り込めませんでした。」と表示します。

[ログ出力] ボタンをクリックすると、エラーログファイルをデスクトップに作成します。

【ログ出力】ボタンをクリック



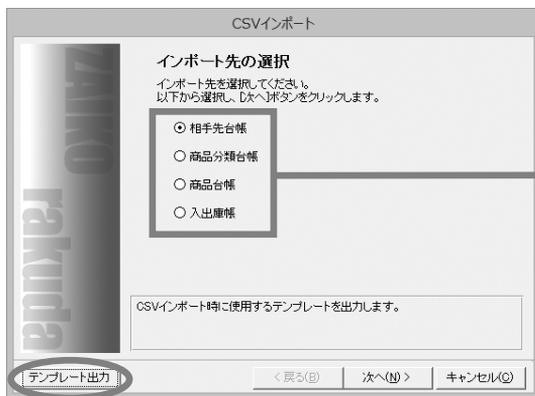
エラーログファイルを開いて確認してください。

必要がある場合は取り込むファイルの修正を行ってから、再度、台帳の取り込みを行ってください。

◆ テンプレートファイル(ひな形)の出力

台帳を取り込む際に、本製品の仕様に合わせた CSV 形式のテンプレートファイルの出力ができます。CSV 形式とは、項目をカンマ(「,」)で区切ったテキストファイルのことです。

出力したテンプレートファイルを表計算ソフトで編集し、取り込むためのファイルを作成する際に使用してください。

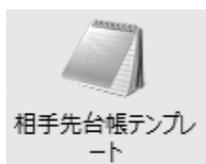


取り込む台帳の選択画面で、テンプレートファイルを出力する台帳を選択します。

テンプレートを出力する
台帳を選択

[テンプレート出力] ボタンをクリックします。

[テンプレート出力]ボタンを
クリック



デスクトップに選択した台帳のテンプレートファイルを出力します。テンプレートファイルを、表計算ソフトなどで編集して、台帳の取り込みを行ってください。

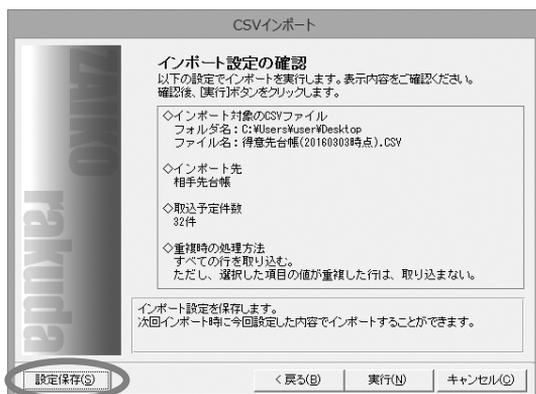
◆ インポート設定を保存する

取り込む CSV ファイルや項目の割り付けの設定は、保存することができます。設定を保存することで、次回インポートで設定を読み込むと、保存した設定でインポートができます。



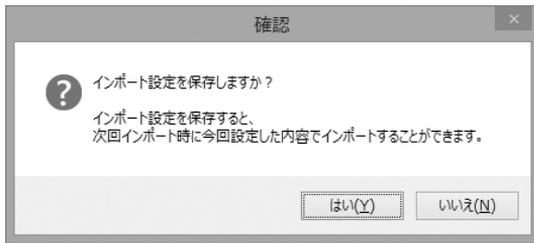
インポート設定を保存する場合は、以下の点に注意してください。

- ・取り込む CSV ファイルのファイル名を変更しない
- ・CSV ファイル内の項目名を変更しない



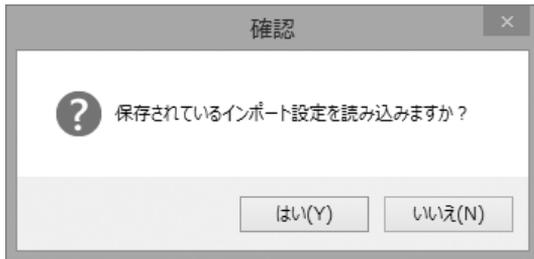
設定を保存するには、「インポート設定の確認」画面で [設定保存] ボタンをクリックします。

[設定保存]ボタンを
クリック



「確認」画面を表示します。
設定を保存する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

■ 保存したインポート設定を読み込んでインポートを行う

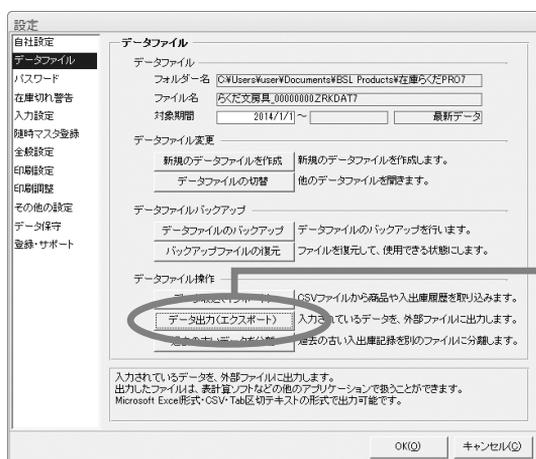


次回のインポートを行う際に、保存したインポート設定を読み込む「確認」画面を表示します。

保存した設定を読み込む場合は、[はい] ボタンをクリックします。
新たに設定し直す場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。

7-2 データを別ファイルに出力する(エクスポート)

本製品は、入力されている各種台帳や入出庫帳データを外部ファイルにエクスポート（データ出力）することができます。エクスポートしたファイルを、表計算ソフトなどで活用できます。



登録されている台帳を、外部ファイルに出力するには、「設定」画面の「データファイル」内にある、[データ出力（エクスポート）] ボタンをクリックします。

[データ出力(エクスポート)]
ボタンをクリック

① 台帳の選択



エクスポートする台帳の種類を選択します。エクスポートする台帳の種類をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

エクスポートする台帳の
種類を選択

[次へ]ボタンをクリック

台帳の種類	説明
相手先台帳	登録されている相手先台帳をエクスポートします。 相手先台帳が有効の場合に表示します。
商品分類台帳	登録されている商品分類台帳をエクスポートします。
商品台帳	登録されている商品台帳をエクスポートします。[次へ]ボタンをクリックすると、取り扱いを中止した商品も含めてエクスポートするか選択できます。
ロット台帳	ロット管理が有効の場合に、登録されているロット台帳をエクスポートします。 [次へ]ボタンをクリックすると、取り扱いを中止した商品も含めてエクスポートするか選択できます。
保管場所台帳	保管場所台帳が有効の場合に、保管場所台帳をエクスポートします。
入出庫帳	入出庫帳をエクスポートします。 [次へ]ボタンをクリックすると、特定の期間を指定してエクスポートするか設定できます。

② エクスポート先の選択

エクスポート

エクスポート先の選択

エクスポートファイルの出力先と形式を選択してください。
選択し終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

フォルダ:
[デスクトップ] 変更 戻す

ファイル名:
相手先台帳(20160616) .xlsx

形式:
 Microsoft Excel形式 (*.XLS) Excel 2007-2010
 カンマ区切りテキスト(CSV)形式 (*.CSV)
 タブ区切りテキスト形式 (*.TXT)

次の手順へ進みます。

< 戻る(B) 実行(E) キャンセル(Q)

エクスポート先のフォルダーと、出力形式(XLS・CSV・TXT)の選択を行います。必要に応じてファイル名を変更してください。選択が終わったら、[実行]ボタンをクリックします。

エクスポートするファイルの出力先・ファイル名・出力形式を選択

[実行]ボタンをクリック



エクスポート先は、通常デスクトップに設定されています。エクスポート先を変更するには、右側の[変更]ボタンをクリックして指定できます。

③ エクスポートの完了

エクスポート

エクスポートの完了

データのエクスポートが完了しました。

< 戻る(B) 終了(O) 途中終了(Q)

正しくエクスポートが完了すると、「エクスポートの完了」画面を表示します。

手順②で指定した場所にファイルを出力します。

これでエクスポートの完了です。

※エクスポートは「在庫確認」画面などのメニューバーからでもできます。

7-3 台帳のインポートファイル仕様

本製品は、以下の各項目を外部ファイルからインポートすることができます。

インポートファイルの項目の並び順やインポート項目名を同一にする必要はありませんが、データ書式（データ型・文字数）を合わせておく必要があります。

「必須項目」となっている項目名は、インポートするデータに必ず作成してください。

「重複不可」となっている項目名が、インポートするデータ内で重複している場合、インポート時に重複データの設定を変更する必要があります。（183 ページをご覧ください。）

◆ 相手先台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	相手先コード	文字型	15 文字	重複不可
2	相手先名カナ	文字型	100 文字	
3	相手先名	文字型	50 文字	必須項目
4	担当者	文字型	50 文字	
5	郵便番号	文字型	10 文字	
6	住所 1	文字型	50 文字	
7	住所 2	文字型	50 文字	
8	電話番号	文字型	50 文字	
9	FAX 番号	文字型	50 文字	
10	備考	文字型	50 文字	
11	仕入先	YES/NO 型	—	該当する:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 該当しない:「0/No/False/×」のいずれか
12	出庫先	YES/NO 型	—	該当する:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 該当しない:「0/No/False/×」のいずれか
13	取引中止	YES/NO 型	—	対象:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 対象外:「0/No/False/×」のいずれか

◆ 商品分類台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	商品分類コード	文字型	15 文字	重複不可
2	商品分類名	文字型	50 文字	必須項目

◆ 商品台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	商品コード	文字型	20 文字	重複不可、バーコード印刷時は 5~15 文字を推奨
2	商品名	文字型	50 文字	必須項目
3	商品分類コード	文字型	15 文字	
4	商品分類名	文字型	50 文字	
5	単位	文字型	7 文字	
6	相手先コード	文字型	15 文字	
7	相手先名	文字型	50 文字	
8	発注量	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁~整数 9 桁

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
9	発注点	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁
10	JANコード	文字型	13 文字	
11	リードタイム	数値型	10 文字	
12	取扱中止日	日付型	—	例)2016/06/16
13	棚卸対象	YES/NO 型	—	対象:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 対象外:「0/No/False/×」のいずれか
14	備考	文字型	50 文字	

◆ ロット台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	商品コード	文字型	20 文字	バーコード印刷時は 5～15 文字を推奨
2	商品名	文字型	50 文字	
3	ロット番号	文字型	30 文字	必須項目、重複不可
4	取扱中止日	日付型	—	例)2016/06/16
5	棚卸対象	YES/NO 型	—	対象:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 対象外:「0/No/False/×」のいずれか
6	備考	文字型	50 文字	

◆ 保管場所台帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	保管場所コード	文字型	20 文字	重複不可
2	保管場所名	文字型	50 文字	必須項目
3	保管場所名カナ	文字型	100 文字	
4	お気に入り	YES/NO 型	—	該当する:「-1/1/Yes/True/○」のいずれか 該当しない:「0/No/False/×」のいずれか
5	備考	文字型	50 文字	

◆ 入出庫帳インポート仕様

順番	項目名	データ型	制限桁数	備考
1	入出庫日	日付型	—	必須項目、例)2016/06/16
2	商品コード	文字型	20 文字	バーコード印刷時は 5～15 文字を推奨
3	商品名	文字型	50 文字	
4	ロット番号	文字型	30 文字	
5	入庫数	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁
6	出庫数	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁
7	仕入単価	数値型	9 桁	整数 7 桁+小数 2 桁～整数 9 桁
8	相手先コード	文字型	15 文字	
9	相手先名	文字型	50 文字	
10	保管場所コード	文字型	20 文字	
11	保管場所名	文字型	50 文字	
12	備考	文字型	50 文字	

8章

付録

8-1	サポートサービスを利用する.....	192
8-2	索引.....	194

8-1 サポートサービスを利用する

◆ 無期限・無料サポートについて

本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを無期限・無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたします。ただし、電話料金などの通信費用はお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは、本製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピューター本体や周辺機器などに関しては各製品のメーカーへご相談ください。また会計処理や税務処理、社会保険処理などに関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄の税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談ください。

本製品は、ご利用のコンピューター本体およびOSなどの他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。ただし、ソフトウェアやハードウェアの環境の変遷などの弊社の責によらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となった場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

■ サポートサービスを利用するには

サポートサービスをご利用になるには、はじめに無料のユーザー登録を行っていただく必要があります。登録は「ユーザー登録」アイコンから簡単に行えます。一度ユーザー登録を行えば、次から登録作業をする必要はありません。



①[サポート]タブをクリック

②[ユーザー登録]アイコンをクリック

本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無期限・無料で承ります。(お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金等の通信費用はお客様のご負担となります)



[問い合わせ]アイコンをクリックすると、FAXやEメールによるお問い合わせを簡単に行うことができます。

[問い合わせ]アイコンをクリック



[アップデート] アイコンをクリックすると、更新プログラムを入手できます。

[アップデート]アイコンをクリック

■ 電話問い合わせ

専門スタッフが無期限・無料で電話対応いたします。

サポートセンター電話番号 : 03-3352-6241

受付時間 : 月曜日～金曜日 10:00～12:00, 13:30～16:30

(土曜、日曜、祝日、および弊社休業日を除く)

■ FAX問い合わせ

早朝や深夜、土・日・祝祭日でも、FAXでのお問い合わせを年中無休で24時間受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。

サポートセンターFAX番号 : 03-5362-7860

郵送の場合 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-11 日新ビル

株式会社BSLシステム研究所 サポートセンター

■ Eメール問い合わせ

手軽で敏速に問い合わせたい方は、Eメールによるお問い合わせをご利用いただけます。弊社のウェブサイトから入力フォーム形式で年中無休、24時間お問い合わせを受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。Eメールでのお問い合わせの場合は、折り返し弊社からのご案内もメールで返信いたしますので、操作資料として保存してご活用いただけます。

◆ 挫折買取サービスについて

本製品は、弊社のサポートサービスをお受けいただいた上でも操作面で挫折され運用できなかった場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。弊社のサポートをお受けいただいたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入の上、ご購入の証明書類（領収証など）のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。（販売店では受け付けておりません）

その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発する上での貴重な参考資料とさせていただくと共に、お客様には情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。（ご購入時に当該製品に対して実際お支払いいただいた金額から、消費税および支払手数料を引いた金額をお支払いいたします）

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかった場合に限りです。お客様の期待した機能の不足や製品への不満足、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記などの業務知識の不足による運用困難、コンピューター本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。

8-2 索引

■あ行

相手先

- ～を削除する.....157
- ～を登録する.....59,154

相手先台帳

- ～から相手先を削除する.....157
- ～に新規相手先を登録する.....154
- ～の管理.....154
- ～をインポートする.....180
- ～をエクスポートする.....187
- ～を有効にする.....167

以前のバージョンからデータを移行する.....28

印刷

- PDF を出力する.....146
- 印刷位置を調整する.....144
- 印刷範囲を変更する.....51,140
- 印刷プレビューを操作する.....141
- 印刷余白を調整する.....143
- 棚卸カウントリストの印刷設定.....95
- バーコード印刷の印刷設定.....99

インポート

- インポートファイルの仕様.....189
- 設定を保存する.....185
- 台帳をインポートする.....180
- 棚卸を外部データで行う.....96
- テンプレートファイルの出力.....185
- 入庫帳をインポートする.....180

エクスポート

- 台帳をエクスポートする.....187
- 入庫帳をエクスポートする.....187

お知らせ機能の設定をする.....174

■か行

- 外部データへエクスポートする.....187
- 外部データをインポートする.....180
- 過去の古いデータを分離する.....169
- 画面レイアウトを変更する.....51
- カレンダーを使用する.....63
- 金額管理を有効にする.....167
- クラウドストレージに
データを保存する.....177

検索

- ～の条件を設定する.....55
- ～を行う.....54

■さ行

在庫管理

- 移動を入力する.....84
- 在庫切れ警告を設定する.....124,172
- 在庫数の推移グラフを確認する.....117
- 在庫数を確認する.....66

集計表で分析する.....46

出庫を入力する.....74

単価の訂正をする.....103

単品分析を行う.....117

入庫を入力する.....68

入出庫の履歴を確認する.....105,122

入出庫を入力する.....79

廃棄を入力する.....89

発注計画書を作成する.....126

発注点を設定する.....125,149

サポートサービスを利用する.....192

自社の情報を設定する.....167

集計表

～の種類.....46

～を表示する.....45

商品

～の移動を入力する.....84

～の在庫数を確認する.....66

～の在庫の推移をグラフで確認する.....117

～の出庫を入力する.....74

～の単品分析を行う.....117

～の入庫と出庫を入力する.....79

～の入庫を入力する.....68

～の入出庫履歴を確認する.....122

～の廃棄を入力する.....89

～を検索する.....54

～を登録する.....60,148

商品台帳

～から商品削除する.....151

商品の並び順を変更する.....151

～に新規商品を登録する.....148

～の管理.....148

～をインポートする.....180

～をエクスポートする.....187

～を編集する.....150

初期在庫を入力する.....25

シリアルナンバーを入力する.....15

新規のデータファイルの作成

以前のバージョンからデータを移行する.....28

下位製品からデータを移行する.....28

新規に作成する.....21

随時マスタ登録

～で相手先を登録する.....59

～で商品を登録する.....60

～で保管場所を登録する.....60

～を設定する.....173

製品をセットアップする.....11

■た行

台帳

相手先台帳.....154

商品台帳	148
商品分類台帳	152
単位台帳	153
保管場所台帳	158
～のテンプレートを出力する	185
～をインポートする	180
～をエクスポートする	187
タグ	
～の一覧を表示する	162
～を商品に設定する	120
～を台帳から削除する	164
～を有効にする	167
棚卸	
～でバーコードリーダーを使う	99
～を行う	94
～を外部データで行う	96
棚卸カウントリストを印刷する	95
バーコードを印刷する	99
データファイル	
～を切り替える	38
～を操作する	168
～をバックアップする	39
～を復元する	35
～を分離する	169
電卓を使用する	62
伝票	
移動伝票を作成する	84
出庫伝票を作成する	74
入庫伝票を作成する	68
入出庫伝票を作成する	79
廃棄伝票を作成する	89
発注計画書を作成する	126
～を一覧で確認する	111
～を印刷する	139
～を編集する	72
伝票一覧	
～から伝票の明細を表示する	111
～から伝票を削除する	116
～で伝票を複製する	115
～を表示する	111
導入時に商品の在庫数を入力する	25
■な行	
入出庫帳	
明細行の編集機能	108
～を表示する	105
年間保守サービスを申し込む	197
■は行	
パスワード	
～を解除する	171
～を設定する	171
～を変更する	171
バックアップしたデータを復元する	35,168
発注計画	

発注計画書から入庫の入力をする	135
発注計画書を一覧で確認する	138
発注計画書を作成する	126
発注計画書を自動作成する	128
～を有効にする	167
プログラムの更新を行う	64
保管場所台帳	
～から保管場所を削除する	160
～に保管場所を登録する	158
～の管理	158
保管場所の並び順を変更する	160
～を有効にする	167
■ま行	
明細行	
～を入れ替える	109
～を削除する	109
～を新規行に移動する	108
～を挿入する	108
～を複製する	108
メインメニューを操作する	42
メニューバーの操作	50
■や行	
ユーザー登録を行う	17

■ら行	
ロット管理	
在庫数を入力する	26
～を有効にする	167

Memo

受付FAX番号 03-3352-6108

年間保守サービス 申込用紙

※この用紙はコピーしてお使いください。

YSP160616

下記の必要事項をご記入の上、弊社までFAXまたは郵便にてお送りください。
 折り返し、お申し込み内容を記載した「注文請書」を、FAXにてお送りいたします。
 振込の場合は「注文請書」をご確認の上、代金をお支払ください。
 お申し込みの際には、事前に製品のユーザー登録が必要です。
 年間保守サービスのお申し込みは、本製品の発売終了と同時に終了させていただきます。

料金： 1年間
 「在庫らくだプロ7.5」 12,000 円＋税
 ※料金は 2016 年 6 月 現在のものです。予告無く料金を変更する場合があります。

■ 年間保守サービス特典

1. 法改正等への「対応版プログラム」がリリースされた場合、無償でダウンロード提供いたします。
 2. 「対応版プログラム」の CD-ROM を、無償でご提供いたします。
 3. 機能改良等の「アップデートプログラム」がリリースされた場合、無償でダウンロード提供いたします。
 4. 「アップデートプログラム」の CD-ROM を、期間中1回に限り無償でご提供いたします。
 5. バージョンアップ製品がリリースされた場合、無償でご提供いたします。
 6. 操作マニュアルを破損・紛失した場合、期間中1回に限り無償でご提供いたします。
 7. CD-ROM を破損・紛失した場合、期間中1回に限り無償でご提供いたします。
 8. 2年以上継続の場合、2年目以降の保守サービス料金を割引いたします。
- ※特典 4,6,7 の各項につきましては、お客様からのお申し込みによりご提供いたします。

● 氏名・お届け先

申込日付	年 月 日
申込対象製品	<input type="checkbox"/> 在庫らくだプロ7.5
シリアルナンバー	※マニュアルの裏表紙、もしくはメインメニュー左上の[ヘルプ]→[バージョン情報]に表示される番号を必ずご記入ください。
(フリガナ) 氏名:	※法人でお申し込みの場合はご担当者の氏名と部署名をご記入ください。
(フリガナ) 会社名:	※屋号の無い個人事業者の場合は不要です。
住所:	〒
電話番号:	FAX番号:

● お支払方法 (ご希望のお支払方法の口にチェックをつけてください)

<input type="checkbox"/> 銀行振込 または郵便振込	※入金確認後に手続きをいたします。振込手数料はご負担ください。 ※振込先口座は、弊社よりお送りする「申込請書」をご覧ください。
<input type="checkbox"/> クレジットカード	<input type="checkbox"/> JCB <input type="checkbox"/> DC <input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> MASTER <input type="checkbox"/> AMEX <input type="checkbox"/> Orico カード番号: 有効期限: 年 月 カード名義: 御署名
<input type="checkbox"/> 請求書送付希望	(請求書の送付を希望される方はチェックをご記入ください)

受付FAX番号 03-3352-6108



3つの信頼 BSLの「安心保証」

弊社では「使いこなせる業務ソフト」をキャッチフレーズに、初めて業務ソフトをご利用になるお客様でも確実に使いこなしていただけるよう、さまざまなサポートサービスをご用意しております。

①「無期限・無料サポート」で気軽に問い合わせ!!

操作上の疑問があるときには、電話・FAX・Eメールでいつでもお気軽にお問い合わせ下さい。専門スタッフが、分かりやすく丁寧に説明いたします。いつでも何度でもお問い合わせいただけます。

②「挫折買取サービス」で使いこなせるお約束!!

弊社では「挫折撲滅!!」を目標として掲げ、どなたにも確実に使いこなしていただけるよう努めております。もしサポートサービスをお受け頂いたにもかかわらず操作面で挫折され、運用困難と弊社にて判断した場合、買取サービスをいたします。

③「災害支援サービス」でもしもの時にも安心!!

万が一、火災や自然災害に遭ってしまったら、そんな時もおお客様の事業継続を支援いたします。被災した場合に、製品のCD-ROMやマニュアルなど、運用に必要な媒体を無償でご提供いたします。

①無期限・無料サポートサービスについて

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無期限・無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金等の通信費用はおお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピュータ本体や周辺機器等に関しては各製品のメーカーへご相談下さい。また会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

弊社製品は、ご利用のコンピュータ本体およびOS等の他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。但しソフトウェアやハードウェア環境の変遷などの弊社の責にやらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関連する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となった場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

②挫折買取サービスについて

弊社製品は、弊社のサポートサービスをお受け頂いた上でも操作面で挫折され運用できなかった場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。

弊社のサポートをお受け頂いたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入のうえ、ご購入の証明書類(領収証等)のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。(販売店では受け付けておりません)その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発する上での貴重な参考資料とさせていただきますと共に、お客様へは情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。(ご購入時に当該製品に対して実際にお支払い頂いた金額から、支払手数料を引いた金額をお支払いいたします)

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかった場合に限りです。お客様の期待した機能の不足や製品への不満、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記等の業務知識の不足による運用困難、コンピュータ本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。

③災害支援サービスについて

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、地震・風水害等の自然災害や火災による罹災、盗難被害(以下「被災」)により製品が使用不能となった場合に、製品の媒体を無償でご提供いたします。

本サービスを依頼されるお客様は、被災した日より3ヵ月以内に弊社までご連絡いただき、「罹災証明書」「盗難届受理証明書」等をご提示ください。被災状況の確認後、必要な媒体をご指定の住所へ無償でお送りいたします。

本サービスは、ご使用の製品の発売期間中、および弊社規定による媒体保有期間中に限ります。媒体保有期間の終了後については、後継製品が発売されている場合は、ご希望により後継製品を無償でご提供いたします。本サービスによる対応は、使用不能となった製品の媒体(CD-ROM、マニュアル)の提供に限りです。コンピュータ本体や周辺機器等の復旧、データの復旧、サプライ用品等については対象外です。

本サービスの適用は、ユーザー登録の登録住所地において、登録者本人が被災された場合に限りです。被災時点でユーザー登録が行われていない場合、登録住所地以外で被災した場合、紛失、破損、破棄などの理由により使用不能となった場合、等については対象外とさせていただきます。

在庫らくだプロ7.5 操作マニュアル

MNL160616N-ZR7.5

発行:株式会社BSLシステム研究所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-11 日新ビル

Microsoft, MS, Windows, Microsoft Access は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の著作権は、株式会社BSLシステム研究所にあります。

本書は著作権法によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。

本書の全部または一部を、無断で転載、複写機などによる複写複製、電子装置へ入力することは禁止されています。

記載されている製品画像および内容の一部には開発段階のものが含まれています。

本書の内容と製品の仕様が異なる場合には、製品の仕様が優先されます。

サンプルとして記載されているデータはすべて架空のものであります。

在庫らくだプロ7.5 シリアルナンバー



この番号は製品を使用する際に必要です。また、ユーザー登録やサポートサービスにも必要となりますので大切に保管してください。
シリアルナンバーの再発行は有料となります。

BSLユーザーサポートセンター

TEL: 03-3352-6241

FAX: 03-5362-7860

URL: <http://www.bsl-jp.com>

E-mail: rakuda@bsl-jp.com

月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:30～16:30

土・日・祝祭日を除く (FAX・E-mailは翌営業日以内に回答をご案内いたします)

電話番号やFAX番号
メールアドレス等は、
お間違いの無いように
ご注意ください。

